歯科医学総合講義５：638-5-DP1・DP2・DP3・DP4・DP5・DP7・DP8

年次	学期	学則科目責任者
5年次	通年	５年次クラス担任主任

学修目標（ＧＩＯ）と単位数	・単位数：6 ・学修目標（ＧＩＯ）：臨床実習で遭遇する症例の問題解決と歯科医師国家試験の問題解決を行えるようになるために、科学的根拠に基づいた基礎歯科医学および臨床歯科医学の知識を修得する。
講義実施要項	１．講義教室：206教室 ２．講義時間： 前期（4月1日～9月22日）：午前8時40分～9時40分 （月～土曜日） 後期（9月24日～3月25日）：午前8時40分～9時25分（月～土曜日）、午前9時30分～10時15分（月～土曜日） ３．学修ユニット：以下の７ユニットに分割する。講義日程参照。 ユニットA：診療の流れ・医療安全・感染予防 （前期のみ） ユニット１：基礎歯科医学領域 （3月基礎系補充講義含む） ユニット２：小児歯科・矯正歯科・障害者歯科・歯科総合診療領域 ユニット３：保存修復・歯内療法・歯周治療領域 ユニット４：有床義歯・クラウンブリッジ・口腔インプラント領域 ユニット５：口腔外科・放射線・歯科麻酔・有病者歯科検査・医科領域 ユニット６：衛生領域（前期は歯科英語含む） ４．講義・試験体系 ①演習試験：各領域の基礎学力を評価する統合型演習試験。歯科医師国家試験過去問題の改変問題とする。 ②講義：５年次において国家試験に備え学修すべき内容を提示し、基礎学力を向上させる講義を行う。 ③平常試験：講義後の評価を行う試験。講義内容に沿った歯科医師国家試験過去問題の改変問題とする。 ④解説講義：平常試験の結果から理解度が不足している項目を抽出し解説を行う。
評価方法（ＥＶ）	１．演習試験 歯科医師国家試験過去問題集の改変問題（MCQ）の試験を実施する。出題範囲、問題数、試験時間は表（科目参考資料に添付）の通り。 ２．平常試験 各ユニット終了時に平常試験を実施する。MCQ試験とし、一般問題と臨床実地問題を出題する。試験時間、問題数は表（科目参考資料に添付）の通り。 ３．学力評価試験 基礎歯科医学および臨床歯科医学の総合学力評価を目的とした試験を実施する。試験日、試験時間、問題数は表（科目参考資料に添付）の通りである。 なお、演習試験、平常試験、学力評価試験の追試験は原則行わない。 ４．定期試験 ①試験日 令和8年2月27日（金） 試験時間、問題数は表（科目参考資料に添付）の通りである。 ５．歯科医学総合講義５の評価法と合格基準 評価法：重みづけは前期50%、後期50%とする。前期と後期それぞれに合格基準を設ける。 前期：各試験の評価割合を演習試験1～6全正答率の15%、平常試験A・1～6全正答率の65%、学力評価試験1正答率の20%を合計し、その正答率が65%以上の者を合格者とする。 後期：各試験の評価割合を演習試験7～12全正答率の10%、平常試験7～12全正答率の20%、学力評価試験2正答率の5%および定期試験正答率の65%を合計し、その正答率が70%以上の者を合格者とする。 前期、後期ともに合格基準を満たした者を歯科医学総合講義5の合格者とする ５．追再試験について 上記合格基準に満たない者を該当者とし、前期後期それぞれ実施する。なお、追再試験に対する追試験は行わない。 前期：試験日令和7年9月22日（月） 後期：試験日令和8年3月11日（水） 試験時間、問題数は表（科目参考資料に添付）の通りである。 合格基準 前期：前期再試験の正答率が65%以上の者を合格者とする。 後期：各試験の評価割合を演習試験7～12の全正答率の10%、平常試験7～12の全正答率の20%、学力評価試験2正答率の5%および後期追再試験正答率の65%を合計し、その正答率が70%以上の者を合格者とする。 ６．再試受験資格喪失：前期：正当な理由なく前期講義日数の1/5を超えて欠席した場合。後期：正当な理由なく臨床実習を19ポイント以上欠席した場合。

診療の流れ・医療安全・感染予防

年次	学期	学修ユニット責任者
5年次	通年	＊石井 かおり（歯科矯正学）

学修ユニット学修目標（ＧＩＯ）	診療の流れ、医療安全、感染予防の知識について修得する。

担当教員	＊伊藤　誠康
評価方法 （ＥＶ）	平常試験によって評価する。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/04/01（火） 1時限 09:00～09:50	歯科医学総合講義５前期ガイダンス	【授業の一般目標】 歯科医学総合講義５前期の講義・試験体系、評価方法、合格基準を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.歯科医学総合講義５の学修方法について理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：なし ・準備学修時間：なし 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊伊藤　誠康
2025/04/03（木） 1時限 08:40～09:40	POMRに基づく問題志向型診療録の記載	【授業の一般目標】 患者が抱える健康に関する問題を解決するために、POSに基づく問題志向型診療録（POMR）の記載方法を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.当院における診療システム、特にSD診療に関して説明できる。 3.POMRの意義について説明できる。 4.POMRの構成を説明できる。 5.POMRの記載方法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：４年次医療行動科学４における問題志向型診療録の例示「松戸太郎」を一度読んでから、必ず自残して授業を受けること 事前学修時間：20分 事後学修項目：４年次の医療行動科学４の授業内容および当日の授業内容について必ず理解してから臨床実習に臨む。 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ２　社会と歯科医療 サ　診療録、診療情報の記録と管理 ａ　診療に関する記録（診療録、処方箋、検査所見記録、画像記録、手術記録、入院診療計画書、退院時要約、歯科技工指示書、模型）の管理・保存 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 ２　社会と歯科医療 サ　診療録、診療情報の記録と管理 ｂ　SOAP（主観的情報、客観的情報、評価、計画） 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－１　診療の基本 Ｅ－１－１）　診察の基本 ⑦問題志向型診療記録(problem-oriented medical record <POMR>)を説明できる	＊青木　伸一郎
2025/04/05（土） 1時限 08:40～09:40	歯冠補綴治療の流れと使用する器材	【授業の一般目標】 歯冠補綴治療時に必要な器具の準備と診療介助ができるようになるために、臨床実習で行う歯冠補綴治療の流れと使用する器材を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.築造窩洞形成に用いる器材を説明できる。 3.支台築造法の種類と使用する器材を説明できる。 4.歯肉圧排の方法と使用する器材を説明できる。 5.支台歯形成に必要な器材を説明できる。 6.精密印象採得、顎間関係の記録に使用する器材を説明できる。 7.プロビジョナルレストレーションの製作法と必要な器材を説明できる。 8.クラウン・ブリッジの試適、調整、仮着に必要な器材を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】	＊内堀　聡史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/04/05（土） 1時限 08:40～09:40	歯冠補綴治療の流れと使用する器材	・事前学修項目：クラウンブリッジ補綴学第５版、６版。クラウンブリッジ補綴学実習指針により、診療のステップを確認する。 ・事前学修時間：1時間 ・事後学修項目：授業の内容を理解する。 ・事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体PC、配布プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ２　歯・歯周組織・咬合の治療 ア　基本的術式 ａ　歯の硬組織疾患の治療 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 イ　臨床操作 ａ　前処置 ｂ　支台歯形成 ｃ　支台築造 ｄ　印象採得 ｅ　プロビジョナルレストレーション ｆ　顎間関係の記録 ｇ　患者情報の記録と伝達 ｈ　口腔内試適 ｉ　仮着 ｊ　装着 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（１）　クラウンブリッジによる治療 ①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法（CAD/CAM を含む）を説明できる。	＊内堀　聡史
2025/04/07（月） 1時限 08:40～09:40	有床義歯治療の流れと使用する器材	【授業の一般目標】 有床義歯治療時に必要な器材の準備と治療介助ができるようになるために、治療の流れ と使用する器材について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.有床義歯製作時の治療ステップを説明できる。 3.有床義歯製作のための印象採得時に必要な器材について説明できる。 4.有床義歯製作のための咬合採得時に必要な器材について説明できる。 5.義歯調整時に必要な器材について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：有床義歯製作時の治療ステップ、印象採得と咬合採得および義歯調整時に必要な器材について予習する。 ・準備学修時間：　　60　分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ:無・学修媒体:プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ２　歯・歯周組織・咬合の治療 ア　基本的術式 ｄ　歯の欠如・欠損の治療 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅷ　歯科材料と歯科医療機器 ３　印象用材料 オ　咬合採得用材料 ウ　機能印象材 【コアカリキュラム】 Ｄ　歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） Ｄ-２　歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。	＊小出　恭代
2025/04/09（水） 1時限	根管治療の流れと使用する器材・薬	【授業の一般目標】 根管治療の技術を習得するために、根管治療の術式および使用する器具・薬剤	＊深井　譲滋

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
08:40～09:40	剤	について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.根管治療の術式について説明できる。 3.根管治療に必要な器具について説明できる。 4.根管治療に必要な薬剤について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：根管治療の流れ、検査項目を事前に確認する。教科書および歯内療法学実習書を読んで確認する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布プリント内容の確認をする。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無し パワーポイント、プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ８　診察の基本 キ　歯・歯周組織の診察 ｂ　歯髄・根尖歯周組織	＊深井　譲滋
2025/04/11（金） 1時限 08:40～09:40	外来手術の流れと使用する器材・薬剤	【授業の一般目標】 外来診療室における口腔外科処置に関連する器具、滅菌、消毒について説明できるできるようになるために学習する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.口腔外科処置について診療の流れを説明できる。 3.口腔外科処置に関連する器具について説明できる。 4.口腔外科処置に関連する薬剤について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：口腔外科処置の流れ、使用する器具・薬剤について事前に確認する。教科書および口腔外科学実習書を読んで確認する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布プリント内容の確認をする。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし パワーポイント、プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 ウ　器械の安全な取扱法 ｂ　治療に用いる基本的器材 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 エ　消毒・滅菌と感染対策 ａ　消毒・滅菌法 ｂ　手術野の防湿・消毒、清潔操作 ｄ　標準予防策〈standard precautions〉	＊飯塚　普子
2025/04/12（土） 1時限 08:40～09:40	生体管理モニタによるVital signs測定、注射法について	【授業の一般目標】 患者および医療者の安全に適切に対応できるようになるために、Vital Signsの測定および注射法について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.脈拍の測定方法について説明することができる。 3.血圧の測定方法について説明することができる。 4.心電図検査について説明することができる。 5.生体管理モニタの装着について説明することができる。 6.3点誘導心電図の装着および見方について説明することができる。 7.注射法について説明することができる 8.筋肉注射について理解することができる。 9.皮内注射について説明することができる。 10.静脈路確保について説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード 全身管理・歯科麻酔学第３版または４版「６.術中管理、B循環管理」について学修しておく。 ・事前学修時間：30 分 ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。	＊下坂　典立

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/04/12（土） 1時限 08:40～09:40	生体管理モニタによるVital signs測定、注射法について	・事後学修時間：45 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し。 学修媒体：講義スライド、配布資料。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ８　診察の基本 エ　全身の診察 ｃ　バイタルサイン（呼吸、脈拍、血圧、体温）	＊下坂　典立
2025/04/14（月） 1時限 08:40～09:40	小児の扱い・小児歯科の特色と使用する特殊器具	【授業の一般目標】 小児への対応を適切に行うために、小児歯科の特色と使用する器具について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 年齢ごとの小児への対応を説明できる。 3. 小児歯科の器具について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：低年齢児の対応法 準備学修時間：１時間 事後学修項目：授業配布の資料の内容確認と整理 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：授業スライド 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習　第3版」、 学建書院「小児の口腔科学　第4版、第5版」 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 ウ　器械の安全な取扱法 ｂ　治療に用いる基本的器材 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 イ　小児・高齢者・妊産婦・障害者・要介護者の治療 ａ　治療環境 ｃ　コミュニケーション	＊清水　邦彦
2025/04/15（火） 1時限 08:40～09:40	セファロ分析に基づく矯正治療の流れ	【授業の一般目標】 適切な矯正治療を行うためにセファロ分析に基づく矯正治療の流れを理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 精密検査で行う項目を列挙し、それぞれの目的を説明できる。 3. 頭部エックス線規格写真撮影の方法について説明できる。 4. セファロ分析の基準点・基準平面について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：①矯正臨床における検査　②形態検査の種類 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：セファロ分析について ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：授業配布プリント、ＰＣによるスライド 参考図書：医歯薬出版「歯科矯正学」第6版 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 ６　不正咬合の診断 イ　検査	＊石井　かおり
2025/04/17（木） 1時限 08:40～09:40	医療安全対策	【授業の一般目標】 安全な歯科医療を提供するために、医療安全対策に必要な知識を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】	＊山口　秀紀

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/04/17（木） 1時限 08:40～09:40	医療安全対策	1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.医療における安全管理とそれを実現するための対策について説明できる。 3.インシデント・アクシデントについて説明できる。 4.ハインリッヒの法則について説明できる。 5.エラーの分類について説明できる。 6.ヒューマンエラーについて説明できる。 7.スイスチーズモデルについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：医療安全対策、医療事故 事前学修時間：60分 事後学修項目：医療安全対策、医療事故 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ：無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ２　社会と歯科医療 カ　医療事故の防止 ａ　医療事故と医療過誤 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 ２　社会と歯科医療 カ　医療事故の防止 ｂ　医療事故の発生要因 ｄ　医療者の安全管理 ｅ　アクシデント、インシデント（ヒヤリハット）、医療事故報告書、インシデントレポート、医療事故の発生要因分析 【コアカリキュラム】 Ａ　歯科医師として求められる基本的な資質・能力 Ａ-６　医療の質と安全管理 Ａ-６-１）　安全性の確保 ①医療上の事故等の発生要因（ヒューマンエラー、システムエラー等）を説明できる。 ②医療上の事故等に対する防止策を説明できる。 ③医療現場における報告・連絡・相談及び診療録記載の重要性を説明できる。 ④医療の安全性に関する情報の共有、分析の重要性を説明できる。 ⑤医療機関に求められる医療安全管理体制を概説できる。 Ａ-６-２）　医療上の事故等への対処と予防 ①医療事故と医療過誤の違いを説明できる。 ②医療法に基づく医療事故調査制度を説明できる。 ③医療上の事故等が発生した際の緊急処置や記録、報告を説明できる。 ⑥信頼性設計をはじめとする基本的な安全対策手法を概説できる。	＊山口　秀紀
2025/04/19（土） 1時限 08:40～09:40	院内感染対策	【授業の一般目標】 安全な歯科医療を行うために、感染予防対策に関する必要な知識を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.感染対策について説明できる。 3.スタンダードプリコーションについて説明できる。 4.手指衛生の方法について説明できる。 5.PPE(個人防護用具）について説明できる。 6.スポルディング分類について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：院内感染対策、滅菌・消毒、他 事前学修時間：60分 事後学修項目：院内感染対策、滅菌・消毒、他 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ：無 日本大学松戸歯学部付属院医療安全・院内感染対策ポケットマニュアル 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ２　社会と歯科医療 キ　院内感染対策 ａ　標準予防策〈standard precautions〉 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 ２　社会と歯科医療 キ　院内感染対策 ｂ　個人用防護具〈PPE〉 ｄ　医療廃棄物処理 【コアカリキュラム】 Ａ　歯科医師として求められる基本的な資質・能力	＊山口　秀紀

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/04/19（土） 1時限 08:40～09:40	院内感染対策	Ａ-６　医療の質と安全管理 Ａ-６-３）　医療従事者の健康と安全 ①医療従事者の健康管理（予防接種を含む）の重要性を説明できる。 ②標準予防策(standard precautions)を説明できる。 ③感染経路別予防策を説明できる。 ④針刺し事故等に遭遇した際の対処の仕方を説明できる。 Ａ-６-１）　安全性の確保 ⑥医療関連感染の原因と対策を概説できる。	＊山口　秀紀
2025/04/22（火） 1時限 08:40～09:40	平常試験A	【授業の一般目標】 診療の流れ・医療安全・感染予防を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.診療の流れ・医療安全・感染予防を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：診療の流れ・医療安全・感染予防の講義プリントの確認 事前学修時間：3時間 事後学修項目：試験問題の復習 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊伊藤　誠康
2025/08/19（火） 1時限 08:40～09:40	循環器・心臓血管外科疾患	【授業の一般目標】 循環器緊急対応について理解する 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.循環器緊急対応について理解できる 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：j循環器の病態生理 ・準備学修時間：　　60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なしsinndennzu 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ７　主要症候 ア　全身の症候 ａ　発熱、全身倦怠感、体重減少・増加、ショック、意識障害、失神、脱水、浮腫、けいれん、めまい、不整脈、血圧上昇・低下、黄疸、呼吸困難、チアノーゼ、頭痛、動悸、息切れ、胸痛、睡眠障害、嚥下障害、誤嚥、悪心、嘔吐、下痢	＊秦　光賢
2025/08/20（水） 1時限 08:40～09:40	内科（循環器を除く）	【授業の一般目標】 歯科診療に関連する内科学（循環器を除く）について、総論及び各論を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯科に関連する内科学について説明できる。 3.主要な内科疾患について、診断法や治療法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：資料を用意するので、よく読んでおいてください。 ・準備学修時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ７　主要症候 ア　全身の症候 ａ　発熱、全身倦怠感、体重減少・増加、ショック、意識障害、失神、脱水、浮腫、けいれん、めまい、不整脈、血圧上昇・低下、黄疸、呼吸困難、チアノーゼ、頭痛、動悸、息切れ、胸痛、睡眠障害、嚥下障害、誤嚥、悪心、嘔吐、下痢	＊中山　壽之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/24（水） 1時限 08:40～09:25	歯科医学総合講義５後期ガイダンス	【授業の一般目標】 歯科医学総合講義５後期の講義試験体系、評価方法、合格基準を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 歯科医学総合講義５後期の学修の進め方について理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：なし ・準備学修時間：なし 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊伊藤　誠康
2026/01/27（火） 1時限 08:40～09:25	循環器・心臓血管外科疾患	【授業の一般目標】 循環器の病態生理について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 循環器緊急対応について理解できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：循環器の病態生理 ・準備学修時間：　　60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ７　主要症候 ア　全身の症候 ａ　発熱、全身倦怠感、体重減少・増加、ショック、意識障害、失神、脱水、浮腫、けいれん、めまい、不整脈、血圧上昇・低下、黄疸、呼吸困難、チアノーゼ、頭痛、動悸、息切れ、胸痛、睡眠障害、嚥下障害、誤嚥、悪心、嘔吐、下痢	＊秦　光賢
2026/01/27（火） 2時限 09:30～10:15	循環器・心臓血管外科疾患	【授業の一般目標】 循環器の病態生理を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 循環器緊急対応について理解できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：循環器の病態生理 ・準備学修時間：　　60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ７　主要症候 ア　全身の症候 ａ　発熱、全身倦怠感、体重減少・増加、ショック、意識障害、失神、脱水、浮腫、けいれん、めまい、不整脈、血圧上昇・低下、黄疸、呼吸困難、チアノーゼ、頭痛、動悸、息切れ、胸痛、睡眠障害、嚥下障害、誤嚥、悪心、嘔吐、下痢	＊秦　光賢
2026/01/28（水） 1時限 08:40～09:25	内科学（循環器を除く）	【授業の一般目標】 歯科診療に関連する内科学について、総論及び各論を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯科に関連する内科学について説明できる。 3. 主要な内科疾患について、診断法や治療法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：資料をよく読んでおいてください。 ・準備学修時間：　30分	＊中山　壽之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/01/28（水） 1時限 08:40～09:25	内科学（循環器を除く）	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ７　主要症候 ア　全身の症候 ａ　発熱、全身倦怠感、体重減少・増加、ショック、意識障害、失神、脱水、浮腫、けいれん、めまい、不整脈、血圧上昇・低下、黄疸、呼吸困難、チアノーゼ、頭痛、動悸、息切れ、胸痛、睡眠障害、嚥下障害、誤嚥、悪心、嘔吐、下痢	＊中山　壽之
2026/01/28（水） 2時限 09:30～10:15	内科学（循環器を除く）	【授業の一般目標】 歯科診療に関連する内科学について、総論及び各論を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯科に関連する内科学について説明できる。 3.主要な内科疾患について、診断法や治療法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：資料をよく読んでおいてください。 ・準備学修時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ７　主要症候 ア　全身の症候 ａ　発熱、全身倦怠感、体重減少・増加、ショック、意識障害、失神、脱水、浮腫、けいれん、めまい、不整脈、血圧上昇・低下、黄疸、呼吸困難、チアノーゼ、頭痛、動悸、息切れ、胸痛、睡眠障害、嚥下障害、誤嚥、悪心、嘔吐、下痢	＊中山　壽之
2026/02/13（金） 1時限 08:40～09:40	共用試験一斉技能試験（CSX）	【授業の一般目標】 共用試験一斉技能試験（CSX）において、基本的臨床技能を評価する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.歯石除去ができる。 2.齲蝕除去ができる。 3.根管形成ができる。 4.支台歯形成ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：なし ・準備学修時間：なし 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有。共用試験実施機構の模型を使用する。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊中山　洋平 ＊山口　亜利彩 ＊神谷　直孝 ＊神尾　直人 ＊内堀　聡史 ＊伊藤　誠康

基礎歯科医学領域

年次	学期	学修ユニット責任者
5年次	通年	竹内　麗理（生化学・分子生物学）

学修ユニット 学修目標 （ＧＩＯ）	基礎歯科医学領域の講義内容を理解、修得する。
担当教員	＊伊藤　誠康
評価方法 （ＥＶ）	演習試験、平常試験、学力評価試験、定期試験によって評価する。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/04/23（水） 1時限 08:40～09:40	基礎　組織学１	【授業の一般目標】 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために，歯科医学の科学的根拠に基づいた組織学的知識を修得し，国家試験問題の解決方法を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. ４大組織（上皮組織、結合組織、筋組織、神経組織）について説明できる。 2. 歯の構造について説明できる。 3. 口腔組織の構造について説明できる。 4. 歯の発生について説明できる。 5. 顎顔面の発生について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：国家試験必修問題過去５年分の復習 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：講義の復習 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ：無し 学修媒体：パワーポイントスライド他 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］	玉村　亮
2025/04/24（木） 1時限 08:40～09:40	基礎　歯科生体材料学１	【授業の一般目標】 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために，歯科医学の科学的根拠に基づいた材料学的知識を修得し，国家試験問題の解決方法を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 金属材料、高分子材料、セラミック材料および複合材料の性質について説明できる。 2. 歯科生体材料の力学的、物理的、化学的性質および生物学的性質について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：演習試験問題の復習 事前学修時間：30分 事後学修項目：解説講義の復習 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配布プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 セ　歯科材料・機器 ａ　基本的性質	永田　俊介
2025/04/26（土） 1時限 08:40～09:40	基礎　解剖学１	【授業の一般目標】 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために，歯科医学の科学的根拠に基づいた解剖学的知識を修得し，国家試験問題の解決方法を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】	松野　昌展

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/04/26（土） 1時限 08:40～09:40	基礎　解剖学１	1.頭蓋骨の構造を説明できる。 2.頭頸部の筋の構造を説明できる。 3.脳神経の構造を説明できる。 4.脈管系の構造を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：解剖学の教科書において頭頸部の骨系、筋系、神経系、脈管系を復習しておく。 事前学修時間：30分 事後学修項目：８割問題を再復習する。 事後学修時間：15分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 ア　頭頸部の部位 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－１）　頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 ④頭頸部の脈管系を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 ⑥顎関節の構造と機能を説明できる。 ⑧咀嚼の意義と制御機構を説明できる。 ⑨嚥下の意義と制御機構を説明できる。 ⑪咽頭と喉頭の構造と機能を説明できる。	松野　昌展
2025/04/28（月） 1時限 08:40～09:40	基礎　病理学１	【授業の一般目標】 炎症(総論)を理解するために、病因、病態、経過及び病理組織学的分類について学修する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.＊以下の行動目標は臨床経験に基づいて教授するものである。 2.炎症の病因を列挙することができる。 3.炎症の主な病態について説明できる。 4.炎症の経過による分類を解説できる。 5.炎症細胞の種類と役割を説明できる。 6.炎症の各型分類(病理組織学的分類)について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：3年次前期病理学「炎症」、4年次後期歯科医学総合講義４「炎症の病理学」 ・準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無し 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ６　主要な疾患と障害の病因・病態 ア　疾病の概念 ｄ　炎症 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅲ　病因、病態 １　病因・病態 カ　炎症 ａ　病因 ｂ　分類と病態	＊宇都宮　忠彦
2025/04/30（水） 1時限 08:40～09:40	基礎　生理学１	【授業の一般目標】 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために，歯科医学の科学的根拠に基づいた生理学的知識を修得し，国家試験問題の解決方法を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.神経系による恒常性の維持メカニズムを説明できる。 2.内分泌系による恒常性の維持メカニズムを説明できる。 3.循環と呼吸の調節機構を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：演習試験の復習 準備学修時間：３０分 事後学修項目：講義の復習，問題集	加藤　治

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/04/30（水） 1時限 08:40～09:40	基礎　生理学１	事後学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］	加藤　治
2025/05/01（木） 1時限 08:40～09:40	基礎　病理学２	【授業の一般目標】 口腔領域の炎症性疾患を理解するために、歯・歯髄・歯周組織、顎骨及び口腔粘膜における炎症性疾患の病因・病態について学修する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.＊以下の行動目標は臨床経験に基づいて教授するものである。 2.歯・歯髄・歯周組織の炎症性疾患の病因・病態について解説できる。 3.顎骨(顎関節を含む)の炎症性疾患の病因・病態について説明できる。 4.口腔粘膜の炎症性疾患の病態・病態について解説できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：3年次口腔病理学「歯髄炎」「歯周炎」「顎骨の非腫瘍性疾患」「口腔粘膜疾患」 ・準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無し 202教室マルチメディア 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ６　主要な疾患と障害の病因・病態 イ　口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 ｂ　歯髄疾患、根尖性歯周疾患 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 ６　主要な疾患と障害の病因・病態 イ　口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 ｃ　歯周疾患 ｌ　顎関節疾患 ｍ　口腔粘膜疾患 歯科医学総論 総論Ⅲ　病因、病態 ２　口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア　主な病因・病態 ｂ　歯・歯周組織の疾患 ｃ　口腔粘膜の疾患 ｅ　顎骨・顎関節の疾患	＊宇都宮　忠彦
2025/05/02（金） 1時限 08:40～09:40	演習試験１	【授業の一般目標】 基礎歯科医学領域の国家試験過去問を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：基礎歯科医学領域の国家試験過去問の学修 事前学修時間：3時間 事後学修項目：試験問題の復習 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊伊藤　誠康
2025/05/07（水） 1時限 08:40～09:40	基礎　生化学１	【授業の一般目標】 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために，歯科医学の科学的根拠に基づいた生化学的知識を修得し，国家試験問題の解決方法を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】	竹内　麗理 栗原　紀子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/07（水） 1時限 08:40～09:40	基礎　生化学１	1.人体を構成する成分について説明できる。 2.遺伝子からタンパク質合成までを説明できる。 3.細胞外基質や骨代謝を説明できる。 4.歯の硬組織や唾液の組成とその機能を説明できる。 5.炎症、う蝕や歯周病の成り立ちを説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：演習試験１の復習 事前学修時間：30分 事後学修項目：講義内容の復習 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ａ　生体構成成分	竹内　麗理 栗原　紀子
2025/05/08（木） 1時限 08:40～09:40	基礎　薬理学１	【授業の一般目標】 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために，歯科医学の科学的根拠に基づいた薬理学的知識を修得し，国家試験問題の解決方法を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.細胞膜受容体に作用する薬物について説明できる。 2.細胞質および核内受容体に作用する薬物について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科医師国家試験の薬理学関連問題を解く。 事前学修時間：30分 事後学修項目：授業時配布プリントの内容確認と整理。 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ア　薬物の選択 ｂ　薬効	三枝　禎
2025/05/09（金） 1時限 08:40～09:40	基礎　薬理学２	【授業の一般目標】 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために，歯科医学の科学的根拠に基づいた薬理学的知識を修得し，国家試験問題の解決方法を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.膜輸送タンパク質に作用する薬物について説明できる。 2.酵素に作用する薬物について説明できる。 3.物理化学的作用を示す薬物について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科医師国家試験の薬理学関連問題を解く。 事前学修時間：30分 事後学修項目：授業時配布プリントの内容確認と整理。 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ア　薬物の選択 ｂ　薬効	三枝　禎
2025/05/10（土） 1時限	基礎　感染免疫学１	【授業の一般目標】 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために，歯科医学	＊齋藤　真規

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
08:40～09:40	基礎　感染免疫学1	の科学的根拠に基づいた微生物および免疫学的知識を修得し，国家試験問題の解決方法を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.口腔に生息する微生物について説明できる。 3.齲蝕原性細菌について説明できる。 4.齲蝕の発症機序を説明できる。 5.歯周病原細菌について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：口腔微生物学および関連する国家試験問題 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：講義に関連する国家試験問題の解き直し ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ　病因、病態 １　病因・病態 キ　感染症 ｂ　感染症	＊齋藤　真規
2025/05/13（火） 1時限 08:40～09:20	平常試験1	【授業の一般目標】 基礎歯科医学領域の知識を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：基礎歯科医学領域の講義プリントの確認 事前学修時間：3時間 事後学修項目：試験問題の復習 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室	＊伊藤　誠康
2025/09/03（水） 1時限 08:40～09:40	チェアサイドの英会話	【授業の一般目標】 1. Endodontics & Operative Dentistry 2. Important Vocabulary 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.医療英語、医療単語を理解し、話すことができる。 2.国家試験の英語問題に対応できる。 3.海外留学も視野にいれた、医療英語を身につける。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：一年生の教科書を熟読する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：配布したプリントの見直し。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １２　一般教養的事項 ウ　歯科医療に必要な基本的医学英語	バワール　ウジャール
2025/09/04（木） 1時限 08:40～09:40	チェアサイドの英会話	【授業の一般目標】 1. Prosthodontic Treatment 2. Important Vocabulary 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.医療英語、医療単語を理解し、話すことができる。 2.国家試験の英語問題に対応できる。 3.海外留学も視野にいれた、医療英語を身につける。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：一年生の教科書を熟読する。 ・準備学修時間：30分	バワール　ウジャール

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/04（木） 1時限 08:40～09:40	チェアサイドの英会話	・事後学修項目：配布したプリントの見直し。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １２　一般教養的事項 ウ　歯科医療に必要な基本的医学英語	パワール　ウジャール
2025/09/25（木） 1時限 08:40～09:25	基礎　解剖学２	【授業の一般目標】 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために，歯科医学の科学的根拠に基づいた解剖学的知識を修得し，国家試験問題の解決方法を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 上顎骨の構造を説明する。 2. 上顎骨周囲の血管の分布を説明する。 3. 上顎骨周囲の神経の分布を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：上顎骨の構造を復習する。 事前学修時間：３０分 事後学修項目：神経、血管の分布を復習する。 事後学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し プリントを配布する 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 ア　頭頸部の部位	松野　昌展
2025/09/25（木） 2時限 09:30～10:15	基礎　解剖学３	【授業の一般目標】 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために，歯科医学の科学的根拠に基づいた解剖学的知識を修得し，国家試験問題の解決方法を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 下顎骨の構造を説明する。 2. 下顎骨周囲の血管の分布を説明する。 3. 下顎骨周囲の神経の分布を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：下顎骨の構造を復習する。 事前学修時間：３０分 事後学修項目：神経、血管の分布を復習する。 事後学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し プリントを配布する 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 ア　頭頸部の部位	松野　昌展
2025/09/26（金） 1時限 08:40～09:25	基礎　歯科生体材料学２	【授業の一般目標】 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために，歯科医学の科学的根拠に基づいた理工学的知識を習得し，国家試験問題の解決方法を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 有機材料の構造と物性との関係を説明できる。 2. 無機材料の構造と物性との関係を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：演習試験問題の復習 事前学修時間：30分 事後学修項目：解説講義の復習	永田　俊介

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/26（金） 1時限 08:40～09:25	基礎　歯科生体材料学２	事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 セ　歯科材料・機器 ａ　基本的性質	永田　俊介
2025/09/26（金） 2時限 09:30～10:15	基礎　歯科生体材料学３	【授業の一般目標】 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために，歯科医学の科学的根拠に基づいた理工学的知識を習得し，国家試験問題の解決方法を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.金属材料の構造と物性との関係を説明できる。 2.複合材料の構造と物性との関係を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：演習試験問題の復習 事前学修時間：30分 事後学修項目：解説講義の復習 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 セ　歯科材料・機器 ａ　基本的性質	永田　俊介
2025/09/27（土） 1時限 08:40～09:35	演習試験7	【授業の一般目標】 基礎歯科医学領域の国家試験過去問を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：基礎歯科医学領域のの国家試験過去問の学修 事前学修時間：3時間 事後学修項目：試験問題の復習 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊伊藤　誠康
2025/09/29（月） 1時限 08:40～09:25	基礎　病理学３	【授業の一般目標】 顎口腔領域の嚢胞性疾患の鑑別ができる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.顎口腔領域の嚢胞性疾患の特徴を説明できる。 3.顎口腔領域の嚢胞性疾患の鑑別点を列挙できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：顎口腔領域の嚢胞性疾患の特徴を明らかにする。 準備学修時間：45分 事後学修項目：顎口腔領域の嚢胞性疾患の特徴と鑑別点を明らかにする。 事後学修時間：45分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 Google formによる練習問題の実施 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室	＊末光　正昌

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/29（月） 1時限 08:40～09:25	基礎　病理学３	【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 １　主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ　軟組織に発生する嚢胞の病態・診断・治療 ａ　歯原性嚢胞 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 １　主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ　軟組織に発生する嚢胞の病態・診断・治療 ａ　歯原性嚢胞 ｂ　非歯原性嚢胞 ２　主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ　顎骨に発生する嚢胞性疾患の病態・診断・治療 ｂ　非歯原性嚢胞	＊末光　正昌
2025/09/29（月） 2時限 09:30～10:15	基礎　病理学４	【授業の一般目標】 顎口腔領域の（唾液腺腫瘍を除く）腫瘍性疾患の鑑別ができる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.顎口腔領域の腫瘍性疾患の特徴を説明できる。 3.顎口腔領域の腫瘍性疾患の鑑別点を列挙できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：顎口腔領域の腫瘍性疾患の特徴を明らかにする。 準備学修時間：45分 事後学修項目：顎口腔領域の腫瘍性疾患の特徴と鑑別点を明らかにする。 事後学修時間：45分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 Google formによる練習問題の実施 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 １　主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ　軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 ａ　歯原性良性腫瘍 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ２　主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 カ　顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 ｂ　歯原性悪性腫瘍 ｃ　非歯原性良性腫瘍 ｄ　非歯原性悪性腫瘍	＊末光　正昌
2025/09/30（火） 1時限 08:40～09:25	基礎　組織学２	【授業の一般目標】 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために，歯科医学の科学的根拠に基づいた組織学的知識を修得し，国家試験問題の解決方法を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.エナメル質、象牙質・歯髄複合体およびセメント質の組織学的構造を説明できる。 2.歯周組織の組織学的構造を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：演習試験問題の確認 準備学修時間：３０分 事後学修項目：解説講義の復習 事後学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメデイア 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ５　歯と歯周組織の構造 イ　組織と性状 ａ　エナメル質、象牙質、歯髄	玉村　亮
2025/09/30（火） 2時限 09:30～10:15	基礎　組織学３	【授業の一般目標】 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために，歯科医学の科学的根拠に基づいた組織学的知識を修得し，国家試験問題の解決方法を理解する。	玉村　亮

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/30（火） 2時限 09:30～10:15	基礎　組織学３	【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.歯の発生、歯胚の構造を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：演習試験問題の確認 準備学修時間：３０分 事後学修項目：解説講義の復習 事後学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメデイア 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ８　口腔・顎顔面の発生・成長・発育 イ　歯・歯周組織の形成と歯の萌出 ｂ　歯の硬組織形成	玉村　亮
2025/10/01（水） 1時限 08:40～09:25	基礎　生理学２	【授業の一般目標】 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために，歯科医学の科学的根拠に基づいた口腔生理学的知識を修得し，国家試験問題の解決方法を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.顎反射を説明できる。 2.嚥下の機構を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：演習試験の復習 準備学修時間：３０分 事後学修項目：講義の復習，問題集 事後学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］	加藤　治
2025/10/01（水） 2時限 09:30～10:15	基礎　生理学３	【授業の一般目標】 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために，歯科医学の科学的根拠に基づいた口腔生理学的知識を修得し，国家試験問題の解決方法を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.味覚の機構を説明できる。 2.唾液分泌機構を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：演習試験の復習 準備学修時間：３０分 事後学修項目：講義の復習，問題集 事後学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］	加藤　治
2025/10/02（木）	基礎　生化学２	【授業の一般目標】	竹内　麗理

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
1時限 08:40～09:25	基礎　生化学２	臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために，歯科医学の科学的根拠に基づいた生化学的知識を修得し，国家試験問題の解決方法を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.人体を構成する成分について説明できる。 2.遺伝子からタンパク質合成までを説明できる。 3.細胞外基質や骨代謝を説明できる。 4.歯の硬組織や唾液の組成とその機能を説明できる。 5.炎症、う蝕や歯周病の成り立ちを説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科医師国家試験過去問題の復習 事前学修時間：30分 事後学修項目：講義内容の復習 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ａ　生体構成成分	栗原　紀子
2025/10/02（木） 2時限 09:30～10:15	基礎　生化学３	【授業の一般目標】 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために，歯科医学の科学的根拠に基づいた生化学的知識を修得し，国家試験問題の解決方法を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.人体を構成する成分について説明できる。 2.遺伝子からタンパク質合成までを説明できる。 3.細胞外基質や骨代謝を説明できる。 4.歯の硬組織や唾液の組成とその機能を説明できる。 5.炎症、う蝕や歯周病の成り立ちを説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科医師国家試験過去問題の復習 事前学修時間：30分 事後学修項目：講義内容の復習 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ａ　生体構成成分	竹内　麗理 栗原　紀子
2025/10/03（金） 1時限 08:40～09:25	基礎　薬理学３	【授業の一般目標】 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために，歯科医学の科学的根拠に基づいた薬理学的知識を修得し，国家試験問題の解決方法を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.薬物の投与経路の種類と特徴について説明できる。 2.薬物動態（吸収）について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科医師国家試験の薬理学関連問題を解く。 事前学修時間：30分 事後学修項目：授業時配布プリントの内容確認と整理。 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法	川島　央暉 三枝　禎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/03（金） 1時限 08:40～09:25	基礎　薬理学３	ア　薬物の選択 ｃ　薬物動態 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 イ　用法・用量 ａ　投与経路と剤形の種類と特徴	川島　央暉 三枝　禎
2025/10/03（金） 2時限 09:30～10:15	基礎　薬理学４	【授業の一般目標】 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために，歯科医学の科学的根拠に基づいた薬理学的知識を修得し，国家試験問題の解決方法を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 薬物の投与経路の種類と特徴について説明できる。 2. 薬物動態（分布・代謝・排泄）について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科医師国家試験の薬理学関連問題を解く。 事前学修時間：30分 事後学修項目：授業時配布プリントの内容確認と整理。 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ア　薬物の選択 ｃ　薬物動態 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 イ　用法・用量 ａ　投与経路と剤形の種類と特徴	川島　央暉 三枝　禎
2025/10/06（月） 1時限 08:40～09:25	基礎　感染免疫学２	【授業の一般目標】 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために，歯科医学の科学的根拠に基づいた微生物的知識を修得し，国家試験問題の解決方法を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 細菌・ウイルス・真菌感染症と病原微生物を説明できる。 3. 感染経路について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：微生物学に関する知識の予習 事前学修時間：60分 事後学修項目：講義内容の復習，関連する国家試験問題の解き直し 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ　病因、病態 １　病因・病態 キ　感染症 ａ　病原微生物	＊齋藤　真規
2025/10/06（月） 2時限 09:30～10:15	基礎　感染免疫学３	【授業の一般目標】 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために，歯科医学の科学的根拠に基づいた免疫学的知識を修得し，国家試験問題の解決方法を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 自然免疫と獲得免疫を説明できる。 3. 免疫反応に関与する細胞および液性因子について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：免疫学の流れについて学修しておく。 事前学修時間：60分	＊齋藤　真規

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/06（月） 2時限 09:30～10:15	基礎　感染免疫学 ３	事後学修項目：講義内容の確認，関連する国家試験問題の解き直し 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｇ　免疫系（免疫系担当細胞・臓器、自然免疫、体液性免疫、細胞性免疫）	＊齋藤　真規
2025/10/08（水） 1時限 08:40～09:20	平常試験7	【授業の一般目標】 基礎歯科医学領域にかかわる知識を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 基礎歯科医学領域にかかわる知識を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：基礎歯科医学領域の講義プリントの確認 事前学修時間：3時間 事後学修項目：試験問題の復習 事後学修時間：1時間 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊伊藤　誠康
2026/01/05（月） 1時限 09:30～16:00	学力評価試験2	【授業の一般目標】 歯科医師国家試験の出題領域の知識を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 歯科医師国家試験の出題領域の知識を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：全領域の国家試験過去問の学修 事前学修時間：12時間 事後学修項目：試験問題の復習 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 その他 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊伊藤　誠康
2026/01/06（火） 1時限 09:30～16:00	学力評価試験2	【授業の一般目標】 歯科医師国家試験の出題領域の知識を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：全領域の国家試験過去問の学修 事前学修時間：12時間 事後学修項目：試験問題の復習 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 その他 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊伊藤　誠康
2026/03/16（月） 1時限 08:40～09:25	歯科生体材料学	【授業の一般目標】 歯科材料を適切に使用するために、歯科理工学の基礎知識を習得する。	永田　俊介

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	歯科生体材料学	【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.有機材料の種類および性質を説明できる。 2.無機材料の種類および性質を説明できる。 3.複合材料の種類および性質を説明できる。 4.金属材料の種類および性質を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：30分 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容（歯科材料の基本的性質）を整理・復習する。 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 セ　歯科材料・機器 ａ　基本的性質	永田　俊介
2026/03/17（火） 1時限 08:40～09:25	薬理学	【授業の一般目標】 薬物療法を理解するために，薬理学の基本的事項に関する知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.薬物の作用機序について説明できる。 2.薬物の副作用について説明できる。 3.薬物動態について説明できる。 4.薬物の相互作用について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科医師国家試験の薬理学関連問題を解く。 事前学修時間：30分 事後学修項目：授業時配布プリントの内容確認と整理。 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ア　薬物の選択 ｂ　薬効 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ア　薬物の選択 ｃ　薬物動態 ｄ　薬物の副作用・有害事象の種類・機序・対策	青野　悠里
2026/03/18（水） 1時限 08:40～09:25	病理学	【授業の一般目標】 病因・病態を理解するために，病因論と病変とのかかわりについて学修する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.以下の学修目標と内容は基礎歯科医学教育及び臨床経験に基づいて設定する。 2.病因を列挙することができる。 3.6大病変の特徴と代表的疾患について説明できる。 4.主要な口腔疾患の病理学的特徴について解説できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目： １）内因と外因、6大病変、主な口腔疾患 ・事前学修時間：30分 事後学修項目： １）講義演習問題の復習 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室	＊宇都宮　忠彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/03/18（水） 1時限 08:40～09:25	病理学	【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ６　主要な疾患と障害の病因・病態 ア　疾病の概念 ｄ　炎症 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 ６　主要な疾患と障害の病因・病態 ア　疾病の概念 ｂ　先天異常・発育異常 ｃ　細胞・組織の損傷と修復 ｄ　炎症 ｇ　腫瘍・腫瘍類似疾患 ｈ　循環障害	＊宇都宮　忠彦
2026/03/19（木） 1時限 08:40～09:25	微生物・免疫学	【授業の一般目標】 全身・口腔における微生物と宿主の関わりを理解するために，微生物の基本的性状および免疫の基本的構成要素について学修する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.細菌・ウイルス・真菌の基本的構造と違いについて説明できる。 3.免疫に関与する基本的な構成要素について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目：教科書、参考書に目を通しておく 準備学習時間：60分 事後学習項目：講義内容の復習 事後学習時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクテイブラーニングの有無：無 学習媒体：スライド、プリントなどの講義資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 イ　全身・口腔の生態系 ａ　微生物の構造・一般性状 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｇ　免疫系（免疫系担当細胞・臓器、自然免疫、体液性免疫、細胞性免疫）	＊齋藤　真規
2026/03/21（土） 1時限 08:40～09:25	生理学	【授業の一般目標】 恒常性の破綻としての疾病を理解するために，人体の恒常性の維持機構を学ぶ。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.器官系の分類を説明できる。 2.恒常性とは何かを説明できる。 3.恒常性を維持する機構としての神経と内分泌の役割を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：主な器官系の構造を学習する。 準備学修時間：30分 事後学修項目：神経性調節と液性調節の違いを復習する。 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］ 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ-３　人体の構造と機能 Ｃ-３-４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ-３-４）-（５）　神経系 ③交感神経系と副交感神経系の構造と機能を説明できる。 Ｃ-３-４）-（９）　内分泌系とホメオスタシス ②恒常性維持と内分泌系・神経系の機能相関を説明できる。	吉垣　純子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/03/23（月） 1時限 08:40～09:25	解剖学	【授業の一般目標】 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために、歯科医学の科学的根拠に基づいた解剖学的知識を修得し、国家試験問題の解決方法を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.骨の一般構造を説明できる。 2.全身の骨を説明できる。 3.骨格筋の一般構造を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：骨の発生を確認しておく。 事前学修時間：３０分 事後学修項目：筋の一般構造を復習する。 事後学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし スライド、配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 １　細胞・組織・器官の構造と機能 イ　運動・骨格系 ａ　骨・軟骨（骨の連結を含む）	松野　昌展
2026/03/24（火） 1時限 08:40～09:25	組織学	【授業の一般目標】 人体を構成する細胞・組織の内部構造を理解するために、組織学の基本的事項に関する知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.細胞の構成要素を説明できる。 2.上皮組織の種類と特徴を説明できる。 3.支持組織の種類と特徴を説明できる。 4.筋組織の種類と特徴を説明できる。 5.神経組織を構成する細胞とその特徴を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：人体を構成する細胞および４つの組織について 準備学修時間：60分 事後学修項目：講義資料の復習 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体等：パワーポイント、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｄ　組織［上皮組織、結合〈支持〉組織（血液を含む）、筋組織、神経組織］	玉村　亮
2026/03/25（水） 1時限 08:40～09:25	生化学	【授業の一般目標】 身体を構成する基本物質を理解するために，タンパク質・炭水化物・脂質等の構造や特徴を学ぶ。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.生体を構成する基本成分を説明できる。 2.五大栄養素とエネルギー代謝を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：４年次栄養学プリントを見直し不明な点を探っておく。 事前学修時間：30分 事後学修項目：今回配布したプリントの見直し。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ａ　生体構成成分	竹内　麗理 栄原　紀子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/03/25（水） 1時限 08:40～09:25	生化学	【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｃ　細胞・細胞小器官の構造・機能	竹内　麗理 栗原　紀子

小児・矯正・障害者・歯科総合

年次	学期	学修ユニット責任者
5年次	通年	＊伊藤　龍朗（小児歯科学）

学修ユニット学修目標（ＧＩＯ）	小児歯科学、歯科矯正学、障害者歯科学、歯科総合診療学の知識について修得する。
担当教員	＊伊藤　誠康
評価方法（ＥＶ）	演習試験、平常試験、学力評価試験、定期試験によって評価する。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/04/16（水） 1時限 08:40～09:40	障害者をとりまく環境	【授業の一般目標】 障害者差別解消法について、成立過程や経過を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2.障害者権利条約についてその概要を説明することができる。 3.障害者差別解消法についてその概要を説明することができる。 4.合理的配慮を説明することができる。 5.合理的配慮とセルフアドボカシー 6.バリアフリー・コンフリクトを説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：厚生労働省のHPを閲覧し、「厚生労働省における障害を理由とする差別の解消の推進」の中の「医療関係事業者向けガイドライン」の内容を確認しておく。 事前学修時間：３０分 事後学修項目：授業配布資料を用いて確認する。 事後学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングはありません。 配布プリント、パワーポイントにて講義を行います。 講義後レポート課題；障害学生（e.g.発達障害のある）の授業参加における合理的配慮とセルフアドボカシーについて考察する。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ２　社会と歯科医療 ア　患者・障害者のもつ心理社会的問題と背景 ａ　疾病・障害の概念・構造（社会的関わり） 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 ２　社会と歯科医療 ア　患者・障害者のもつ心理社会的問題と背景 ｃ　ノーマライゼーションの理念 【コアカリキュラム】 Ａ　歯科医師として求められる基本的な資質・能力 Ａ-４　コミュニケーション能力 Ａ-４-１）　コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法（言語的・準言語的・非言語的）を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 Ａ-４-２）　患者と歯科医師の関係 ①患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。 ②患者に分かりやすい言葉で説明できる。 ③患者の心理的・社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。 ⑥患者のプライバシーに配慮できる。 Ｂ　社会と歯学 Ｂ-２　健康と社会、環境 Ｂ-２-２）　保健・医療・福祉・介護の制度 ③社会保障制度（社会保険・社会福祉・公的扶助・公衆衛生）を説明できる。 ⑤障害者の置かれた社会環境を説明できる。 ⑥虐待の防止に関する制度と歯科医師の責務を説明できる。 ⑦社会環境（ノーマライゼーション、バリアフリー、quality of life〈QOL〉）の考え方を説明できる。	＊地主　知世
2025/05/14（水） 1時限 08:40～09:40	医療面接とSOAP	【授業の一般目標】 適切な診療を行うために医療面接に関する基本的事項の聴取とSOAP形式の記載について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.医療面接の意義・目的について説明できる。	＊青木　伸一郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/14（水） 1時限 08:40～09:40	医療面接とSOAP	3.各種質問法について説明できる。 4.解釈モデルについて説明できる。 5.SOAPについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：４年次医療行動科学４の講義内容の復習および医療面接における基本的事項、POMRにおけるSOAP 事前学修時間：60分 事後学修項目：講義資料の内容確認と整理 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ８　診察の基本 ウ　医療面接 ａ　意義、目的（医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加） 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 ８　診察の基本 ウ　医療面接 ｂ　自己紹介、患者の確認 ｃ　マナー（身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応） ｄ　聴取事項（主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望） ｅ　患者への説明・声かけ・例示 【コアカリキュラム】 Ａ　歯科医師として求められる基本的な資質・能力 Ａ-４　コミュニケーション能力 Ａ-４-１）　コミュニケーション ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。	＊青木　伸一郎
2025/05/15（木） 1時限 08:40～09:40	矯正歯科治療における固定	【授業の一般目標】 不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を図るために、矯正歯科治療を行う上で必要な固定の種類について学ぶ。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.抜歯症例における抜歯空隙利用のための固定の強さについて説明できる。 3.加強固定を説明できる。 4.Tweedの準備固定を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：①固定の種類について　②加強固定について　③Tweedの準備固定について ＊歯科矯正学（第６版）ｐ200-207を読んでおくこと。 事前学修時間：30分 事後学修項目：授業時配布の資料に基づき必須項目を復習する。 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：配布プリント、ＰＣによるスライド 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 ７　矯正力 エ　固定 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-４　矯正歯科・小児歯科治療 Ｅ-４-１）　不正咬合の治療 ③不正咬合の原因、種類、障害、診察、検査、診断、治療及び予防法を説明できる。	＊石井　かおり 小倉柚香
2025/05/16（金） 1時限 08:40～09:40	矯正力と歯の移動・組織変化	【授業の一般目標】 不正咬合がもたらす口腔機能障害や審美的障害を除去し、患者のQOLの向上を図るために、矯正力と生体反応について学ぶ。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.顎整形力について説明できる。 3.機能的矯正力について説明できる。 4.歯の傾斜移動と歯体移動について説明できる。 5.矯正力に伴う生体反応を説明できる。 6.圧迫側と牽引側の組織変化を説明できる。	＊根岸　慎一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/16（金） 1時限 08:40～09:40	矯正力と歯の移動・組織変化	【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：①矯正力の種類について　②歯の移動様式について　③矯正力に伴う生体反応について 　＊歯科矯正学（第６版）ｐ122-134を読んでおくこと。 事前学修時間：60分 事後学修項目：授業時配布の資料に基づき必須項目を復習する。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 学修媒体：配布プリント、ＰＣによるスライド 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 ８　生体反応 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-４　矯正歯科・小児歯科治療 Ｅ-４-１）　不正咬合の治療 ①矯正治療の目的と意義を説明できる。	＊根岸　慎一
2025/05/17（土） 1時限 08:40～09:40	矯正装置と矯正力	【授業の一般目標】 適切な矯正治療を行うために、矯正装置の特徴と矯正力について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.舌側弧線装置について説明できる。 3.機能性矯正装置について説明できる。 4.矯正力の種類について説明できる。 5.顎整形力を発揮する矯正装置を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：①早期治療について　②乳歯混合歯列で使用する矯正装置について ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：①矯正装置の使用目的について　②矯正力の種類について ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業配布プリント、ＰＣによるスライド 参考図書：医歯薬出版「歯科矯正学」第６版 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 １０　不正咬合の治療 イ　乳歯列期・混合歯列期の不正咬合の治療 ａ　動的咬合誘導	＊石井　かおり 黒江　星斗
2025/05/19（月） 1時限 08:40～09:40	不正咬合の特徴1（下顎前突）	【授業の一般目標】 下顎前突を主訴に来院した患者の相談に適切に対応するために必要な基本的知識について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.下顎前突の発現要因を説明できる。 3.機能性反対咬合の特徴を述べることができる。 4.骨格性下顎前突の特徴を述べることができる。 5.反対咬合の早期治療について説明できる。 6.反対咬合の治療に用いる装置とその使用目的を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：①早期治療について　②機能検査の種類について　③乳歯混合歯列で使用する矯正装置について ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：①早期治療について　②骨格性反対咬合と機能性反対咬合の鑑別について　③機能性反対咬合の治療計画について ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：授業配布プリント、ＰＣによるスライド 参考図書：医歯薬出版「歯科矯正学」第６版 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室	＊石井　かおり 鈴木　裕介

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/19（月） 1時限 08:40～09:40	不正咬合の特徴1 （下顎前突）	【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 ５　不正咬合の病因・病態 イ　不正咬合の疫学と種類・分類	＊石井　かおり 鈴木　裕介
2025/05/20（火） 1時限 08:40～09:40	不正咬合の特徴２ （上顎前突）	【授業の一般目標】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。上顎前突を主訴に来院した患者からの相談に適切に対応するために必要な基本的知識を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.上顎前突の発現要因を説明できる。 2.上顎前突の形態的特徴を列挙できる。 3.上顎前突の機能的特徴を列挙できる。 4.上顎前突の早期治療について説明できる。 5.上顎前突の治療に用いる矯正装置とその使用目的を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：①早期治療について　②口腔習癖について　③乳歯混合歯列で使用する矯正装置について ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：①早期治療について　②AngleⅡ級不正咬合の特徴について ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無　学修媒体：マルチメディア使用、プリント配布。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 ６　不正咬合の診断 エ　治療計画	＊清水　真美
2025/05/21（水） 1時限 08:40～09:40	小児の歯・歯列の発育と特徴	【授業の一般目標】 小児の歯科疾患に適切に対応するために、小児の歯・歯列の発育と特徴について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき 以下の内容を教授する。 2.乳歯，永久歯の形態および特徴を説明できる。 3.歯の形態異常を説明できる。 4.歯の発育時期について説明できる。 5.Hellmanの歯齢を列記できる。 6.乳歯列および混合歯列の特徴を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯列・咬合の発育、歯の発育と異常 事前学修時間：１時間 事後学修項目：授業配布の資料の内容確認と整理 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：授業スライド 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習　第２版」、学建書院「小児の口腔科学　第３版、第４版」 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ５　人体の発生・成長・発達・加齢変化 ウ　口腔・顎顔面の成長・発育 ａ　歯・歯列・咬合の発育（発育時期、萌出時期・順序、歯の脱落・交換時期、歯齢）	＊伊藤　龍朗
2025/05/22（木） 1時限 08:40～09:50	演習試験2	【授業の一般目標】 小児・矯正・障害者・歯科総合診療学領域の国家試験過去問を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：小児・矯正・障害者・歯科総合診療学領域の国家試験過去問の学修 事前学修時間：3時間 事後学修項目：試験問題の復習 事後学修時間：1時間 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室	＊清水　武彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/23（金） 1時限 08:40～09:40	小児期の治療時に留意すべき疾患	【授業の一般目標】 小児への対応を適切に行うために、小児期の治療時に留意すべき疾患について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.口腔症状に伴う全身疾患について説明できる。 3.口腔症状を伴う全身疾患についての治療上の注意について説明できる。 4.遺伝性疾患とその顎頭蓋顔面症候について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：『小児の口腔科学』小児の留意すべき疾患 事前学修時間：60分 事後学修項目：授業配布の資料の内容確認と整理 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 ２　歯の異常 ウ　構造の異常 ｂ　エナメル質形成不全{症}	＊岡本　京
2025/05/24（土） 1時限 08:40～09:40	小児の歯周疾患、軟組織疾患	【授業の一般目標】 小児の歯科疾患の診断および治療ができるようになるために、歯周疾患、口腔軟組織疾患について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.小児の歯周疾患の種類および特徴について説明できる。 3.小児の歯周疾患の処置について説明できる。 4.口腔軟組織について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：小児の歯周疾患、口腔軟組織疾患 事前学修時間：１時間 事後学修項目：授業配布の資料の内容確認と整理 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学習媒体：配布プリント、スライド 参考図書：学健書院「小児の口腔科学」 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 ３　口腔・顎顔面の疾患 イ　口腔軟組織の疾患 ａ　萌出嚢胞 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 ３　口腔・顎顔面の疾患 イ　口腔軟組織の疾患 ａ　萌出嚢胞 ｂ　幼児の歯肉嚢胞 ｃ　Bednarアフタ ｄ　小帯異常 ｅ　Riga-Fede病	＊渡邉　千尋
2025/05/26（月） 1時限 08:40～09:40	小児の心身発達	【授業の一般目標】 小児の歯科疾患に適切に対応するために、小児の心身発達について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】	＊清水　邦彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/26（月） 1時限 08:40～09:40	小児の心身発達	1. 臨床経験に基づき 以下の内容を教授する。 2. 小児の身体発達について説明できる。 3. 小児の情動の発達について説明できる。 4. 小児の運動機能の発達について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：小児の発達 準備学修時間：１時間 事後学修項目：授業配布の資料の内容確認と整理 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：授業スライド 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習　第3版」、学建書院「小児の口腔科学　第4版、第5版」 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ５　人体の発生・成長・発達・加齢変化 イ　人体の発育 ｂ　成長・発達（形態的・生理的変化）の特徴（身体成長、原始反射、運動の発達、社会性の発達、言語の発達、情動の発達） 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 ５　人体の発生・成長・発達・加齢変化 イ　人体の発育 ａ　発育区分（出生前期、新生児期、乳児期、幼児期、学童期、思春期） ｃ　小児の生理的特徴	＊清水　邦彦
2025/05/27（火） 1時限 08:40～09:40	咬合誘導	【授業の一般目標】 乳歯および混合歯列期に生じた歯の欠損と歯列不正に対応するために、静的咬合誘導（保隙）と動的咬合誘導を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 保隙の必要性を説明できる。 3. 咬合誘導の概念を説明できる。 4. 歯列不正の原因を説明できる。 5. 保隙装置とその適応、管理について説明できる。 6. 保隙装置の作成方法および作成時の注意点について説明できる。 7. 動的咬合誘導に使用する装置とその適応について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：『小児の口腔科学』咬合誘導 事前学修時間：60分 事後学修項目：授業配布の資料の内容確認と整理 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学習媒体：配布プリント、スライド 参考図書：学健書院「小児の口腔科学」 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 ５　不正咬合の病因・病態 ウ　不正咬合の原因 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 ５　不正咬合の病因・病態 エ　不正咬合による障害	＊根本　晴子
2025/05/28（水） 1時限 08:40～09:40	摂食嚥下機能の発達	【授業の一般目標】 摂食嚥下リハビリテーションに必要な摂食嚥下機能の発達について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 哺乳機能について説明できる。 3. 離乳期の摂食嚥下機能について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学（医歯薬出版），過去授業プリント ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を用いた内容確認と整理 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし	＊地主　知世

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/28（水） 1時限 08:40～09:40	摂食嚥下機能の発達	【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ７　人体の成長・発達・加齢変化 ウ　口腔・顎の機能の発達 ａ　摂食嚥下機能 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ６　口腔・顎顔面の機能 イ　運動 ｄ　吸啜、嘔吐 ａ　咀嚼能力 ７　人体の成長・発達・加齢変化 ウ　口腔・顎の機能の発達 ａ　摂食嚥下機能 ｂ　機能的変化 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－５　高齢者、障害者、精神・心身医学的疾患 Ｅ－５－２）　障害者の歯科治療 ⑤発達期の摂食嚥下障害の診察、評価、診断を説明できる。 ⑥発達期の摂食嚥下障害のリハビリテーションを説明できる。	＊地主　知世
2025/05/29（木） 1時限 08:40～09:40	障害者への対応	【授業の一般目標】 スペシャルニーズがある人に対する歯科臨床場面において、治療に対する不安や恐怖を 取り除くための支援について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 1)「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 2)行動調整について説明できる。 3. 3)オリエンテーションについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科　第2版（医歯薬出版） ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を用いた内容確認と整理 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅴ　診察 ３　障害者への対応 ウ　行動調整	＊梅澤　幸司 ＊矢口　学
2025/05/30（金） 1時限 08:40～09:40	高齢者の摂食嚥下障害とリハビリテーション	【授業の一般目標】 摂食嚥下リハビリテーションを理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 高齢者の摂食嚥下障害の原因について説明できる。 3. 摂食嚥下リハビリテーションについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目とそれに要する時間数：摂食嚥下障害の検査およびリハビリテーションについて（６０分） 事後学修項目とそれに要する時間数：摂食嚥下障害の検査，間接訓練，直接訓練（６０分） 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅴ　診察 ５　高齢者への対応 イ　評価 ｅ　摂食嚥下障害 【コアカリキュラム】	＊林　佐智代

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/30（金） 1時限 08:40～09:40	高齢者の摂食嚥下障害とリハビリテーション	E　臨床歯学 E-5　高齢者、障害者、精神・心身医学的疾患 E-5-1）　高齢者の歯科治療 ⑧摂食嚥下障害の診察、検査及び診断を説明できる。 ⑨摂食嚥下リハビリテーションを説明できる。	＊林　佐智代
2025/06/02（月） 1時限 08:40～09:45	平常試験2	【授業の一般目標】 小児・矯正・障害者・歯科総合診療学領域にかかわる知識を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 小児・矯正・障害者・歯科総合診療学領域にかかわる知識を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：小児・矯正・障害者・歯科総合診療学領域の講義プリントの確認 事前学修時間：3時間 事後学修項目：試験問題の復習 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室	＊伊藤　誠康
2025/10/10（金） 1時限 08:40～09:25	ＰＯＳとＰＯＭＲ	【授業の一般目標】 十分な情報収集・情報の整理を行い，患者中心の医療を実践するために，問題志向型診療録について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 問題解決過程について説明できる。 3. ＰＯＳについて説明できる。 4. ＰＯＭＲの記載項目を挙げて各々について説明できる。 5. ＳＯＡＰについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：臨床実習において実践したＰＯＭＲの内容確認 ・準備学修時間：15分 ・事後学修項目：ＰＯＭＲの構成、ＳＯＡＰ記載に関する知識の確認 ・事後学修時間：15分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ２　社会と歯科医療 サ　診療録、診療情報の記録と管理 ｂ　SOAP（主観的情報、客観的情報、評価、計画）	＊岡本　康裕
2025/10/10（金） 2時限 09:30～10:15	ＰＯＳとＰＯＭＲ	【授業の一般目標】 十分な情報収集・情報の整理を行い，患者中心の医療を実践するために，問題志向型診療録について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 問題解決過程について説明できる。 3. ＰＯＳについて説明できる。 4. ＰＯＭＲの記載項目を挙げて各々について説明できる。 5. ＳＯＡＰについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：臨床実習において実践したＰＯＭＲの内容確認 ・準備学修時間：15分 ・事後学修項目：ＰＯＭＲの構成、ＳＯＡＰ記載に関する知識の確認 ・事後学修時間：15分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ２　社会と歯科医療 サ　診療録、診療情報の記録と管理 ｂ　SOAP（主観的情報、客観的情報、評価、計画）	＊岡本　康裕
2025/10/11（土）	医療面接とコミュ	【授業の一般目標】	＊青木　伸一郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
1時限 08:40～09:25	ニケーション	適切な診療を行うために医療面接に重要なコミュニケーションに関する基本的事項を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.医療面接の意義・目的について説明できる。 3.各種質問法について説明できる。 4.解釈モデルについて説明できる。 5.言語的・非言語的コミュニケーションについて説明できる。 6.医療者の態度類型について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：医療面接の目的、質問法、コミュニケーションの基本 準備学修時間：60分 事後学修項目：講義資料の内容確認と整理 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ８　診察の基本 ウ　医療面接 ａ　意義、目的（医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加） 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 ８　診察の基本 ウ　医療面接 ｂ　自己紹介、患者の確認 ｃ　マナー（身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応） ｄ　聴取事項（主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望） ｅ　患者への説明・声かけ・例示 【コアカリキュラム】 Ａ　歯科医師として求められる基本的な資質・能力 Ａ-４　コミュニケーション能力 Ａ-４-１）　コミュニケーション ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。	＊青木　伸一郎
2025/10/11（土） 2時限 09:30～10:15	医療面接	【授業の一般目標】 適切な診療を行うために医療面接に関する基本的事項を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.医療面接の意義・目的について説明できる。 3.各種質問法について説明できる。 4.解釈モデルについて説明できる。 5.言語的・非言語的コミュニケーションについて説明できる。 6.医療者の態度類型について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：医療面接の目的、質問法、コミュニケーションの基本 準備学修時間：60分 事後学修項目：講義資料の内容確認と整理 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ８　診察の基本 ウ　医療面接 ａ　意義、目的（医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加） 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 ８　診察の基本 ウ　医療面接 ｂ　自己紹介、患者の確認 ｃ　マナー（身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応） ｄ　聴取事項（主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望） ｅ　患者への説明・声かけ・例示 【コアカリキュラム】 Ａ　歯科医師として求められる基本的な資質・能力	＊青木　伸一郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/11（土） 2時限 09:30～10:15	医療面接	A-4　コミュニケーション能力 A-4-1）　コミュニケーション ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。	＊青木　伸一郎
2025/10/14（火） 1時限 08:40～09:25	小児の歯科治療、齲蝕と予防	【授業の一般目標】 小児の歯科治療および齲蝕予防ができるようになるために、小児への対応、小児の齲蝕と進行抑制について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 小児への対応法を説明できる。 3. 小児の齲蝕の特徴を説明できる。 4. フッ化物の使用について説明できる。 5. シーラントについて説明できる。 6. 口腔衛生指導について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：『小児の口腔科学』　齲蝕と予防 準備学修時間： 30分 事後学修項目： 配布プリント 事後学修時間： 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：授業スライド 参考図書：学建書院「小児の口腔科学」 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 イ　歯の硬組織疾患の予防・管理 ａ　齲蝕の予防・管理	＊伊藤　龍朗
2025/10/14（火） 2時限 09:30～10:15	小児の歯科治療、齲蝕と予防	【授業の一般目標】 小児の歯科治療および齲蝕予防ができるようになるために、小児への対応、小児の齲蝕と進行抑制について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 小児への対応法を説明できる。 3. 小児の齲蝕の特徴を説明できる。 4. フッ化物の使用について説明できる。 5. シーラントについて説明できる。 6. 口腔衛生指導について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：『小児の口腔科学』　齲蝕と予防 準備学修時間： 30分 事後学修項目： 配布プリント 事後学修時間： 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：授業スライド 参考図書：学建書院「小児の口腔科学」 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 イ　歯の硬組織疾患の予防・管理 ａ　齲蝕の予防・管理	＊伊藤　龍朗
2025/10/15（水） 1時限 08:40～09:25	歯の発育と異常	【授業の一般目標】 小児の歯科疾患の診断および治療ができるようになるために、歯の発育と異常について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 年齢と歯の発育について説明できる。 3. 歯の形成障害について説明できる。 4. 萌出の異常について説明できる。 5. 歯数の異常について説明できる。 6. 形態の異常について説明できる。 7. 構造の異常について説明できる。 8. 色調の異常について説明できる。 9. その他の異常について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：『小児の口腔科学』　歯の発育と異常	＊岡本　京

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/15（水） 1時限 08:40～09:25	歯の発育と異常	準備学修時間： 30分 事後学修項目： 配布プリント 事後学修時間： 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：『小児の口腔科学』　第4版　学建書院 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 ２　歯の異常 ア　数の異常 ａ　過剰歯 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 ２　歯の異常 ア　数の異常 ｂ　先天欠如 ａ　癒合歯、癒着歯、双生歯 ｂ　中心結節、切歯結節 ｆ　Hutchinson歯、Fournier歯 ｂ　エナメル質形成不全{症} ｃ　象牙質形成不全{症}	＊岡本　京
2025/10/15（水） 2時限 09:30～10:15	歯の発育と異常	【授業の一般目標】 小児の歯科疾患の診断および治療ができるようになるために、歯の発育と異常について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.年齢と歯の発育について説明できる。 3.歯の形成障害について説明できる。 4.萌出の異常について説明できる。 5.歯数の異常について説明できる。 6.形態の異常について説明できる。 7.構造の異常について説明できる。 8.色調の異常について説明できる。 9.その他の異常について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：『小児の口腔科学』　歯の発育と異常 準備学修時間： 30分 事後学修項目： 配布プリント 事後学修時間： 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：『小児の口腔科学』　第4版　学建書院 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 ２　歯の異常 ア　数の異常 ａ　過剰歯 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 ２　歯の異常 ア　数の異常 ｂ　先天欠如 ａ　癒合歯、癒着歯、双生歯 ｂ　中心結節、切歯結節 ｆ　Hutchinson歯、Fournier歯 ｂ　エナメル質形成不全{症} ｃ　象牙質形成不全{症}	＊岡本　京
2025/10/16（木） 1時限 08:40～09:25	小児期の歯冠修復と歯内療法	【授業の一般目標】 小児歯科患者の保存処置ができるようになるために、小児の歯冠修復および歯内療法について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.小児の歯冠修復の適応症を説明できる。 3.小児の歯冠修復の術式を説明できる。 4.小児の歯内療法の適応症を説明できる。 5.小児の歯内療法の術式を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：「小児の口腔科学」齲蝕治療	＊渡邉　千尋

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/16（木） 1時限 08:40～09:25	小児期の歯冠修復と歯内療法	準備学修時間： 30分 事後学修項目： 配布プリント 事後学修時間： 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：授業スライド 参考図書：学建書院「小児の口腔科学」 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ２　歯髄疾患・根尖性歯周疾患 ウ　小児の歯髄疾患・根尖性歯周疾患 ａ　歯髄疾患	＊渡邉　千尋
2025/10/16（木） 2時限 09:30～10:15	小児期の歯冠修復と歯内療法	【授業の一般目標】 小児歯科患者の保存処置ができるようになるために、小児の歯冠修復および歯内療法について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.小児の歯冠修復の適応症を説明できる。 3.小児の歯冠修復の術式を説明できる。 4.小児の歯内療法の適応症を説明できる。 5.小児の歯内療法の術式を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：「小児の口腔科学」齲蝕治療 準備学修時間： 30分 事後学修項目： 配布プリント 事後学修時間： 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：授業スライド 参考図書：学建書院「小児の口腔科学」 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ２　歯髄疾患・根尖性歯周疾患 ウ　小児の歯髄疾患・根尖性歯周疾患 ａ　歯髄疾患	＊渡邉　千尋
2025/10/17（金） 1時限 08:40～09:25	小児の外傷歯への対応	【授業の一般目標】 歯の外傷を主訴として来院する小児患者に対処できるようになるために、小児の歯の外傷の特徴、診査、診断および対応方法を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.小児の歯の外傷の特徴を説明できる。 3.小児の歯の外傷の原因を説明できる。 4.外傷歯への影響を説明できる。 5.乳歯外傷による後継永久歯への影響を説明できる。 6.乳歯および幼若永久歯の歯冠破折の診査と診断および処置法と予後を説明できる。 7.乳歯および幼若永久歯の歯根破折の診査と診断および処置法と予後を説明できる。 8.乳歯および幼若永久歯の脱臼の診査と診断および処置法と予後を説明できる。 9.小児の歯の外傷の予防を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：「小児の口腔科学」歯の外傷と処置 準備学修時間： 30分 事後学修項目： 配布プリント 事後学修時間： 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：授業スライド 参考図書：学建書院「小児の口腔科学　第4版、第5版」 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 ４　小児の歯・口腔・顎の外傷 ウ　小児顎骨骨折の病態・診断・治療	＊根本　晴子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/17（金） 1時限 08:40～09:25	小児の外傷歯への対応		＊根本　晴子
2025/10/17（金） 2時限 09:30～10:15	小児の外傷歯への対応	【授業の一般目標】 歯の外傷を主訴として来院する小児患者に対処できるようになるために、小児の歯の外傷の特徴、診査、診断および対応方法を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.小児の歯の外傷の特徴を説明できる。 3.小児の歯の外傷の原因を説明できる。 4.外傷歯への影響を説明できる。 5.乳歯外傷による後継永久歯への影響を説明できる。 6.乳歯および幼若永久歯の歯冠破折の診査と診断および処置法と予後を説明できる。 7.乳歯および幼若永久歯の歯根破折の診査と診断および処置法と予後を説明できる。 8.乳歯および幼若永久歯の脱臼の診査と診断および処置法と予後を説明できる。 9.小児の歯の外傷の予防を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：「小児の口腔科学」歯の外傷と処置 準備学修時間： 30分 事後学修項目： 配布プリント 事後学修時間： 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：授業スライド 参考図書：学建書院「小児の口腔科学　第4版、第5版」 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 ４　小児の歯・口腔・顎の外傷 ウ　小児顎骨骨折の病態・診断・治療	＊根本　晴子
2025/10/18（土） 1時限 08:40～10:15	演習試験８	【授業の一般目標】 小児・矯正・障害者・歯科総合診療学領域の国家試験過去問を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.小児・矯正・障害者・歯科総合診療学領域のの国家試験過去問を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：小児・矯正・障害者・歯科総合診療学領域の国家試験過去問の学修 事前学修時間：3時間 事後学修項目：試験問題の復習 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊伊藤　誠康
2025/10/20（月） 1時限 08:40～09:25	小児の外科的処置	【授業の一般目標】 小児の口腔疾患に外科的対応をするために、小児期に行われる主な外科処置を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.炎症に対する対応を説明できる。 3.小帯異常とその対応を説明できる。 4.口唇に現れる病変とその対応を説明できる。 5.歯肉に現れる病変とその対応を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：「小児の口腔科学」外科的処置 準備学修時間： 30分 事後学修項目： 配布プリント 事後学修時間： 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：授業スライド 参考図書：学建書院「小児の口腔科学」 【学修方略（ＬＳ）】	＊清水　邦彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/20（月） 1時限 08:40～09:25	小児の外科的処置	講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 ３　口腔・顎顔面の疾患 イ　口腔軟組織の疾患 ｄ　小帯異常 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 ３　口腔・顎顔面の疾患 イ　口腔軟組織の疾患 ｂ　幼児の歯肉嚢胞 ｃ　Bednarアフタ ｅ　Riga-Fede病	＊清水　邦彦
2025/10/20（月） 2時限 09:30～10:15	小児の外科的処置	【授業の一般目標】 小児の口腔疾患に外科的対応をするために、小児期に行われる主な外科処置を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.舌に現れる病変とその対応を説明できる。 3.顎骨内に現れる病変とその対応を説明できる。 4.小児期の局所麻酔について説明できる。 5.乳歯の抜歯について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：「小児の口腔科学」外科的処置 準備学修時間： 30分 事後学修項目： 配布プリント 事後学修時間： 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：授業スライド 参考図書：学建書院「小児の口腔科学」 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ２　主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ　顎骨に発生する嚢胞性疾患の病態・診断・治療 ａ　歯原性嚢胞 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ４　手術・周術期の管理、麻酔 ア　手術 ｆ　抜歯、口腔の小手術	＊清水　邦彦
2025/10/21（火） 1時限 08:40～09:25	セファロ分析、模型計測	【授業の一般目標】 矯正治療におけるセファロ分析及び模型計測について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.各計測点について説明できる。 3.各基準平面について説明できる。 4.計測項目について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：セファロ分析項目 準備学修時間：30分 事後学修項目：セファロ分析項目 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：歯科矯正学　第6版　医歯薬出版 p157-169 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 ６　不正咬合の診断 イ　検査	＊石井　かおり

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/21（火） 2時限 09:30～10:15	セファロ分析、模型計測	【授業の一般目標】 矯正治療におけるセファロ分析及び模型計測について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.各計測点について説明できる。 3.各基準平面について説明できる。 4.計測項目について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：セファロ分析項目 準備学修時間：30分 事後学修項目：セファロ分析項目 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：歯科矯正学　第6版　医歯薬出版 p157-169 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 ６　不正咬合の診断 イ　検査	＊石井　かおり
2025/10/22（水） 1時限 08:40～09:25	不正咬合の原因	【授業の一般目標】 適切な矯正治療を実践するために必要な、不正咬合の病態および原因について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.不正咬合の先天的原因について説明できる。 3.不正咬合の後天的原因について説明できる。 4.各種不正咬合の特徴を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：不正咬合の原因 準備学修時間：30分 事後学修項目：不正咬合の原因 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：歯科矯正学　第6版　医歯薬出版 p100-115 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 ５　不正咬合の病因・病態 ウ　不正咬合の原因	＊石井　かおり 鈴木　裕介
2025/10/22（水） 2時限 09:30～10:15	不正咬合の原因	【授業の一般目標】 適切な矯正治療を実践するために必要な、不正咬合の病態および原因について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.不正咬合の先天的原因について説明できる。 3.不正咬合の後天的原因について説明できる。 4.各種不正咬合の特徴を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：不正咬合の原因 準備学修時間：30分 事後学修項目：不正咬合の原因 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：歯科矯正学　第6版　医歯薬出版 p100-115 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 ５　不正咬合の病因・病態 ウ　不正咬合の原因	＊石井　かおり 鈴木　裕介

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/23（木） 1時限 08:40～09:25	治療計画の立案１ （混合歯列期）	【授業の一般目標】 混合歯列の矯正治療における治療方針、矯正装置および器材について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.上顎前突の形態的、機能的特徴を列挙できる。 3.骨格性、機能的下顎前突の特徴を述べることができる。 4.上顎前突、下顎前突の治療に用いる矯正装置とその使用目的を説明できる。 5.開咬の形態的、機能的特徴を列挙できる。 6.狭窄歯列の形態的、機能的特徴を列挙できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：混合歯列期の治療 準備学修時間：60分 事後学修項目：混合歯列期の治療 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：歯科矯正学　第6版　医歯薬出版　p263-284 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 １０　不正咬合の治療 イ　乳歯列期・混合歯列期の不正咬合の治療 ａ　動的咬合誘導	＊石井　かおり 小倉柚香
2025/10/23（木） 2時限 09:30～10:15	治療計画の立案１ （混合歯列期）	【授業の一般目標】 混合歯列の矯正治療における治療方針、矯正装置および器材について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.上顎前突の形態的、機能的特徴を列挙できる。 3.骨格性、機能的下顎前突の特徴を述べることができる。 4.上顎前突、下顎前突の治療に用いる矯正装置とその使用目的を説明できる。 5.開咬の形態的、機能的特徴を列挙できる。 6.狭窄歯列の形態的、機能的特徴を列挙できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：混合歯列期の治療 準備学修時間：60分 事後学修項目：混合歯列期の治療 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：歯科矯正学　第6版　医歯薬出版　p263-284 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 １０　不正咬合の治療 イ　乳歯列期・混合歯列期の不正咬合の治療 ａ　動的咬合誘導	＊石井　かおり 小倉柚香
2025/10/24（金） 1時限 08:40～09:25	治療計画の立案２ （永久歯列期）	【授業の一般目標】 永久歯列期の矯正治療における治療方針、矯正装置および器材について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.抜歯、非抜歯の診断について説明できる。 3.抜歯部位について説明できる。 4.マルチブラケット装置の治療について説明できる。 5.固定および固定装置について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：抜歯非抜歯の判定 準備学修時間：30分 事後学修項目：永久歯列期の治療 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：歯科矯正学　第6版　医歯薬出版 p285-326 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】	＊清水　真美

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/24（金） 1時限 08:40～09:25	治療計画の立案２ （永久歯列期）	歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 １０　不正咬合の治療 ウ　永久歯列期の不正咬合の治療	＊清水　真美
2025/10/24（金） 2時限 09:30～10:15	治療計画の立案２ （永久歯列期）	【授業の一般目標】 永久歯列期の矯正治療における治療方針、矯正装置および器材について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.抜歯、非抜歯の診断について説明できる。 3.抜歯部位について説明できる。 4.マルチブラケット装置の治療について説明できる。 5.固定および固定装置について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：抜歯非抜歯の判定 準備学修時間：30分 事後学修項目：永久歯列期の治療 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：歯科矯正学　第6版　医歯薬出版 p285-326 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 １０　不正咬合の治療 ウ　永久歯列期の不正咬合の治療	＊清水　真美
2025/10/25（土） 1時限 08:40～09:25	治療計画の立案３ （外科的矯正治療）	【授業の一般目標】 顎変形症患者の矯正治療を適切に行うために必要な診断、治療方針及び治療計画の立案について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.デンタルコンペンセーションを説明できる。 3.外科的矯正治療の流れを説明できる。 4.術前矯正治療について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：①骨格性下顎前突、骨格性上顎前突の特徴について ②外科的矯正治療とは 準備学修時間：30分 事後学修項目：外科的矯正治療について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：歯科矯正学　第6版　医歯薬出版 p345-352 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 １０　不正咬合の治療 オ　顎変形症の治療	＊石井　かおり
2025/10/25（土） 2時限 09:30～10:15	治療計画の立案３ （外科的矯正治療）	【授業の一般目標】 顎変形症患者の矯正治療を適切に行うために必要な診断、治療方針及び治療計画の立案について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.デンタルコンペンセーションを説明できる。 3.外科的矯正治療の流れを説明できる。 4.術前矯正治療について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：①骨格性下顎前突、骨格性上顎前突の特徴について ②外科的矯正治療とは 準備学修時間：30分 事後学修項目：外科的矯正治療について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：歯科矯正学　第6版　医歯薬出版 p345-352 【学修方略（ＬＳ）】	＊石井　かおり

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/25（土） 2時限 09:30～10:15	治療計画の立案３ （外科的矯正治療）	講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 １０　不正咬合の治療 オ　顎変形症の治療	＊石井　かおり
2025/10/27（月） 1時限 08:40～09:25	摂食嚥下機能に関する検査	【授業の一般目標】 摂食嚥下機能に関する検査を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.摂食嚥下障害の検査について説明できる。 3.摂食嚥下リハビリテーションについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：摂食嚥下に関する項目を教科書やプリント等で確認しておくこと。 ・準備学修時間：60分 ・事後学修項目：当日、触れた内容について教科書を再度、確認しておくこと。 ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅴ　診察 ５　高齢者への対応 イ　評価 ｅ　摂食嚥下障害 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 ８　診察の基本 ア　診察のあり方 ａ　安全と感染への配慮 イ　基本手技 ａ　視診、触診、打診、聴診 ９　検査・臨床判断の基本 カ　画像検査 ｅ　CT（単純、造影）、歯科用コーンビームCT １１　治療の基礎・基本手技 シ　口腔機能のリハビリテーション ａ　咀嚼機能、摂食嚥下機能、発話機能 歯科医学総論 総論Ⅵ　検査 １　口腔検査・顎口腔機能検査 イ　顎口腔機能検査 ｅ　摂食嚥下機能検査 歯科医学各論 各論Ⅴ　配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 ４　高齢者・有病者等に関連した臨床評価・診断・治療計画 イ　口腔機能の評価 ａ　口腔機能および摂食嚥下機能 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－５　高齢者、障害者、精神・心身医学的疾患 Ｅ－５－１）　高齢者の歯科治療 ⑧摂食嚥下障害の診察、検査及び診断を説明できる。 ⑨摂食嚥下リハビリテーションを説明できる。 Ｅ－５－２）　障害者の歯科治療 ⑤発達期の摂食嚥下障害の診察、評価、診断を説明できる。 ⑥発達期の摂食嚥下障害のリハビリテーションを説明できる。	＊遠藤　眞美
2025/10/27（月） 2時限 09:30～10:15	摂食嚥下障害への対応	【授業の一般目標】 摂食嚥下リハビリテーションを理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.摂食嚥下リハビリテーションについて説明できる。 3.治療的アプローチについて説明できる。 4.代償的アプローチについて説明できる。 5.環境改善アプローチについて説明できる。 6.心理的アプローチについて説明できる。 7.栄養療法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目とそれに要する時間数：摂食嚥下障害の検査およびリハビリテーションについて（６０分） 事後学修項目とそれに要する時間数：摂食嚥下障害の検査，間接訓練，直接訓練（６０分）	＊林　佐智代

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/27（月） 2時限 09:30～10:15	摂食嚥下障害への対応	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅴ　配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 ７　摂食嚥下障害への対応〈摂食機能療法〉 ア　治療的アプローチ ａ　間接訓練 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅴ　配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 ７　摂食嚥下障害への対応〈摂食機能療法〉 ア　治療的アプローチ ｂ　直接訓練 イ　代償的アプローチ ウ　環境改善的アプローチ エ　心理的アプローチ オ　栄養療法 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－５　高齢者、障害者、精神・心身医学的疾患 Ｅ－５－１）　高齢者の歯科治療 ⑨摂食嚥下リハビリテーションを説明できる。 ⑩栄養管理や食形態の調整を説明できる。	＊林　佐智代
2025/10/28（火） 1時限 08:40～09:25	訪問歯科診療	【授業の一般目標】 居宅や老人福祉施設におけるスペシャルニーズのある人に対する歯科治療やそれらを取り巻く環境について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2.訪問歯科診療について説明できる。 3.訪問歯科診療の対象について説明できる。 4.居宅について説明できる。 5.老人福祉施設について説明できる。 6.社会保障制度について説明できる。 7.地域医療連携について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科第２版「地域における障害者歯科」P26-37. 事前学習時間：60分 事後学修項目：講義内容と配布資料を確認・整理する。 事後学習時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ２　社会と歯科医療 ウ　チーム医療 ａ　チーム医療の意義（多職種連携、医科歯科連携、病診連携を含む） 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 ア　治療の基本 ｃ　治療の場［外来、入院、在宅医療（歯科訪問診療を含む）］ 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－５　高齢者、障害者、精神・心身医学的疾患 Ｅ－５－１）　高齢者の歯科治療 ⑥要介護高齢者（在宅要介護者を含む）の歯科治療時の注意点を説明できる。 ⑦在宅医療（訪問歯科診療を含む）を説明できる。	＊梅澤　幸司
2025/10/28（火） 2時限 09:30～10:15	障害者の歯科治療	【授業の一般目標】 障害者歯科保健に関わる基本理念，障害に関する医学的知識と歯科医療の配慮及び障害者地域歯科医療における課題解決に必要な基本知識と概念を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する. 2.障害者の主な口腔症状について説明できる. 3.障害者の主な歯科治療について説明できる. 4.先天異常ならびに症候群について説明できる. 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：臨床実習にて作成したノートの内容を確認しておくこと	＊地主　知世

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/28（火） 2時限 09:30～10:15	障害者の歯科治療	準備学修時間：30分 事後学修項目：障害者の特徴，口腔所見，歯科治療について確認しておくこと 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅴ　配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 ８　障害者の歯科治療 ア　基本的対応 ｂ　行動調整 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅴ　配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 ８　障害者の歯科治療 ア　基本的対応 ａ　一般的対応	＊地主　知世
2025/10/29（水） 1時限 08:40～09:25	高齢者の歯科治療 １	【授業の一般目標】 高齢者の歯科治療における基本理念および医学的基礎知識と歯科診療上の配慮について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2.高齢者の口腔の特徴について説明できる。 3.高齢者の身体的特徴について説明できる。 4.高齢者に多く認められる全身疾患について説明できる。 5.高齢者における歯科治療上の注意事項を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科　第2版（医歯薬出版） 事前学修時間：60分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた内容確認と整理 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅴ　配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 ４　高齢者・有病者等に関連した臨床評価・診断・治療計画 ア　全身状態の評価 ａ　身体状態 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ７　人体の成長・発達・加齢変化 エ　口腔・顎顔面の加齢変化 ａ　器質的変化 ｂ　機能的変化 歯科医学各論 各論Ⅴ　配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 １　疾患・病態 ア　運動障害 ａ　脳血管疾患 ｂ　関節疾患 ｄ　廃用症候群 ｅ　神経・筋疾患 オ　フレイル 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－５　高齢者、障害者、精神・心身医学的疾患 Ｅ－５－１）　高齢者の歯科治療 ①高齢者の生理的、心理的及び行動的特徴を説明できる。 ②高齢者に多く見られる疾患及び服用している薬物を説明できる。 ⑤高齢者の歯科治療時の全身管理を説明できる。	＊遠藤　眞美
2025/10/29（水） 2時限 09:30～10:15	高齢者の歯科治療 ２	【授業の一般目標】 高齢者の歯科治療における基本理念および医学的基礎知識と歯科診療上の配慮について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」	＊遠藤　眞美

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/29（水） 2時限 09:30～10:15	高齢者の歯科治療 ２	2.高齢者の口腔の特徴について説明できる。 3.高齢者の身体的特徴について説明できる。 4.高齢者に多く認められる全身疾患について説明できる。 5.高齢者における歯科治療上の注意事項を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科　第2版（医歯薬出版） 事前学修時間：60分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた内容確認と整理 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅴ　配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 １　疾患・病態 イ　認知障害 ａ　認知症 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅴ　診察 ５　高齢者への対応 ア　診療の基本 ａ　診察時の注意 歯科医学各論 各論Ⅴ　配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 １　疾患・病態 ウ　摂食嚥下障害 ｃ　嚥下障害 ４　高齢者・有病者等に関連した臨床評価・診断・治療計画 ア　全身状態の評価 ａ　身体状態 ｂ　認知機能 ｃ　心理 ウ　診断 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－５　高齢者、障害者、精神・心身医学的疾患 Ｅ－５－１）　高齢者の歯科治療 ①高齢者の生理的、心理的及び行動的特徴を説明できる。 ②高齢者に多く見られる疾患及び服用している薬物を説明できる。 ③口腔機能低下の検査と予防法（介護予防を含む）を説明できる。 ⑤高齢者の歯科治療時の全身管理を説明できる。	＊遠藤　眞美
2025/10/31（金） 1時限 08:40～09:50	平常試験8	【授業の一般目標】 小児・矯正・障害者・歯科総合診療学領域にかかわる知識を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：小児・矯正・障害者・歯科総合診療学領域の講義プリントの確認 事前学修時間：3時間 事後学修項目：試験問題の復習 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊伊藤　誠康

保存修復・歯内療法・歯周治療

年次	学期	学修ユニット責任者
5年次	通年	＊高井　英樹（歯周治療学）

学修ユニット学修目標（ＧＩＯ）	保存修復学、歯内療法学、歯周治療学の知識について修得する。
担当教員	＊伊藤　誠康
評価方法（ＥＶ）	演習試験、平常試験、学力評価試験、定期試験によって評価する。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/04/08（火） 1時限 08:40～09:40	修復治療の流れと使用する器材、薬剤	【授業の一般目標】 保存修復処置に用いる材料や器材を適切に取り扱えるようなるために、材料や器材の名称、使用方法、特徴について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 修復前準備に用いる器具の種類と使用方法を理解する。 3. 修復前準備の留意点について理解する。 4. 回転切削器具の名称、特徴および使用方法について説明できる。 5. 各種修復材料の名称、特徴および使用方法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：保存修復学第７版（P60、P129～138）の再読 事前学修時間：60分 事後学修項目：配布資料の再読、関連する国家試験過去問の確認 事前学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：パワーポイント、配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ２　歯・歯周組織・咬合の治療 ア　基本的術式 ａ　歯の硬組織疾患の治療	＊庫川　幸利
2025/04/10（木） 1時限 08:40～09:40	歯周治療の流れ（検査・ＳＰＴ・歯周外科）と使用する器具	【授業の一般目標】 患者実習を行うために必要な歯周治療を実施するための知識を習得し、総合的に歯周治療の流れを理解する 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 歯周治療の流れについて理解する 3. 歯周基本治療の種類と目的を説明できる 4. 歯周病検査の項目とその目的を説明できる 5. 歯周基本治療で使用する器具を列挙できる 6. 歯周外科治療を分類し，種類と目的を説明できる。 7. メインテナンスとSPTについて説明できる 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：歯周治療の流れ，歯周基本治療と歯周病検査項目を事前に確認する。３，４年次で使用した歯科保存学１，２実習書(歯周治療学実習書)を読んで確認すること。 ・事前学修時間30分 ・事後学修項目：歯周疾患の病因，病態を把握するために必要な検査項目を理解し，病因に対応した歯周基本治療を列挙できるようにする。それらを行うために必要な器具と治療の流れを理解する。 ・事後学修時間：40分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 401教室，パワーポイント，プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ３　歯周疾患 ウ　歯周疾患の治療 ｂ　歯周基本治療	＊山口　亜利彩

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/04/10（木） 1時限 08:40～09:40	歯周治療の流れ（検査・ＳＰＴ・歯周外科）と使用する器具	【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ３　歯周疾患 ウ　歯周疾患の治療 ｄ　歯周外科治療（切除療法、組織付着療法） ｅ　歯周外科治療（歯周組織再生療法） ｆ　歯周外科治療（歯周形成手術） ｇ　根分岐部病変の治療 ｊ　メインテナンス、SPT〈supportive periodontal therapy〉	＊山口　亜利彩
2025/06/04（水） 1時限 08:40～09:40	齲蝕の特徴と処置方針	【授業の一般目標】 齲蝕に対する治療方針の立案と適切な処置を行えるようになるために、齲蝕の病因・病態、主要症候について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.齲蝕の特徴について説明できる。 3.齲蝕の主要症候について説明できる。 4.齲蝕に対する適切な治療方針を選択できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：保存修復学第７版（P14～27、P66、P73～77）の再読 事前学修時間：60分 事後学修項目：配布資料の再読、関連する国家試験過去問の確認 事前学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：パワーポイント、配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ２　歯・歯周組織・咬合の治療 ア　基本的術式 ａ　歯の硬組織疾患の治療 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 ア　歯の硬組織疾患の病因と病態 ａ　齲蝕の病因 ｂ　齲蝕のリスクファクター	＊寺中　文子
2025/06/05（木） 1時限 08:40～09:40	硬組織疾患の検査と診断	【授業の一般目標】 患者の訴える主訴から歯の硬組織疾患を推測して必要な検査を実施し、その結果から治療方針が決定できるようになるために、硬組織疾患の検査と診断について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.患者の訴える主訴から歯の硬組織疾患を推測できる。 3.歯の硬組織疾患の診断に必要な検査法を選択できる。 4.検査法の特徴と実施方法について説明できる。 5.硬組織疾患の検査結果をもとに治療方針を決定できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：保存修復学第7版　P.58～検査法 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：配布資料　保存修復学第7版　同上 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅵ　検査 １　口腔検査・顎口腔機能検査 ア　口腔検査 ａ　歯の硬組織の検査	＊内山　敏一
2025/06/06（金） 1時限 08:40～09:40	コンポジットレジン修復の基礎	【授業の一般目標】 保存修復処置の中で最も頻回に実施されるコンポジットレジン修復の介助および自験を適切に実施できるようになるために、コンポジットレジン修復の基礎について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.コンポジットレジンの組成について説明できる。 3.コンポジットレジンの歯面処理について説明できる。	＊内山　敏一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/06（金） 1時限 08:40～09:40	コンポジットレジン修復の基礎	4.コンポジットレジン修復窩洞について説明できる。 5.コンポジットレジン修復の手順について説明できる。 6.コンポジットレジンの種類について説明できる。 7.光重合型コンポジットレジン修復の臨床的特徴について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：保存修復学（第７版）のp.141～170を熟読し予習を行う。 ・準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：パワーポイント、配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 ウ　歯の硬組織疾患の治療 ａ　直接修復法 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ２　歯・歯周組織・咬合の治療 ア　基本的術式 ａ　歯の硬組織疾患の治療 総論Ⅷ　歯科材料と歯科医療機器 ５　成形修復・予防塡塞・歯内療法用材料 ア　成形修復用材料 ａ　コンポジットレジン	＊内山　敏一
2025/06/07（土） 1時限 08:40～09:40	歯の審美障害	【授業の一般目標】 歯の審美障害を主訴とする患者に適切に対応できるようになるために、変色歯、形態不全歯、位置異常歯の診断と処置方針について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯の審美障害を引き起こす疾患について説明できる。 3.歯の変色の原因、診断、処置方針について説明できる。 4.形態不全歯の診断と処置方針について説明できる。 5.位置異常歯の処置方針について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：保存修復学第７版（P32～36、P85～97）の再読 事前学修時間：60分 事後学修項目：配布資料の再読、関連する国家試験過去問の確認 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：パワーポイント、配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 ア　歯の硬組織疾患の病因と病態 ｅ　歯の変色・着色 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 ア　歯の硬組織疾患の病因と病態 ｆ　歯の亀裂・破折	＊庫川　幸利
2025/06/09（月） 1時限 08:40～09:40	Tooth Wearとその対応	【授業の一般目標】 Tooth Wear(歯の損耗)を主訴とする患者に適切に対応できるようになるために、Tooth Wearの臨床症状と診断および処置方針について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.Tooth Wearの病因、病態および診断を説明できる。 3.Tooth Wearの処置方針を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：保存修復学第７版（P27～31、P36、P37、P79～85、P239）の再読 事前学修時間：30分 事後学修項目：配布資料の再読、関連する国家試験過去問の確認 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】	＊神谷　直孝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/09（月） 1時限 08:40～09:40	Tooth Wearとその対応	アクティブラーニング：無し 学修媒体：パワーポイント、配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ　病因、病態 ２　口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア　主な病因・病態 ｂ　歯・歯周組織の疾患 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 ア　歯の硬組織疾患の病因と病態 ｃ　tooth wear〈歯の損耗〉 ｄ　象牙質知覚過敏症	＊神谷　直孝
2025/06/10（火） 1時限 08:40～09:40	根面齲蝕とセメント修復	【授業の一般目標】 根面齲蝕の病因・病態と検査法および修復法について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.根面齲蝕の病因・病態について説明できる。 3.根面齲蝕の処置方針について説明できる。 4.グラスアイオノマーセメント修復について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：保存修復学第７版（P23～27、P170～177、P237～239）の再読　齲蝕の病因について ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：配布資料の再読、関連する国家試験過去問の確認 ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：パワーポイント、配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 オ　高齢者の歯の硬組織疾患 ａ　根面齲蝕 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 オ　高齢者の歯の硬組織疾患 ｂ　根面齲蝕への対応	＊神谷　直孝
2025/06/11（水） 1時限 08:40～09:50	演習試験３	【授業の一般目標】 保存修復、歯内療法、歯周治療領域の国家試験過去問を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.保存修復、歯内療法、歯周治療領域の国家試験過去問を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：保存修復、歯内療法、歯周治療領域の国家試験過去問 事前学修時間：3時間 事後学修項目：試験問題の復習 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 その他 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊伊藤　誠康
2025/06/12（木） 1時限 08:40～09:40	歯髄炎・根尖性歯周炎の分類・診断	【授業の一般目標】 誘発痛や自発痛を主訴とする患者に対し，歯髄炎・根尖性歯周炎の診断および処置方針の決定ができるようになるために，臨床症状をもとに歯髄炎・根尖性歯周炎の特徴を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】	＊倉持　光成

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/12（木） 1時限 08:40～09:40	歯髄炎・根尖性歯周炎の分類・診断	1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.1）歯髄炎・根尖性歯周炎の原因を説明できる。 3.2）歯髄炎・根尖性歯周炎の進行の特徴を説明できる。 4.3）可逆性歯髄炎，不可逆性歯髄炎の特徴を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：炎症の基本的な病態、臨床症状を確認する。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布プリントを確認する。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無し パワーポイント、授業プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ２　歯・歯周組織・咬合の治療 ア　基本的術式 ｂ　歯内療法	＊倉持　光成
2025/06/13（金） 1時限 08:40～09:40	歯髄炎・根尖性歯周炎の治療の基礎	【授業の一般目標】 歯髄・根尖歯周組織疾患を適切に治療できるようになるために，可逆性歯髄炎に対する処置について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.覆髄法の分類と処置について説明できる。 3.歯髄鎮痛消炎療法について説明できる。 4.生活歯髄切断法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目歯髄炎・根尖性歯周炎の分類・診断 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：授業時配布プリントを確認する。 ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクテイブラーニング　無し 学修媒体　PC・講義資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ２　歯髄疾患・根尖性歯周疾患 イ　歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 ａ　歯髄保存療法	＊鈴木　誠
2025/06/14（土） 1時限 08:40～09:40	歯髄炎・根尖性歯周炎の治療の基礎	【授業の一般目標】 歯髄・根尖性歯周疾患を適切に治療できるようになるために，全部性歯髄炎、根尖性歯周炎に対する治療について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.根管治療の原則について説明できる。 3.歯髄除去療法について説明できる。 4.感染根管治療について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目歯髄炎・根尖性歯周炎の分類・診断 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：授業時配布プリントを確認する。 ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無し 学修媒体　PC・講義資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ２　歯髄疾患・根尖性歯周疾患 イ　歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 ｂ　歯髄除去療法	＊鈴木　誠
2025/06/16（月）	歯髄炎・根尖性歯	【授業の一般目標】	＊鈴木　誠

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
1時限 08:40～09:40	周炎の治療の基礎	歯髄・根尖性歯周疾患を適切に治療できるようになるために，全部性歯髄炎、根尖性歯周炎に対する治療について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.根管治療の原則について説明できる。 3.歯髄除去療法について説明できる。 4.感染根管治療について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目歯髄炎・根尖性歯周炎の分類・診断 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：授業時配布プリントを確認する。 ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無し 学修媒体　PC・講義資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ２　歯髄疾患・根尖性歯周疾患 イ　歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 ｄ　根管処置	＊鈴木　誠
2025/06/17（火） 1時限 08:40～09:40	歯周病の病因、分類と特徴、診査・診断	【授業の一般目標】 歯周病を正確に診断・治療するために、歯周病の病因、分類と特徴、診査および診断について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯周病の病因（リスクファクター）について分類し、説明できる。 3.歯周病の分類と疾患の特徴について説明できる。 4.歯周病検査を列挙し、目的と内容を説明できる。 5.歯周病検査に基づく診断について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目：臨床歯周治療学第３版（第２～４・８・11～13章）を熟読する。 準備学習時間：２時間 事後学習項目：授業配布プリントを熟読する。関連する国家試験過去問に取り組む。 事後学習時間：１時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学習媒体：授業プリント，PCでの解説 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅵ　検査 １　口腔検査・顎口腔機能検査 ア　口腔検査 ｃ　歯周組織（歯周病）検査 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ３　歯周疾患 ア　歯周疾患の病因と病態 ａ　歯肉病変とそのリスクファクター ｂ　歯周炎とそのリスクファクター	＊高井　瑞穂
2025/06/18（水） 1時限 08:40～09:40	歯周治療の流れ、歯周基本治療、歯周-歯内病変	【授業の一般目標】 歯周病を適切に治療するために、歯周治療の流れ、歯周基本治療、歯周-歯内病変について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯周-歯内病変について理解し、説明できる。 3.歯周治療の流れを説明できる。 4.歯周基本治療を列挙し、目的と内容を説明できる。 5.歯周-歯内病変の原因と治療法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目：臨床歯周治療学第３版（第12・14・15・16・17・18・32章）を熟読する。 準備学習時間：２時間 事後学習項目：授業配布プリントを熟読する。関連する国家試験過去問に取り組む。 事後学習時間：１時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無	＊高井　瑞穂

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/18（水） 1時限 08:40～09:40	歯周治療の流れ、歯周基本治療、歯周-歯内病変	学習媒体：授業プリント，PCでの解説 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ３　歯周疾患 ウ　歯周疾患の治療 ｂ　歯周基本治療 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ３　歯周疾患 ア　歯周疾患の病因と病態 ｇ　歯周-歯内病変	＊高井　瑞穂
2025/06/19（木） 1時限 08:40～09:40	歯周外科治療（切除療法・組織付着療法）、根分岐部病変	【授業の一般目標】 歯周病を適切に治療するために、歯周外科治療（切除療法・組織付着療法）の適応症、術式および術後の治癒機転について理解する。根分岐部病変の分類、原因、治療方針について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.切除療法および組織付着療法の適応症と術式について説明できる。 3.切除療法および組織付着療法の術後の治癒機転について説明できる。 4.根分岐部病変の分類、原因、治療方針について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目：臨床歯周治療学第３版（第19～21・23章）を熟読する。 準備学習時間：２時間 事後学習項目：授業配布プリントを熟読する。関連する国家試験過去問に取り組む。 事後学習時間：１時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学習媒体：授業プリント，PCでの解説 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ３　歯周疾患 ウ　歯周疾患の治療 ｄ　歯周外科治療（切除療法、組織付着療法） 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ３　歯周疾患 ウ　歯周疾患の治療 ｇ　根分岐部病変の治療	＊高井　瑞穂
2025/06/20（金） 1時限 08:40～09:40	歯周外科治療（歯周組織再生療法・歯周形成手術）、口腔機能回復治療、メインテナンス・SPT	【授業の一般目標】 歯周病を適切に治療するために、歯周外科治療（歯周組織再生療法・歯周形成手術）の適応症、術式および術後の治癒機転について理解する。口腔機能回復治療とメインテナンス・SPTについて理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯周組織再生療法および歯周形成手術の適応症と術式について説明できる。 3.歯周組織再生療法および歯周形成手術の術後の治癒機転について説明できる。 4.口腔機能回復治療を列挙し、目的と内容を説明できる。 5.メインテナンス・SPTの目的と内容を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目：臨床歯周治療学第３版（第22・24～30章）を熟読する。 準備学習時間：２時間 事後学習項目：授業配布プリントを熟読する。関連する国家試験過去問に取り組む。 事後学習時間：１時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学習媒体：授業プリント，PCでの解説 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患	＊高井　瑞穂

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/20（金） 1時限 08:40～09:40	歯周外科治療（歯周組織再生療法・歯周形成手術）、口腔機能回復治療、メインテナンス・SPT	３　歯周疾患 ウ　歯周疾患の治療 ｅ　歯周外科治療（歯周組織再生療法） 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ３　歯周疾患 ウ　歯周疾患の治療 ｆ　歯周外科治療（歯周形成手術） ｈ　口腔機能回復治療 ｊ　メインテナンス、SPT〈supportive periodontal therapy〉	＊高井　瑞穂
2025/06/23（月） 1時限 08:40～09:45	平常試験3	【授業の一般目標】 保存修復・歯内療法・歯周治療領域にかかわる知識を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：保存修復・歯内療法・歯周治療領域の講義プリントの確認 事前学修時間：3時間 事後学修項目：試験問題の復習 事後学修時間：1時間 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊伊藤　誠康
2025/11/04（火） 1時限 08:40～09:25	硬組織疾患の検査	【授業の一般目標】 患者の主訴と口腔内所見から適切な検査法を選択し、検査結果から正しい診断ができるようになるために、歯の硬組織の検査法について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2.齲蝕の検査について説明できる。 3.齲蝕以外の硬組織疾患の検査について説明できる。 4.硬組織疾患の検査に必要な器具の操作方法を説明できる。 5.検査結果から硬組織疾患の正しい診断ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：保存修復学（第７版）のp.49～64を熟読し予習を行う。 ・準備学修時間：40分 事後学修項目：配布資料を再読し授業内容の復習を行う。 ・事後学修項目：50分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：パワーポイント、配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅵ　検査 １　口腔検査・顎口腔機能検査 ア　口腔検査 ａ　歯の硬組織の検査	＊内山　敏一
2025/11/04（火） 2時限 09:30～10:15	硬組織疾患の検査	【授業の一般目標】 患者の主訴と口腔内所見から適切な検査法を選択し、検査結果から正しい診断ができるようになるために、歯の硬組織の検査法について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2.齲蝕の検査について説明できる。 3.齲蝕以外の硬組織疾患の検査について説明できる。 4.硬組織疾患の検査に必要な器具の操作方法を説明できる。 5.検査結果から硬組織疾患の正しい診断ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：保存修復学（第７版）のp.49～64を熟読し予習を行う。 ・準備学修時間：40分 事後学修項目：配布資料を再読し授業内容の復習を行う。 ・事後学修項目：50分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：パワーポイント、配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】	＊内山　敏一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/11/04（火） 2時限 09:30～10:15	硬組織疾患の検査	歯科医学総論 総論Ⅵ　検査 １　口腔検査・顎口腔機能検査 ア　口腔検査 ａ　歯の硬組織の検査	＊内山　敏一
2025/11/05（水） 1時限 08:40～09:25	齲窩の処置と器具	【授業の一般目標】 齲窩の処置を適切に行えるようになるために、齲窩処置に使用する器具と術式について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.齲窩処置の手順について説明できる。 3.齲窩処置に必要な器材について説明できる。 4.齲窩の開拡に使用する器具と術式について説明できる。 5.感染象牙質の除去に使用する器具と術式について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：保存修復学第７版（P73～78、P98～110、P122～128）の再読 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：配布資料の再読、関連する国家試験過去問の確認 ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：パワーポイント、配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ２　歯・歯周組織・咬合の治療 ア　基本的術式 ａ　歯の硬組織疾患の治療 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 ウ　歯の硬組織疾患の治療 ｃ　窩洞形成法	＊寺中　文子
2025/11/05（水） 2時限 09:30～10:15	齲窩の処置と器具	【授業の一般目標】 齲窩の処置を適切に行えるようになるために、齲窩処置に使用する器具と術式について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.齲窩処置の手順について説明できる。 3.齲窩処置に必要な器材について説明できる。 4.齲窩の開拡に使用する器具と術式について説明できる。 5.感染象牙質の除去に使用する器具と術式について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：保存修復学第７版（P73～78、P98～110、P122～128）の再読 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：配布資料の再読、関連する国家試験過去問の確認 ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：パワーポイント、配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ２　歯・歯周組織・咬合の治療 ア　基本的術式 ａ　歯の硬組織疾患の治療	＊寺中　文子
2025/11/06（木） 1時限 08:40～09:25	直接修復の術式と器具	【授業の一般目標】 コンポジットレジン修復とグラスアイオノマーセメント修復が適切に行えるようになるために、直接修復の術式と使用する器材および使用方法について修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.コンポジットレジン修復に用いる器材について説明できる。 3.グラスアイオノマーセメント修復に用いる器材について説明できる。 4.処置部位と窩洞形態に適した修復法を選択できる。 5.齲蝕以外の歯の硬組織疾患に対するコンポジットレジン修復について説明できる。	＊寺中　文子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/11/06（木） 1時限 08:40～09:25	直接修復の術式と器具	【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：保存修復学第７版（P141～177）の再読 ・準備学修時間：60分 ・事後学修項目：配布資料の再読、関連する国家試験過去問の確認 ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：パワーポイント、配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 ウ　歯の硬組織疾患の治療 ａ　直接修復法	＊寺中　文子
2025/11/06（木） 2時限 09:30～10:15	直接修復の術式と器具	【授業の一般目標】 コンポジットレジン修復とグラスアイオノマーセメント修復が適切に行えるようになるために、直接修復の術式と使用する器材および使用方法について修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.コンポジットレジン修復に用いる器材について説明できる。 3.グラスアイオノマーセメント修復に用いる器材について説明できる。 4.処置部位と窩洞形態に適した修復法を選択できる。 5.齲蝕以外の歯の硬組織疾患に対するコンポジットレジン修復について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：保存修復学第７版（P141～177）の再読 ・準備学修時間：60分 ・事後学修項目：配布資料の再読、関連する国家試験過去問の確認 ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：パワーポイント、配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 ウ　歯の硬組織疾患の治療 ａ　直接修復法	＊寺中　文子
2025/11/07（金） 1時限 08:40～09:25	間接修復の術式と器具	【授業の一般目標】 メタルインレー、セラミック・コンポジットレジンインレー修復を適切に行えるようになるために、窩洞の特徴、適応症、術式について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.メタルインレーの窩洞の特徴、適応症、術式について説明できる。 3.セラミック・コンポジットレジンインレーの窩洞の特徴、適応症、術式について説明できる。 4.レジンコーティング法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：保存修復学第７版（P181～231）の再読 ・準備学修時間：60分 ・事後学修項目：配布資料の再読、関連する国家試験過去問の確認 ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：パワーポイント、配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 ウ　歯の硬組織疾患の治療 ｂ　間接修復法	＊庫川　幸利

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/11/07（金） 2時限 09:30～10:15	間接修復の術式と器具	【授業の一般目標】 メタルインレー、セラミック・コンポジットレジンインレー修復を適切に行えるようになるために、窩洞の特徴、適応症、術式について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. メタルインレーの窩洞の特徴、適応症、術式について説明できる。 3. セラミック・コンポジットレジンインレーの窩洞の特徴、適応症、術式について説明できる。 4. レジンコーティング法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：保存修復学第７版（P181～231）の再読 ・準備学修時間：60分 ・事後学修項目：配布資料の再読、関連する国家試験過去問の確認 ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：パワーポイント、配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 ウ　歯の硬組織疾患の治療 ｂ　間接修復法	＊庫川　幸利
2025/11/08（土） 1時限 08:40～09:25	接着操作・補修修復・生活歯漂白	【授業の一般目標】 直接修復と間接修復における正しい接着操作と補修修復の術式および使用器材について理解する。 生活歯漂白に用いる術式および使用器具について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 修復物に応じた正しい接着操作について説明できる。 3. 補修修復の適応症について説明できる。 4. 補修修復の術式、手順について説明できる。 5. 生活歯漂白の術式、手順について説明できる。 6. 生活歯漂白に用いる薬剤について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：保存修復学第７版（P141～147、P181～193、P242～245）の再読 ・準備学修時間：60分 ・事後学修項目：配布資料の再読、関連する国家試験過去問の確認 ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：パワーポイント、配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 ウ　歯の硬組織疾患の治療 ｅ　補修修復	＊小峯　千明
2025/11/08（土） 2時限 09:30～10:15	接着操作・補修修復	【授業の一般目標】 直接修復と間接修復における正しい接着操作と補修修復の術式および使用器材について理解する。 生活歯漂白に用いる術式および使用器具について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 修復物に応じた正しい接着操作について説明できる。 3. 補修修復の適応症について説明できる。 4. 補修修復の術式、手順について説明できる。 5. 生活歯漂白の術式、手順について説明できる。 6. 生活歯漂白に用いる薬剤について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：保存修復学第７版（P141～147、P181～193、P242～245）の再読 ・準備学修時間：60分 ・事後学修項目：配布資料の再読、関連する国家試験過去問の確認 ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：パワーポイント、配布資料 【学修方略（ＬＳ）】	＊小峯　千明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/11/08（土） 2時限 09:30～10:15	接着操作・補修修復	講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 ウ　歯の硬組織疾患の治療 ｅ　補修修復	＊小峯　千明
2025/11/10（月） 1時限 08:40～09:25	歯内疾患の特徴と検査	【授業の一般目標】 歯髄・根尖歯周組織疾患の適切な診療ができるようになるために、特徴と検査を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.主訴から必要な検査を選択する。 3.検査結果から診断する。 4.適切な処置方針を立てる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯髄炎・根尖歯周組織疾患の検査・診断 ・準備学修時間：　30分 ・事後学修項目：歯髄炎・根尖歯周組織疾患の検査・診断 ・事後学修時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ２　歯髄疾患・根尖性歯周疾患 ア　歯髄疾患・根尖性歯周疾患の病因と病態 ａ　歯髄疾患	＊神尾　直人
2025/11/10（月） 2時限 09:30～10:15	歯内疾患の特徴と検査	【授業の一般目標】 歯髄・根尖歯周組織疾患の適切な診療ができるようになるために、特徴と検査を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.主訴から必要な検査を選択する。 3.検査結果から診断する。 4.適切な処置方針を立てる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯髄炎・根尖歯周組織疾患の検査・診断 ・準備学修時間：　30分 ・事後学修項目：歯髄炎・根尖歯周組織疾患の検査・診断 ・事後学修時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ２　歯髄疾患・根尖性歯周疾患 ア　歯髄疾患・根尖性歯周疾患の病因と病態 ａ　歯髄疾患	＊神尾　直人
2025/11/11（火） 1時限 08:40～10:15	演習試験9	【授業の一般目標】 保存修復・歯内療法・歯周治療領域の国家試験過去問を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：保存修復・歯内療法・歯周治療領域の国家試験過去問の学修 事前学修時間：3時間 事後学修項目：試験問題の復習 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室	＊伊藤　誠康

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/11/12（水） 1時限 08:40～09:25	歯髄疾患と処置、治療	【授業の一般目標】 歯髄・根尖歯周組織疾患の適切な診療ができるようになるために、歯髄疾患とその処置を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき、以下の内容を教授する。 2. 歯髄疾患の診断ができる 3. 歯髄疾患の処置方針を決定できる。 4. 歯髄疾患の処置について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目　過去の歯内療法のすべて 準備学修時間　１時間 事後学修項目　講義資料 事後学修時間　１時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞの有無　無 パワーポイント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ２　歯髄疾患・根尖性歯周疾患 ア　歯髄疾患・根尖性歯周疾患の病因と病態 ａ　歯髄疾患	＊鈴木　誠
2025/11/12（水） 2時限 09:30～10:15	歯髄疾患と処置、治療	【授業の一般目標】 歯髄・根尖歯周組織疾患の適切な診療ができるようになるために、歯髄疾患とその処置を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき、以下の内容を教授する。 2. 歯髄疾患の診断ができる 3. 歯髄疾患の処置方針を決定できる。 4. 歯髄疾患の処置について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目　過去の歯内療法のすべて 準備学修時間　１時間 事後学修項目　講義資料 事後学修時間　１時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞの有無　無 パワーポイント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ２　歯髄疾患・根尖性歯周疾患 ア　歯髄疾患・根尖性歯周疾患の病因と病態 ａ　歯髄疾患	＊鈴木　誠
2025/11/13（木） 1時限 08:40～09:25	感染根管治療・根管充填	【授業の一般目標】 歯髄・根尖歯周組織疾患の適切な診療ができるようになるために、根尖歯周組織疾患と処置、治療について習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき、以下の内容を教授する。 2. 根尖歯周組織疾患の診断ができる。 3. 根尖歯周組織疾患の処置方針が決定できる。 4. 根尖歯周組織疾患の処置が説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目　　過去の歯内療法のすべて 準備学修時間　　1時間 事後学修項目　　講義資料 事後学修時間　　1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞの有無　無 パワーポイント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ２　歯髄疾患・根尖性歯周疾患	＊倉持　光成

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/11/13（木） 1時限 08:40～09:25	感染根管治療・根管充填	イ　歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 ｃ　根尖性歯周疾患の治療	＊倉持　光成
2025/11/13（木） 2時限 09:30～10:15	感染根管治療・根管充填	【授業の一般目標】 歯髄・根尖歯周組織疾患の適切な診療ができるようになるために、根尖歯周組織疾患と処置、治療について習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき、以下の内容を教授する。 2.根尖歯周組織疾患の診断ができる。 3.根尖歯周組織疾患の処置方針が決定できる。 4.根尖歯周組織疾患の処置が説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目　　過去の歯内療法のすべて 準備学修時間　　1時間 事後学修項目　　講義資料 事後学修時間　　1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞの有無　無 パワーポイント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ２　歯髄疾患・根尖性歯周疾患 イ　歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 ｃ　根尖性歯周疾患の治療	＊倉持　光成
2025/11/14（金） 1時限 08:40～09:25	外科的歯内療法と、歯根吸収	【授業の一般目標】 歯髄・根尖歯周組織疾患の適切な治療をするために、外科的歯内療法や歯根吸収の診断、処置について習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき、以下の内容を教授する。 2.外科的歯内療法の適応症例が診断できる。 3.外科的歯内療法の処置が説明できる。 4.歯根吸収について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：外科的歯内療法、歯根吸収について ・準備学修時間：60分 ・事後学修項目：講義資料 ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 学修媒体　パワーポイント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ２　歯髄疾患・根尖性歯周疾患 イ　歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 ｇ　外科的歯内療法 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ２　歯髄疾患・根尖性歯周疾患 イ　歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 ｈ　内部吸収歯・外部吸収歯の治療	＊深井　譲滋
2025/11/14（金） 2時限 09:30～10:15	外科的歯内療法と、歯根吸収	【授業の一般目標】 歯髄・根尖歯周組織疾患の適切な治療をするために、外科的歯内療法や歯根吸収の診断、処置について習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき、以下の内容を教授する。 2.外科的歯内療法の適応症例が診断できる。 3.外科的歯内療法の処置が説明できる。 4.歯根吸収について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：外科的歯内療法、歯根吸収について ・準備学修時間：60分 ・事後学修項目：講義資料 ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無	＊深井　譲滋

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/11/14（金） 2時限 09:30～10:15	外科的歯内療法と、歯根吸収	学修媒体　パワーポイント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ２　歯髄疾患・根尖性歯周疾患 イ　歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 ｇ　外科的歯内療法 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ２　歯髄疾患・根尖性歯周疾患 イ　歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 ｈ　内部吸収歯・外部吸収歯の治療	＊深井　譲滋
2025/11/15（土） 1時限 08:40～09:25	偶発症、漂白、高齢者と歯内療法	【授業の一般目標】 歯髄・根尖歯周疾患の適切な診療ができるようになるために、偶発症、漂白、高齢者と歯内療法を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.高齢者の歯内療法について説明できる。 3.ウォーキングブリーチ法について説明できる。 4.歯内療法における偶発症と対応法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：根管治療の原則 準備学修項目：1時間 事後学修項目：講義資料 事後学修項目：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し。パワーポイント、配布資料。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ８　診察の基本 キ　歯・歯周組織の診察 ｂ　歯髄・根尖歯周組織	＊深井　譲滋
2025/11/15（土） 2時限 09:30～10:15	歯内療法の応用	【授業の一般目標】 これまでの歯内療法を理解し、適切な保存方法を選ぶ。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき、以下の内容を教授する。 2.歯髄疾患、根尖性歯周疾患に適切に対応するために診査・診断・処置の知識を習得する。 3.再根管治療を理解し、歯牙の適切な保存方法を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目　　過去の歯内療法のすべて 準備学修時間　　1時間 事後学修項目　　講義資料 事後学修時間　　1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞの有無　無 パワーポイント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ２　歯髄疾患・根尖性歯周疾患 イ　歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 ｃ　根尖性歯周疾患の治療	＊深井　譲滋
2025/11/17（月） 1時限 08:40～09:25	歯周病の診査・診断	【授業の一般目標】 歯周病の診査・診断および治療計画について理解できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯周組織検査の項目について列挙できる。 3.歯周疾患の分類について説明できる。 4.歯周治療の進め方について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】	＊山口　亜利彩

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/11/17（月） 1時限 08:40～09:25	歯周病の診査・診断	・準備学修項目：歯周組織検査：歯周疾患分類：歯周治療の進め方 ・準備学修時間：40分 ・事後学修項目：歯周組織検査：歯周疾患分類：歯周治療の進め方 ・事後学修時間：40分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングは無し 配布プリントと授業スライドを用いて行う。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ８　診察の基本 キ　歯・歯周組織の診察 ｃ　歯周組織	＊山口　亜利彩
2025/11/17（月） 2時限 09:30～10:15	歯周病の診査・診断	【授業の一般目標】 歯周病の診査・診断および治療計画について理解できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯周組織検査の項目について列挙できる。 3.歯周疾患の分類について説明できる。 4.歯周治療の進め方について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯周組織検査：歯周疾患分類：歯周治療の進め方 ・準備学修時間：40分 ・事後学修項目：歯周組織検査：歯周疾患分類：歯周治療の進め方 ・事後学修時間：40分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングは無し 配布プリントと授業スライドを用いて行う。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ８　診察の基本 キ　歯・歯周組織の診察 ｃ　歯周組織	＊山口　亜利彩
2025/11/18（火） 1時限 08:40～09:25	歯周基本治療およびメインテナンス・SPT	【授業の一般目標】 歯周基本治療について理解する. メインテナンスおよびSPTについて理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯周基本治療の項目を列挙できる。 3.歯周基本治療の内容について説明できる。 4.歯周基本治療の目的を説明できる。 5.炎症性因子および外傷性因子の除去療法を説明できる。 6.歯周基本治療で行う薬物療法について説明できる。 7.歯周外科治療への移行期を説明できる。 8.メインテナンスおよびSPTについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：臨床歯周病学　第3版　第11章～18章,30章 準備学修時間：2時間 事後学修項目：臨床歯周病学　第3版　第11章～18章,30章 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 パワーポイントを用いて行う。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ３　歯周疾患 ウ　歯周疾患の治療 ｂ　歯周基本治療 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ３　歯周疾患 ウ　歯周疾患の治療 ｂ　歯周基本治療 ｊ　メインテナンス、SPT〈supportive periodontal therapy〉	＊齋藤　由未

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/11/18（火） 2時限 09:30～10:15	歯周基本治療およびメインテナンス・SPT	【授業の一般目標】 歯周基本治療について理解する. メインテナンスおよびSPTについて理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯周基本治療の項目を列挙できる。 3.歯周基本治療の内容について説明できる。 4.歯周基本治療の目的を説明できる。 5.炎症性因子および外傷性因子の除去療法を説明できる。 6.歯周基本治療で行う薬物療法について説明できる。 7.歯周外科治療への移行期を説明できる。 8.メインテナンスおよびSPTについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：臨床歯周病学　第3版　第11章～18章,30章 準備学修時間：2時間 事後学修項目：臨床歯周病学　第3版　第11章～18章,30章 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 パワーポイントを用いて行う。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ３　歯周疾患 ウ　歯周疾患の治療 ｂ　歯周基本治療 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ３　歯周疾患 ウ　歯周疾患の治療 ｂ　歯周基本治療 ｊ　メインテナンス、SPT〈supportive periodontal therapy〉	＊齋藤　由未
2025/11/19（水） 1時限 08:40～09:25	歯周-歯内病変と根分岐部病変の診査およびその治療	【授業の一般目標】 歯周-歯内病変と根分岐部病変の病態を理解し、診査および治療ができる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯周-歯内病変の原因を説明できる。 3.歯周-歯内病変の分類と臨床症状について説明できる。 4.歯周-歯内病変の診断と治療方針を説明できる。 5.根分岐部病変の分類を説明できる。 6.根分岐部病変の原因，検査方法，治療方針を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：臨床歯周病学　第３章～第７章 準備学修時間：2時間 事後学修項目：臨床歯周病学　第３章～第７章 事後学修時間：１時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 パワーポイントを用いて行う。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ３　歯周疾患 ウ　歯周疾患の治療 ｂ　歯周基本治療 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ３　歯周疾患 ウ　歯周疾患の治療 ｂ　歯周基本治療	＊高井　瑞穂
2025/11/19（水） 2時限 09:30～10:15	歯周-歯内病変と根分岐部病変の診査およびその治療	【授業の一般目標】 歯周-歯内病変と根分岐部病変の病態を理解し、診査および治療ができる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯周-歯内病変の原因を説明できる。 3.歯周-歯内病変の分類と臨床症状について説明できる。 4.歯周-歯内病変の診断と治療方針を説明できる。 5.根分岐部病変の分類を説明できる。 6.根分岐部病変の原因，検査方法，治療方針を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：臨床歯周病学　第３章～第７章	＊高井　瑞穂

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/11/19（水） 2時限 09:30～10:15	歯周-歯内病変と根分岐部病変の診査およびその治療	準備学修時間：2時間 事後学修項目：臨床歯周病学　第３章～第７章 事後学修時間：１時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 パワーポイントを用いて行う。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ３　歯周疾患 ウ　歯周疾患の治療 ｂ　歯周基本治療 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ３　歯周疾患 ウ　歯周疾患の治療 ｂ　歯周基本治療	＊高井　瑞穂
2025/11/20（木） 1時限 08:40～09:25	歯周外科治療（組織付着療法・切除療法）の術式と使用器具	【授業の一般目標】 歯周外科治療の適応症と術式を習得し、使用器具について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 新付着術について説明できる。 3. 歯肉切除術について説明できる。 4. 歯肉剥離掻爬術について説明できる。 5. 歯肉弁根尖側移動術について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：臨床歯周病学　第19～23章歯周外科治療 準備学修時間：　1時間 事後学修項目：配布資料 事後学修時間：　1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し。 配布プリントとパワーポイントを用いて行う。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ３　歯周疾患 ウ　歯周疾患の治療 ｄ　歯周外科治療（切除療法、組織付着療法）	＊高井　英樹
2025/11/20（木） 2時限 09:30～10:15	歯周外科治療（組織付着療法・切除療法）の術式と使用器具	【授業の一般目標】 歯周外科治療の適応症と術式を習得し、使用器具について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 新付着術について説明できる。 3. 歯肉切除術について説明できる。 4. 歯肉剥離掻爬術について説明できる。 5. 歯肉弁根尖側移動術について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：臨床歯周病学　第19～23章歯周外科治療 準備学修時間：　1時間 事後学修項目：配布資料 事後学修時間：　1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し。 配布プリントとパワーポイントを用いて行う。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ３　歯周疾患 ウ　歯周疾患の治療 ｄ　歯周外科治療（切除療法、組織付着療法）	＊高井　英樹
2025/11/21（金） 1時限	歯周外科治療（歯周組織再生療法・	【授業の一般目標】 歯周組織再生療法，歯周形成手術の種類、適応症と術式を習得し、再生療法に	＊中山　洋平

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
08:40～09:25	歯周形成手術）の術式と使用器具	よる創傷治癒のメカニズムを理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯周組織再生療法について説明できる。 3.歯周形成手術について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：臨床歯周病学 第3版　第22章 歯周組織再生療法 第24章 歯周形成手術 事前学修時間： 1時間 事後学修項目：配布資料 事後学修時間： 1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し。 配布プリントとパワーポイントを用いて行う。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ３　歯周疾患 ウ　歯周疾患の治療 ｅ　歯周外科治療（歯周組織再生療法） 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-３）　歯と歯周組織の疾患の診断と治療 Ｅ-３-３）-（３）　歯周疾患の診断と治療 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。	＊中山　洋平
2025/11/21（金） 2時限 09:30～10:15	歯周外科治療（歯周組織再生療法・歯周形成手術）の術式と使用器具	【授業の一般目標】 歯周組織再生療法，歯周形成手術の種類、適応症と術式を習得し、再生療法による創傷治癒のメカニズムを理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯周組織再生療法について説明できる。 3.歯周形成手術について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：臨床歯周病学 第3版　第22章 歯周組織再生療法 第24章 歯周形成手術 事前学修時間： 1時間 事後学修項目：配布資料 事後学修時間： 1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し。 配布プリントとパワーポイントを用いて行う。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ３　歯周疾患 ウ　歯周疾患の治療 ｅ　歯周外科治療（歯周組織再生療法） 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-３）　歯と歯周組織の疾患の診断と治療 Ｅ-３-３）-（３）　歯周疾患の診断と治療 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。	＊中山　洋平
2025/11/25（火） 1時限 08:40～09:50	平常試験9	【授業の一般目標】 保存修復・歯内療法・歯周治療領域のかかわる知識を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：保存修復・歯内療法・歯周治療領域の講義プリントの確認 事前学修時間：3時間 事後学修項目：試験問題の復習 事後学修時間：1時間 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 その他	＊伊藤　誠康

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/11/25（火） 1時限 08:40～09:50	平常試験9	該当なし	＊伊藤　誠康

補綴・インプラント領域

年次	学期	学修ユニット責任者
5年次	通年	＊内堀　聡史（クラウンブリッジ補綴学）

学修ユニット学修目標（ＧＩＯ）	歯科補綴学、口腔インプラント学の知識について修得する。
担当教員	＊伊藤　誠康
評価方法（ＥＶ）	演習試験、平常試験、学力評価試験、定期試験によって評価する。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/25（水） 1時限 08:40～09:40	下顎運動および口腔機能検査	【授業の一般目標】 補綴治療に必要な咬合検査、下顎運動および口腔機能検査の準備と診療補助ができるために、基本的な知識、技能、態度を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 咬合検査の方法と目的を理解できる。 3. 下顎運動検査の方法と目的を理解できる。 4. 筋機能検査の方法と目的を理解できる。 5. 模型を用いた検査方法と目的を理解できる。 6. 下顎運動について理解できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：咬合検査、下顎運動検査、下顎運動、口腔機能検査 ・事後学修時間：　３０分 ・事前学修項目：咬合検査、下顎運動検査、下顎運動、口腔機能検査 ・事後学修時間：　３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：授業プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅵ　検査 １　口腔検査・顎口腔機能検査 イ　顎口腔機能検査 ａ　下顎運動検査 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ２　診察、検査、診断 イ　検査と評価 ｇ　研究用模型による検査 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ−１　診療の基本 Ｅ−１−１）　診察の基本 ⑥診断に必要な検査を列挙できる。	＊淺野　隆
2025/06/26（木） 1時限 08:40～09:40	クラウンブリッジの要件 クラウンの種類 ブリッジの種類と構成	【授業の一般目標】 損なわれた顎口腔系の形態と機能の回復を図るために必要な補綴臨床における治療法に関する知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 生物学的要件、機能的要件、力学的要件、審美的要件、材料学的要件について説明できる。 3. クラウンの種類とそれぞれの特徴ならびに適応症について説明できる。 4. ブリッジの種類とそれぞれの特徴ならびに適応症について説明できる。 5. ブリッジの構成要素について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：クラウンブリッジの要件、クラウンの種類、ブリッジの種類と構成 事前学習時間：30分 事後学修項目：クラウンブリッジの要件、クラウンの種類、ブリッジの種類と構成 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学習媒体：授業プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義	＊内堀　聡史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/26（木） 1時限 08:40～09:40	クラウンブリッジの要件 クラウンの種類 ブリッジの種類と構成	【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 ア　クラウンブリッジの設計 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ２　診察、検査、診断 ウ　診断 エ　治療計画の立案 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（１）　クラウンブリッジによる治療 ①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法（CAD/CAM を含む）を説明できる。	＊内堀　聡史
2025/06/27（金） 1時限 08:40～09:40	前処置 支台歯形成 支台築造	【授業の一般目標】 損なわれた顎口腔系の形態と機能の回復を図るために必要な補綴臨床における治療法に関する知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.クラウンブリッジ治療に先立ち実施する前処置の意義、種類、内容を説明できる。 3.支台歯形成の目的、原則を説明できる。 4.歯頚部辺縁形態の分類と適応を列挙できる。 5.支台歯形成の手順、注意点を説明できる。 6.支台築造の臨床的意義、選択基準、種類、方法を説明できる。 7.築造窩洞形成の原則と手順を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：前処置、支台歯形成、支台築造 事前学習時間：30分 事後学修項目：前処置、支台歯形成、支台築造 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無。 PC、配布プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 イ　臨床操作 ａ　前処置 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 イ　臨床操作 ｂ　支台歯形成 ｃ　支台築造 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（１）　クラウンブリッジによる治療 ③支台築造の意義、種類及び特徴を説明できる。 ④支台歯形成の意義と方法を説明できる。	＊内堀　聡史
2025/06/28（土） 1時限 08:40～09:40	プロビジョナルレストレーション 印象採得 顎間関係の記録（咬合採得）	【授業の一般目標】 損なわれた顎口腔系の形態と機能の回復を図るために必要な補綴臨床における治療法に関する知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.プロビジョナルレストレーションの臨床的意義、種類、製作方法について説明できる。 3.印象材の種類と特徴について説明できる。 4.歯肉圧排の目的と方法について説明できる。 5.印象法の種類と特徴について説明できる。 6.咬合採得の意義を説明できる。 7.咬合支持に応じた咬合採得法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：プロビジョナルレストレーション、印象採得、咬合採得 事前学習時間：30分 事後学修項目：プロビジョナルレストレーション、印象採得、咬合採得	＊内堀　聡史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/28（土） 1時限 08:40～09:40	プロビジョナルレストレーション 印象採得 顎間関係の記録（咬合採得）	事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学習媒体：授業プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 イ　臨床操作 ｄ　印象採得 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 イ　臨床操作 ｅ　プロビジョナルレストレーション 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（１）　クラウンブリッジによる治療 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑦プロビジョナルレストレーションの意義とその製作法を説明できる。	＊内堀　聡史
2025/06/30（月） 1時限 08:40～09:40	咬合器の種類と選択 咬合器装着 咬合器の調整	【授業の一般目標】 損なわれた顎口腔系の形態と機能の回復を図るために必要な補綴臨床における治療法に関する知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.フェイスボウトランスファーとチェックバイト法を説明できる。 3.咬合器を分類し、特徴を説明できる。 4.半調節性咬合器の調節方法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：咬合器の種類と選択、咬合器装着、咬合器の調整 事前学習時間：30分 事後学修項目：咬合器の種類と選択、咬合器装着、咬合器の調整 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学習媒体：授業プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 イ　臨床操作 ｆ　顎間関係の記録 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（１）　クラウンブリッジによる治療 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 ⑩平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。	＊岩﨑　正敏
2025/07/01（火） 1時限 08:40～09:40	装着と術後管理	【授業の一般目標】 損なわれた顎口腔系の形態と機能の回復を図るために必要な補綴臨床における治療法に関する知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.クラウン試適時の調整手順と調整方法を説明できる。 3.クラウン咬合面の調整方法を説明できる。 4.仮着の必要性を説明できる。 5.各種歯科用セメントの特徴を述べることができる。 6.術後管理の重要性を説明できる。 7.リコールの意義と検査項目を列挙できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：装着と術後管理 事前学修時間：30分 事後学習項目：装着と術後管理 事後学習時間：30分	＊岩﨑　正敏

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/01（火） 1時限 08:40～09:40	装着と術後管理	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学習媒体：授業プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 イ　臨床操作 ｊ　装着 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（１）　クラウンブリッジによる治療 ⑪クラウンブリッジの装着方法を説明できる。 ⑫クラウンブリッジの維持管理の目的と方法を説明できる。 ⑬クラウンブリッジ装着後のメインテナンスの重要性を説明できる。	＊岩﨑　正敏
2025/07/02（水） 1時限 08:40～09:40	全部床義歯の診察・検査と評価	【授業の一般目標】 無歯顎患者に総義歯を製作し、機能、審美の回復を行うために必要な知識、技能および態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 無歯顎患者のプロブレムリストを作成できる 3. 患者の補綴学的、身体的、社会的な問題点を抽出できる 4. 旧義歯の問題点を補綴学的に解釈できる 5. 旧義歯の問題点に関する検査を列挙できる 6.検査結果を観察記録として記載できる 7. 観察記録を総合して問題点の考察ができる 8. 問題点の考察に基づき原因の診断ができる 9. 診断に基づき、治療計画を立案できる 10.治療計画に基づき対処を行う事ができる 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：無歯顎補綴治療学第３・４版の該当項目 困ったときにSEOAPで解決 有床義歯トラブルシューティング p2～20 準備学修時間：１時間 事後学修項目：授業プリントに基づく患者配当後のグループ学修 事後学修時間：６時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：有（ピア・インストラクション） 学習媒体：授業プリント，PCでの解説 さらに、本講義を基礎に問題解決のためのアクティブラーニング ①各グループに配当される無歯顎患者の協力を仰ぎ総義歯補綴の臨床実習を進行する。 ②各グループに配当された旧義歯のプロブレムリストに基づき行う。教授カンファレンス。 を行う 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ２　診察、検査、診断 ア　診察 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ２　診察、検査、診断 イ　検査と評価 ａ　形態的・審美的評価 ｂ　機能的評価 ｃ　力学的評価 ｄ　身体社会的・心理的評価 ｅ　栄養評価 ｆ　補綴装置の評価 ｇ　研究用模型による検査 ｈ　口腔衛生状態の評価 ウ　診断 エ　治療計画の立案 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ③可撤性義歯の特徴と適応症を説明できる。 ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。	＊五十嵐　憲太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/03（木） 1時限 08:40～09:50	演習試験4	【授業の一般目標】 補綴・インプラント領域の国家試験過去問を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.補綴・インプラント領域の国家試験過去問を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：補綴・インプラント領域の国家試験過去問の学修 事前学修時間：3時間 事後学修項目：試験問題の復習 事後学修時間：1時間 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室	＊伊藤　誠康
2025/07/04（金） 1時限 08:40～09:40	全部床義歯の臨床操作（印象採得）	【授業の一般目標】 無歯顎患者に総義歯を製作し、機能、審美の回復を行うために必要な知識、技能および態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.無歯顎患者の印象採得に用いる材料を説明できる。 3.無歯顎患者の印象採得の方法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：無歯顎補綴治療学第3版の該当項目 準備学修時間：１時間 事後学修項目：授業プリントに基づく講義の内容の復習および患者配当後のグループ学修 事後学修時間：６時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：有（ピア・インストラクション） 学習媒体：授業プリント，PCでの解説 さらに、本講義を基礎に問題解決のためのアクティブラーニング ①各グループに配当される無歯顎患者の協力を仰ぎ総義歯補綴の臨床実習を進行する。 ②各グループに配当された旧義歯のプロブレムリストに基づき行う。教授カンファレンス。 を行う 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 イ　臨床操作 ｂ　印象採得 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	＊鈴木　亜沙子
2025/07/05（土） 1時限 08:40～09:40	全部床義歯の臨床操作（顎間関係の記録）	【授業の一般目標】 無歯顎患者に総義歯を製作し、機能、審美の回復を行うために必要な知識、技能および態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.　臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.無歯顎患者の顎間関係の記録法について説明できる。 3.無歯顎患者の下顎運動の記録法について説明できる。 4.無歯顎患者の人工歯選択について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：無歯顎補綴治療学第3版の該当項目 準備学修時間：１時間 事後学修項目：授業プリントに基づく講義の内容の復習および患者配当後のグループ学修 事後学修時間：６時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：有（ピア・インストラクション） 学習媒体：授業プリント，PCでの解説 さらに、本講義を基礎に問題解決のためのアクティブラーニング ①各グループに配当される無歯顎患者の協力を仰ぎ総義歯補綴の臨床実習を進行する。 ②各グループに配当された旧義歯のプロブレムリストに基づき行う。教授カンファレンス。 を行う 【学修方略（ＬＳ）】	＊小川　晃奈

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/05（土） 1時限 08:40～09:40	全部床義歯の臨床操作（顎間関係の記録）	講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 イ　臨床操作 ｃ　顎間関係の記録 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 ウ　技工操作 ｂ　咬合器装着・調節 ｃ　人工歯の選択・排列・歯肉形成 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	＊小川　晃奈
2025/07/07（月） 1時限 08:40～09:40	部分床義歯の構成要素・設計の原則	【授業の一般目標】 歯の欠損に対する補綴治療ができるようになるために、局部床義歯の設計の原則と構成要素ついて理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2.局部床義歯の設計の原則を説明できる 3.局部床義歯の構成要素とそれぞれの機能を説明できる 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修の推奨 歯学生のパーシャルデンチャー第6版（2018、医歯薬出版） スタンダードパーシャルデンチャー補綴学（2016、学建書院） 準備学修時間　120分 事後学修：配布資料の復習　学修時間　120分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ア　義歯の設計 ｂ　義歯の構成要素 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ア　義歯の設計 ａ　設計の原則 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。	＊大久保　昌和
2025/07/08（火） 1時限 08:40～09:40	部分床義歯のサベイング・前処置	【授業の一般目標】 歯の欠損に対する補綴治療ができるようになるために、部分床義歯の局部床義歯のサベイングと前処置について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.部分床義歯のサベイングを説明できる。 3.部分床義歯の前処置を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯学生のパーシャルデンチャー第6版：14章～17章、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学（2016、学建書院）10章、12章の予習 事前学修時間：60分 事後学修項目：配布資料の復習 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：授業スライド 参考図書：歯学生のパーシャルデンチャー第6版：14章～17章、スタンダード	＊伊藤　誠康

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/08（火） 1時限 08:40～09:40	部分床義歯のサベイング・前処置	パーシャルデンチャー補綴学（2016、学建書院）：10章、12章 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 イ　臨床操作 ａ　前処置 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ウ　技工操作 ｃ　サベイング、設計線の記入 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ①歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。	＊伊藤　誠康
2025/07/09（水） 1時限 08:40～09:40	部分床義歯の臨床操作（印象採得・顎間関係の記録）	【授業の一般目標】 歯の欠損に対する補綴治療ができるようになるために、局部床義歯の臨床操作について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 部分床義歯の印象採得について説明できる。 3. 部分床義歯の顎間関係の記録について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修の推奨 歯学生のパーシャルデンチャー第6版（2018、医歯薬出版） スタンダードパーシャルデンチャー補綴学（2016、学建書院） 準備学修時間　120分 事後学修：配布資料の復習　学修時間　120分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 イ　臨床操作 ｂ　印象採得 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 イ　臨床操作 ｃ　顎間関係の記録 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑦歯の欠損した歯列での下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。 ⑧調節性咬合器の基本的操作方法、フェイスボウトランスファー、チェックバイト法を説明できる。 ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。 ⑫可撤性義歯の製作過程を説明できる。	＊井上　正安
2025/07/10（木） 1時限 08:40～09:40	インプラント治療の概要・診察と検査１	【授業の一般目標】 欠損補綴の回復方法を適切に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. インプラント治療の流れを説明できる。 3. インプラント治療の治療計画立案について説明できる。 4. インプラント治療における全身状態の評価の目的と方法を説明できる。 5. インプラントの局所の診察の臨床的意義を説明できる。 6. インプラントの画像検査法とガイデッドサージェリーについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】	＊井下田　繁子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/10（木） 1時限 08:40～09:40	インプラント治療の概要・診察と検査１	・事前学修項目：4年次配布資料、よくわかる口腔インプラント学第3版、口腔インプラント治療指針2020、口腔インプラント実習動画、口腔インプラント学実習書第2版、口腔インプラント学学術用語集第4版 ・事前学修時間：45分 ・事後学習項目：授業時配布資料およびよくわかる口腔インプラント学第3版、口腔インプラント治療指針2020、口腔インプラント実習書動画、口腔インプラント学実習書第2版、口腔インプラント学学術用語集第4版 ・事後学習時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学習媒体：配布プリント、ＰＣによるスライド 参考図書：よくわかる口腔インプラント学　第3版　医歯薬出版（株） 口腔インプラント治療指針2020（動画）公益社団法人日本口腔インプラント学会編　永末書店 口腔インプラント治療とリスクマネジメント2015　公益社団法人日本口腔インプラント学会編 口腔インプラント学学術用語集　第4版　公益社団法人日本口腔インプラント学会編 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ６　インプラント義歯による治療 イ　インプラント義歯の設計 ｂ　埋入計画の立案 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ２　診察、検査、診断 ウ　診断 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（３）　口腔インプラント ②口腔インプラントの適応症と合併症を説明できる。 ③口腔インプラントに必要な診察と検査を説明できる。 ④口腔インプラントの治療計画、治療手順を説明できる。 ⑤埋入手術方法を説明できる。	＊井下田　繁子
2025/07/11（金） 1時限 08:40～09:40	インプラント治療の診察と検査２	【授業の一般目標】 欠損補綴の回復法を適切に患者へ提供するために、口腔インプラント治療に関する基本的知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.インプラント手術に関する併発症を説明できる。 3.上部構造装着前後の併発症を説明できる。 4.インプラント治療に伴う誤飲などの併発症の対処について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：4年次配布資料、よくわかる口腔インプラント学第3版、口腔インプラント治療指針2020、口腔インプラント実習動画、口腔インプラント学実習書第2版、口腔インプラント学学術用語集第4版 ・事前学修時間：45分 ・事後学習項目：授業時配布資料およびよくわかる口腔インプラント学第3版、口腔インプラント治療指針2020、口腔インプラント実習書動画、口腔インプラント学実習書第2版、口腔インプラント学学術用語集第4版 ・事後学習時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学習媒体：配布プリント、ＰＣによるスライド 参考図書：よくわかる口腔インプラント学　第3版　医歯薬出版（株） 口腔インプラント治療指針2020（動画）公益社団法人日本口腔インプラント学会編　永末書店 口腔インプラント治療とリスクマネジメント2015　公益社団法人日本口腔インプラント学会編 口腔インプラント学学術用語集　第4版　公益社団法人日本口腔インプラント学会編 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ８　指導と管理 オ　リコールとメインテナンス ｆ　インプラントのメインテナンス	＊井下田　繁子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/12（土） 1時限 08:40～09:40	インプラントのリコールとメインテナンス	【授業の一般目標】 欠損補綴の回復法を適切に患者へ提供するために、口腔インプラント治療に関する基本的知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.メインテナンスの必要性を理解する。 3.メインテナンスの術式を説明できる。 4.支持療法の重要性を理解する。 5.支持療法の目的・方法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：4年次配布資料、よくわかる口腔インプラント学第3版、口腔インプラント治療指針2020、口腔インプラント治療とリスクマネジメント2015、口腔インプラント学学術用語集第4版 ・事前学修時間：45分 ・事後学習項目：授業時配布資料およびよくわかる口腔インプラント学第3版、口腔インプラント治療指針2020、口腔インプラント治療とリスクマネジメント2015、口腔インプラント学学術用語集第4版 ・事後学習時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学習媒体：配布プリント、ＰＣによるスライド 参考図書：よくわかる口腔インプラント学　第3版　医歯薬出版（株） 口腔インプラント治療指針2020　公益社団法人日本口腔インプラント学会編 口腔インプラント実習書（動画）公益社団法人日本口腔インプラント学会編 永末書店 口腔インプラント治療とリスクマネジメント2015　公益社団法人日本口腔インプラント学会編 口腔インプラント学学術用語集　第4版　公益社団法人日本口腔インプラント学会編 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ８　指導と管理 オ　リコールとメインテナンス ｆ　インプラントのメインテナンス 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（３）　口腔インプラント ⑧メインテナンスの重要性を説明できる。	＊井下田　繁子
2025/07/15（火） 1時限 08:40～09:50	平常試験4	【授業の一般目標】 補綴・インプラント領域にかかわる知識を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：補綴・インプラント領域の講義プリントの確認 事前学修時間：3時間 事後学修項目：試験問題の復習 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊伊藤　誠康
2025/07/25（金） 1時限 08:40～09:40	演習試験5	【授業の一般目標】 放射線・口腔外科・麻酔・臨床検査・医科領域の知識を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.放射線・口腔外科・麻酔・臨床検査・医科領域の知識を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：放射線・口腔外科・麻酔・臨床検査・医科領域の国家試験過去問の学修 事前学修時間：3時間 事後学修項目：試験問題の復習 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義	＊伊藤　誠康

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/25（金） 1時限 08:40～09:40	演習試験5	【場所（教室/実習室）】 206教室	＊伊藤　誠康
2025/11/27（木） 1時限 08:40～09:25	歯の欠損の治療に関する基礎知識	【授業の一般目標】 無歯顎患者および部分歯列欠損患者の診断と治療ができるようになるために、咀嚼、嚥下、発音とこれらの障害および症候について、有床義歯補綴学における理論的背景を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.無歯顎者の解剖学的特徴について説明できる。 3.歯列欠損および無歯顎者の咬合様式について説明できる。 4.構音機能について説明できる。 5.無歯顎者の病態について説明できる。 6.無歯顎者の咀嚼障害、嚥下障害、発音障害について説明することができる。 7.無歯顎者にみられる口腔・顎顔面の機能障害（咀嚼障害・発話障害など）について説明できる。 8.全部床義歯装着者にみられる主要症候を説明することができる。 9.診察における高齢者への対応について説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目とそれに要する時間数　無歯顎補綴治療学および歯科医師国家試験過去問題　2時間 事後学習項目とそれに用手る時間数　上記および配布プリント　2時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ６　口腔・顎顔面の機能 オ　発声、構音 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅲ　病因、病態 ２　口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 イ　歯の喪失に伴う変化・障害 ａ　口腔・顎顔面領域の変化・障害 総論Ⅳ　主要症候 ２　口腔・顎顔面の症候 ク　口腔・顎顔面の機能障害 総論Ⅴ　診察 ５　高齢者への対応 ア　診療の基本 ａ　診察時の注意 ｇ　Quality of Life〈QOL〉	＊五十嵐　憲太郎
2025/11/27（木） 2時限 09:30～10:15	歯の欠損の治療に関する病因・病態	【授業の一般目標】 歯列の欠損に対する障害の病因・病態とその診察・検査法について必要な知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯の喪失に伴う口腔の変化を説明できる。 3.歯の喪失による口腔・顎顔面の機能障害を説明できる。 4.部分歯列欠損患者の咬合状態の診察法を説明できる。 5.部分歯列欠損患者の歯列・咬合状態の検査法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯列の欠損に対する障害について学修する。 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配付資料および参考図書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ８　診察の基本 カ　歯列・咬合の診察 ｂ　咬合状態 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 ６　主要な疾患と障害の病因・病態 イ　口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 ｅ　咀嚼障害 ｇ　発話障害〈発話機能障害〉 歯科医学総論	＊五十嵐　憲太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/11/27（木） 2時限 09:30～10:15	歯の欠損の治療に関する病因・病態	総論Ⅵ　検査 １　口腔検査・顎口腔機能検査 ア　口腔検査 ｅ　歯列・咬合の検査	＊五十嵐　憲太郎
2025/11/28（金） 1時限 08:40～09:25	歯の欠損の治療に関する診察・検査１（無歯顎）	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者および無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を実施できるために、必要な病態の把握および診察・検査・診断に関する知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 部分歯列欠損患者および無歯顎患者の咬合・咀嚼障害について説明できる。 3. 部分歯列欠損患者および無歯顎患者の発語障害（発話機能障害）について説明できる。 4. 部分歯列欠損患者および無歯顎患者の心理社会的障害について説明できる。 5. 部分歯列欠損患者および無歯顎患者に対する形態的・審美的評価について説明できる。 6. 部分歯列欠損患者および無歯顎患者に対する機能的評価について説明できる。 7. 部分歯列欠損患者および無歯顎患者に対する力学的評価について説明できる。 8. 部分歯列欠損患者および無歯顎患者に対する身体社会的・心理的評価について説明できる。 9. 部分歯列欠損患者および無歯顎患者に対する栄養評価について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：参考図書（無歯顎補綴治療学、コンプリートデンチャーテクニック、歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学、パーシャルデンチャーテクニック、有床義歯補綴学など）の確認 ・準備学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 配付資料および参考図書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 １　病態 ア　咬合・咀嚼障害 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 １　病態 ウ　発話障害〈発話機能障害〉 オ　心理社会的障害 ２　診察、検査、診断 ア　診察 ａ　形態的・審美的評価 ｂ　機能的評価 ｃ　力学的評価 ｄ　身体社会的・心理的評価 ｅ　栄養評価	＊五十嵐　憲太郎
2025/11/28（金） 2時限 09:30～10:15	歯の欠損の治療に関する診察・検査２（部分歯列欠損）	【授業の一般目標】 テーマ：歯列欠損患者・無歯顎患者に対する診察・検査と評価２ 部分歯列欠損患者および無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を実施できるために、必要な病態の把握および診察・検査・診断に関する知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 部分歯列欠損患者および無歯顎患者に対する補綴装置の評価について説明できる。 3. 補綴装置の要件（生物学的、機能的、形態的、力学的、審美的、材料的）について説明できる。 4. 有床義歯における咬合力の支持様式について説明できる。 5. 有床義歯における咬合様式について説明できる。 6. 部分歯列欠損患者および無歯顎患者に対する研究用模型による検査について説明できる。 7. 部分歯列欠損患者および無歯顎患者に対する口腔衛生状態の評価について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：参考図書（無歯顎補綴治療学、コンプリートデンチャーテクニック、歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学、パーシャルデンチャーテクニック、有床義歯補綴学など）の確認 ・準備学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 配付資料および参考図書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】	＊五十嵐　憲太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/11/28（金） 2時限 09:30～10:15	歯の欠損の治療に関する診察・検査 ２（部分歯列欠損）	歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ２　診察、検査、診断 イ　検査と評価 ｆ　補綴装置の評価 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ２　診察、検査、診断 イ　検査と評価 ｇ　研究用模型による検査 ｈ　口腔衛生状態の評価 ｉ　その他	＊五十嵐　憲太郎
2025/11/29（土） 1時限 08:40～09:25	全部床義歯の臨床・技工操作（前処置）	【授業の一般目標】 無歯顎患者の診断と治療ができるために、全部床義歯の治療手順とその理論的背景を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.全部床義歯の構成要素について説明できる。 3.全部床義歯製作時の前処置について説明できる。 4.全部床義歯の個人トレーの製作について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：無歯顎補綴治療学第３／４版（医歯薬出版）の該当項目の確認 ・準備学修時間：　60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 配付資料および参考図書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 ア　義歯の設計 ｂ　義歯の構成要素 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 ア　義歯の設計 ａ　設計の原則 ｂ　印象採得 ａ　個人トレーの製作、作業用模型の製作	＊鈴木　亜沙子
2025/11/29（土） 2時限 09:30～10:15	全部床義歯の臨床・技工操作（印象採得）	【授業の一般目標】 無歯顎患者の診断と治療ができるために、全部床義歯の治療手順とその理論的背景を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.全部床義歯の印象採得について説明できる。 3.全部床義歯の作業用模型製作について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：無歯顎補綴治療学第３／４版（医歯薬出版）の該当項目の確認 ・準備学修時間：　60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 配付資料および参考図書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 ア　義歯の設計 ｂ　義歯の構成要素 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 ア　義歯の設計	＊鈴木　亜沙子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/11/29（土） 2時限 09:30～10:15	全部床義歯の臨床・技工操作（印象採得）	a　設計の原則 b　印象採得 a　個人トレーの製作、作業用模型の製作	＊鈴木　亜沙子
2025/12/01（月） 1時限 08:40～09:25	全部床義歯の臨床・技工操作（顎間関係の記録）	【授業の一般目標】 無歯顎患者に対し適切な補綴歯科治療を実施できるために必要な知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.全部床義歯の顎間関係の記録について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：参考図書（無歯顎補綴治療学、コンプリートデンチャーテクニック、有床義歯補綴学など）の確認 ・準備学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 配付資料および参考図書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 イ　臨床操作 ｃ　顎間関係の記録 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 ウ　技工操作 ｂ　咬合器装着・調節	＊五十嵐　憲太郎
2025/12/01（月） 2時限 09:30～10:15	全部床義歯の臨床・技工操作（下顎運動の記録・咬合器）	【授業の一般目標】 テーマ：全部床義歯による治療３（臨床操作：人工歯選択、技工操作：咬合器装着） 無歯顎患者に対し適切な補綴歯科治療を実施できるために必要な知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.全部床義歯製作時の咬合器装着・調節について説明できる。 3.全部床義歯の人工歯選択について説明できる。 4.フレンジテクニックについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：参考図書（無歯顎補綴治療学、コンプリートデンチャーテクニック、有床義歯補綴学など）の確認 ・準備学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 配付資料および参考図書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 ウ　技工操作 ｂ　咬合器装着・調節 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 イ　臨床操作 ｃ　顎間関係の記録	＊五十嵐　憲太郎
2025/12/02（火） 1時限 08:40～09:25	全部床義歯の臨床・技工操作（人工歯排列～埋没・重合）	【授業の一般目標】 テーマ：全部床義歯の臨床操作・技工操作３ 無歯顎患者の診断と治療ができるようになるために、全部床義歯の治療手順とその理論的背景を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.全部床義歯の人工歯排列について説明することがで切る。 3.全部床義歯の歯肉形成について説明できる。 4.全部床義歯の咬合様式について説明することができる。 5.全部床義歯の咬合平衡について説明することができる。	＊鈴木　亜沙子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/12/02（火） 1時限 08:40～09:25	全部床義歯の臨床・技工操作（人工歯排列～埋没・重合）	6. 全部床義歯の咬合調整の理論を説明することができる。 7. 全部床義歯のろう義歯の試適について説明できる。 8. 全部床義歯の埋没および重合について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目とそれに要する時間数　無歯顎補綴治療学および歯科医師国家試験過去問題　2時間 事後学習項目とそれに用手る時間数　上記および配布プリント　2時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 配付資料および参考図書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 ウ　技工操作 ｃ　人工歯の選択・排列・歯肉形成 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 イ　臨床操作 ｄ　ろう義歯の試適 ｅ　咬合調整（削合）と仕上げ	＊鈴木　亜沙子
2025/12/02（火） 2時限 09:30～10:15	全部床義歯装着後の管理	【授業の一般目標】 無歯顎患者の診断と治療ができるようになるために、全部床義歯の装着後の管理とその理論的背景を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 全部床義歯装着時の診査項目を列挙し、説明することができる。 3. 全部床義歯のリマウントの目的とその方法について述べることができる。 4. 全部床義歯装着時の患者指導の項目を列挙し、説明することができる。 5. 全部床義歯の短期的および長期的管理について説明することができる。 6. 全部床義歯装着後の残存組織の変化について説明できる。 7. 全部床義歯装着後の咬合の変化に対する対応について説明できる。 8. 全部床義歯のリラインおよびリベースについて説明できる。 9. 全部床義歯の破損に対する対応について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目とそれに要する時間数　無歯顎補綴治療学および歯科医師国家試験過去問題　2時間 事後学習項目とそれに用手る時間数　上記および配布プリント　2時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 配付資料および参考図書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 イ　臨床操作 ｅ　装着 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 ウ　技工操作 ｅ　咬合調整（削合）と仕上げ ８　指導と管理 イ　補綴装置に対する指導 ａ　セルフケア（ホームケア）、プロフェッショナルケア ｂ　残存組織の変化とその対応 ｃ　咬合の変化とその対応 ｄ　機能低下とその対応 ｅ　補綴装置の破損とその対応	＊鈴木　亜沙子
2025/12/03（水） 1時限 08:40～09:25	部分床義歯の構成要素	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者に対し適切な補綴歯科治療が出来るようになるために、部分床義歯の構成要素について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 部分床義歯の構成要素を説明できる。 3. 支台装置の種類を説明できる。 4. 支台装置の具備条件を説明できる。 5. 部分床義歯の支台装置について説明できる。 6. 部分床義歯の連結装置について説明できる。	＊石井　智浩

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/12/03（水） 1時限 08:40～09:25	部分床義歯の構成要素	【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：教科書・参考図書（歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学、パーシャルデンチャーテクニック、有床義歯補綴学）での関連項目の確認 ・準備学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 配付資料および参考図書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ア　義歯の設計 ｂ　義歯の構成要素 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ア　義歯の設計 ａ　設計の原則	＊石井　智浩
2025/12/03（水） 2時限 09:30～10:15	部分床義歯の設計原則	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者に対し適切な補綴歯科治療が出来るようになるために、部分床義歯の設計原則およびそれを具現化するためのサベイングについて理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 部分床義歯の設計原則について説明できる。 3. 部分床義歯のサベイングについて説明できる。 4. 部分床義歯の設計線の記入について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：教科書・参考図書（歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学、パーシャルデンチャーテクニック、有床義歯補綴学）での関連項目の確認 ・準備学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 配付資料および参考図書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ア　義歯の設計 ａ　設計の原則 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ウ　技工操作 ｃ　サベイング、設計線の記入	＊石井　智浩
2025/12/04（木） 1時限 08:40～10:15	演習試験10	【授業の一般目標】 補綴・インプラント領域の国家試験過去問を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 補綴・インプラント領域の国家試験過去問を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：補綴・インプラント領域の国家試験過去問の学修 事前学修時間：3時間 事後学修項目：試験問題の復習 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 その他 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊伊藤　誠康

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/12/04（木） 1時限 08:40～10:15	演習試験10		＊伊藤　誠康
2025/12/05（金） 1時限 08:40～09:25	部分床義歯の臨床・技工操作 （前処置・個人トレーの製作・印象採得・フレームワークの製作）	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者に対し適切な補綴歯科治療が出来るようになるために、部分床義歯の臨床操作および技工操作について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.部分床義歯の個人トレーの製作について説明できる 3.部分床義歯製作時の前処置について説明できる。 4.部分床義歯の印象採得について説明できる。 5.部分床義歯の作業用模型の製作について説明できる。 6.部分床義歯の構成要素（支台装置、連結子、フレームワーク）の製作方法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：教科書・参考図書（歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学、パーシャルデンチャーテクニック、有床義歯補綴学）での関連項目の確認 ・準備学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 配付資料および参考図書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 イ　臨床操作 ａ　前処置 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ウ　技工操作 ｃ　サベイング、設計線の記入 ｂ　印象採得 ａ　個人トレーの製作、作業用模型の製作 ｃ　サベイング、設計線の記入 ｄ　支台装置、連結子、フレームワークの製作	＊石井　智浩
2025/12/05（金） 2時限 09:30～10:15	部分床義歯の臨床・技工操作 （顎間関係の記録、人工歯排列、試適、装着）	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者に対し適切な補綴歯科治療が出来るようになるために、部分床義歯の臨床操作および技工操作について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.部分床義歯の顎間関係の記録について説明できる。 3.部分床義歯製作時の咬合器装着・調節について説明できる。 4.部分床義歯の人工歯の選択・排列・歯肉形成について説明できる。 5.部分床義歯製作時の試適（ろう義歯、フレームワーク）について説明できる。 6.部分床義歯製作時の埋没、重合について説明できる。 7.部分床義歯製作時の咬合調整(削合)と仕上げについて説明できる。 8.部分床義歯の装着について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：教科書・参考図書（歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学、パーシャルデンチャーテクニック、有床義歯補綴学）での関連項目の確認 ・準備学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 配付資料および参考図書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 イ　臨床操作 ｃ　顎間関係の記録 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 イ　臨床操作 ｄ　試適（ろう義歯、フレームワーク） ｅ　装着 ｆ　埋没、重合	＊石井　智浩

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/12/05（金） 2時限 09:30～10:15	部分床義歯の臨床・技工操作 （顎間関係の記録、人工歯排列、試適、装着）	ｇ　咬合調整（削合）と仕上げ	＊石井　智浩
2025/12/06（土） 1時限 08:40～09:25	部分床義歯装着後の管理	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者に対する補綴歯科治療後の指導と管理について必要な知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 部分床義歯装着後の義歯の清掃・管理について説明できる。 3. 部分床義歯装着後の支台歯の清掃・管理について説明できる。 4. 部分床義歯装着後の睡眠中の管理について説明できる。 5. 部分床義歯装着後の残存組織の変化について説明できる。 6. 部分床義歯に対するリベース、リラインについて説明できる。 7. 部分床義歯装着後の咬合の変化への対応について説明できる。 8. 部分床義歯の破損に対する対応について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：参考図書（歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学、パーシャルデンチャーテクニック、有床義歯補綴学など）の確認 ・準備学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 配付資料および参考図書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ８　指導と管理 オ　リコールとメインテナンス ｅ　補綴装置の破損とその対応 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ８　指導と管理 イ　補綴装置に対する指導 ａ　セルフケア（ホームケア）、プロフェッショナルケア ｂ　残存組織の変化とその対応 ｃ　咬合の変化とその対応	＊五十嵐　憲太郎
2025/12/06（土） 2時限 09:30～10:15	高齢者への補綴歯科治療	【授業の一般目標】 高齢患者における補綴歯科治療および口腔衛生管理・機能管理および栄養管理を実施できるために必要な知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 高齢者への補綴歯科治療について説明できる。 3. 歯の喪失予防のための口腔保健指導について説明できる。 4. 高齢者への口腔衛生管理・口腔機能管理について説明できる。 5. 高齢者への栄養管理について説明できる。 6. 高齢者への歯の欠損への対応について説明できる。 7. 高齢者の発音障害（構音障害）に対する対応について説明できる。 8. 高齢者の口腔機能の評価について説明できる。 9. 口腔機能低下症の予防管理について説明できる。 10. 口腔機能低下症への対応について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：参考図書（無歯顎補綴治療学、歯学生のパーシャルデンチャー、有床義歯補綴学、よくわかる高齢者歯科学など）の確認 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 配付資料および参考図書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅴ　配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 ６　高齢者等に関連した歯科診療 カ　口腔機能低下症への対応 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅴ　配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 ４　高齢者・有病者等に関連した臨床評価・診断・治療計画	＊五十嵐　憲太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/12/06（土） 2時限 09:30～10:15	高齢者への補綴歯科治療	ウ　診断 エ　治療計画の策定 ５　高齢者等に関連した予防と管理 ア　歯の喪失予防 ａ　口腔保健指導 ｂ　口腔機能管理 ｃ　栄養管理 ｄ　口腔機能低下症の予防管理 ６　高齢者等に関連した歯科診療 イ　歯の欠損への対応 オ　発話障害〈発話機能障害〉への対応	＊五十嵐　憲太郎
2025/12/08（月） 1時限 08:40～09:25	特殊な設計を有する義歯（オーバーデンチャー・アタッチメント）	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者に対する特殊な義歯の設計（オーバーデンチャー・アタッチメント）とその治療について必要な知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.特殊な義歯の構成要素（アタッチメント）について説明できる。 3.オーバーデンチャーやアタッチメントを応用した義歯の設計原則を説明できる。 4.オーバーデンチャーやアタッチメントを応用した義歯の治療について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：参考図書（歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学、パーシャルデンチャーテクニック、有床義歯補綴学など）の確認 ・準備学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 配付資料および参考図書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ア　義歯の設計 ａ　設計の原則 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ア　義歯の設計 ｂ　義歯の構成要素 ５　全部床義歯による治療 ア　義歯の設計 ａ　設計の原則 ｂ　義歯の構成要素 ６　インプラント義歯による治療 エ　上部構造の製作 ｃ　インプラントオーバーデンチャーの製作 ｄ　インプラントパーシャルデンチャーの製作	＊小出　恭代
2025/12/08（月） 2時限 09:30～10:15	特殊な補綴装置による治療（顎顔面補綴装置、舌接触補助床等）	【授業の一般目標】 顎顔面欠損・機能障害等に対する特殊な補綴装置によるの設計・治療の方針について必要な知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.顎顔面に欠損を有する患者の機能障害を説明できる。 3.顎顔面に欠損を有する患者の病因および病態を説明できる。 4.顎顔面補綴装置による治療について説明できる。 5.栓塞子（オブチュレータ）について説明できる。 6.舌接触補助床について説明できる。 7.舌接触補助床の製作法について説明できる。 8.軟口蓋挙上装置およびスピーチエイドについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：参考図書（無歯顎補綴治療学、歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学、有床義歯補綴学など）の確認 ・準備学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 配付資料および参考図書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害	＊小出　恭代

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/12/08（月） 2時限 09:30～10:15	特殊な補綴装置による治療（顎顔面補綴装置、舌接触補助床等）	7　特殊な装置による治療 ア　顎顔面補綴装置	＊小出　恭代
2025/12/09（火） 1時限 08:40～09:25	歯冠補綴治療の手順と術式	【授業の一般目標】 歯冠補綴治療時に歯冠補綴治療の流れと術式を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.築造窩洞形成の手順・術式を説明できる。 3.支台築造法手順・術式を説明できる。 4.精密印象採得、顎間関係の記録の手順・術式を説明できる。 5.クラウン・ブリッジの試適、調整、仮着の手順・術式を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：クラウンブリッジ補綴学第５版、６版。クラウンブリッジ補綴学実習指針により、診療のステップを確認する。 ・事前学修時間：1時間 ・事後学修項目：授業の内容を理解する。 ・事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体PC、配布プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 イ　臨床操作 ｊ　装着 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 イ　臨床操作 ｃ　支台築造 ｄ　印象採得 ｆ　顎間関係の記録 ｈ　口腔内試適 ｉ　仮着 ｊ　装着 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（１）　クラウンブリッジによる治療 ③支台築造の意義、種類及び特徴を説明できる。 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 ⑪クラウンブリッジの装着方法を説明できる。	＊内堀　聡史
2025/12/09（火） 2時限 09:30～10:15	埋没、鋳造、ろう付け、熱処理、研磨	【授業の一般目標】 歯冠補綴治療を行うためにロストワックス法による技工操作を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.全部金属冠の製作方法を説明できる。 3.ブリッジのろう付け法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：クラウンブリッジ補綴学第5・6版、スタンダード歯科理工学第5版を参考に補綴装置の製作方 法と材料について理解しておく。 事前学修時間：30分 事後学習項目：配布資料の復習 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 ウ　技工操作 ａ　ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患	＊内堀　聡史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/12/09（火） 2時限 09:30～10:15	埋没、鋳造、ろう付け、熱処理、研磨	E-3-4）　歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4）-（1）　クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。	＊内堀　聡史
2025/12/10（水） 1時限 08:40～09:25	陶材焼付冠・レジン前装冠	【授業の一般目標】 歯冠補綴治療を行うために陶材焼付冠・レジン前装冠について説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.陶材焼付冠・レジン前装冠の製作方法を説明できる。 3.陶材焼付冠・レジン前装冠の特徴、適応症について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：クラウンブリッジ補綴学第5版 ・準備学修時間：　３０分 ・事後学修項目：　講義資料 ・事後学修時間：　３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学習媒体：PC、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 ウ　技工操作 ａ　ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 E-3　歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4）　歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4）-（1）　クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法（CAD/CAM を含む）を説明できる。	＊内堀　聡史
2025/12/10（水） 2時限 09:30～10:15	接着ブリッジ，オールセラミック修復	【授業の一般目標】 接着ブリッジの利点，適応症，製作法について理解する。 接着ブリッジ装着時の金属ならびに歯質被着面処理について理解する。 オールセラミッククラウンの特徴，適応症，禁忌症，　製作方法について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2.接着ブリッジの利点，適応症，製作法を説明できる。 3.接着ブリッジ装着時の金属ならびに歯質被着面処理を説明できる。 4.オールセラミッククラウンの特徴，適応症，禁忌症，　製作方法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 事後学習時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 ウ　技工操作 ｂ　CAD/CAMによる製作 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 E-3　歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4）　歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4）-（1）　クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法（CAD/CAM を含む）を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 ⑪クラウンブリッジの装着方法を説明できる。	＊内堀　聡史
2025/12/11（木） 1時限 08:40～09:25	口腔内装置	【授業の一般目標】 歯科に関連する睡眠関連疾患に対応できるようになるために、睡眠時ブラキシズムと睡眠時無呼吸症候群を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2.睡眠時ブラキシズムの特徴を説明できる。	＊石井　優貴

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/12/11（木） 1時限 08:40～09:25	口腔内装置	3.睡眠時ブラキシズムへの対応を説明できる 4.睡眠時無呼吸症候群の特徴を説明できる。 5.睡眠時無呼吸症候群への対応を説明できる。 6.マウスガードによる歯・口腔の外傷予防について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 事後学習時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ７　特殊な装置による治療 イ　口腔内装置 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（１）　クラウンブリッジによる治療 ⑫クラウンブリッジの維持管理の目的と方法を説明できる。	＊石井　優貴
2025/12/11（木） 2時限 09:30～10:15	装着後に発生する問題とその対応	【授業の一般目標】 補綴装置装着後に発生する問題の原因，解決法について理解する。 補綴装置装着後に発生する問題の予防方法について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2.補綴装置装着後に発生する問題の原因，解決法を説明できる。 3.補綴装置装着後に発生する問題の予防方法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 事後学習時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ８　指導と管理 オ　リコールとメインテナンス ｅ　補綴装置の破損とその対応 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（１）　クラウンブリッジによる治療 ⑬クラウンブリッジ装着後のメインテナンスの重要性を説明できる。	＊石井　優貴
2025/12/12（金） 1時限 08:40～09:25	デジタルデンティストリー	【授業の一般目標】 CAD/CAMによる補綴装置の臨床的意義を理解する。 CAD/CAMによるクラウンブリッジ製作の特徴と流れを理解する。 CAD/CAMクラウン製作時の各ステップにおける注意点を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.CAD/CAMによる補綴装置の臨床的意義を説明できる。 3.CAD/CAMによるクラウンブリッジ製作の特徴と流れを説明できる。 4.CAD/CAMクラウン製作時の各ステップにおける注意点を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 事後学習時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室	＊岩﨑　正敏

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/12/12（金） 1時限 08:40～09:25	デジタルデンティストリー	【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 ウ　技工操作 ｂ　CAD/CAMによる製作	＊岩﨑　正敏
2025/12/12（金） 2時限 09:30～10:15	高齢者の歯科治療	【授業の一般目標】 適切な高齢者の口腔管理を行うために、高齢者への歯科治療、口腔管理方法、摂食・嚥下障害への対応について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2.高齢者の歯科治療について説明できる。 3.高齢者の口腔衛生管理について説明できる。 4.高齢者における摂食・嚥下障害の原因について説明できる。 5.高齢者の栄養管理について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：高齢者への歯科治療、口腔管理方法、摂食・嚥下障害への対応 事前学習時間：30分 事後学修項目：高齢者への歯科治療、口腔管理方法、摂食・嚥下障害への対応 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅴ　配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 ６　高齢者等に関連した歯科診療 ア　歯の硬組織疾患および歯周疾患への対応	＊岩﨑　正敏
2025/12/13（土） 1時限 08:40～09:25	生理学と咀嚼系の機能障害	【授業の一般目標】 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために。補綴学の顎機能に関する知識・技能および態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2.下顎運動および咬合に関わる基本的用語を挙げ、説明できる。 3.下顎運動の基準となる点、線、面を分類し、説明できる。 4.下顎位の名称を挙げ、説明できる。 5.下顎の限界運動について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：補綴学の顎機能に関する知識・技能 事前学習時間：30分 事後学修項目：補綴学の顎機能に関する知識・技能 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ６　口腔・顎顔面の機能 イ　運動 ａ　下顎位、咬合接触・咬合様式、下顎運動	＊飯田　崇
2025/12/13（土） 2時限 09:30～10:15	クラウンブリッジ領域に関する118回国家試験問題解説	【授業の一般目標】 118回国家試験問題からクラウンブリッジ製作の特徴と流れを理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.クラウンブリッジ製作の特徴と流れを理解する。 3.クラウンブリッジ補綴学領域に関連した歯科医師国家試験の出題傾向を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 事後学習時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義	＊飯田　崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/12/13（土） 2時限 09:30～10:15	クラウンブリッジ領域に関する118回国家試験問題解説	【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 ウ　技工操作 ｂ　CAD/CAMによる製作	＊飯田　崇
2025/12/15（月） 1時限 08:40～09:25	顎関節疾患	【授業の一般目標】 顎関節疾患と顎関節疾患に類似した疾患との鑑別および適切な治療方針の決定ができるようになるために，診断法および治療法を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.顎関節疾患の特徴が説明できる。 3.顎関節疾患に類似した疾患を列挙できる。 4.顎関節疾患の診断法を説明できる。 5.顎関節疾患の治療法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：配布資料の復習 事後学習時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞの有無：無 学修媒体：メディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ３　主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ　顎関節・咀嚼筋疾患の病態・診断・治療 １　顎関節症	＊飯田　崇
2025/12/15（月） 2時限 09:30～10:15	口腔顔面痛	【授業の一般目標】 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために、口腔顔面痛に関する知識・技能および態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2.非定型歯痛を説明できる。 3.神経障害性疼痛を説明できる。 4.非定型歯痛および神経障害性疼痛の診断について説明できる。 5.非定型歯痛および神経障害性疼痛の治療方法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口腔顔面痛に関する知識・技能 事前学習時間：30分 事後学修項目：口腔顔面痛に関する知識・技能 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 １　病態 カ　口腔機能障害・口腔顔面痛	＊飯田　崇
2025/12/16（火） 1時限 08:40～09:25	口腔インプラントに関する国家試験問題の解説	【授業の一般目標】 欠損補綴の回復方法を適切に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.インプラント治療の治療計画立案について説明できる。 3.インプラント治療の臨床術式について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：104～118回国家試験問題の予習 ・事前学修時間：60分 ・事後学修時間：104～118回国家試験問題の復讐 ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体:プリント	＊村上　洋

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/12/16（火） 1時限 08:40～09:25	口腔インプラントに関する国家試験問題の解説	【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ６　インプラント義歯による治療 イ　インプラント義歯の設計 ｂ　埋入計画の立案 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ６　インプラント義歯による治療 ウ　臨床操作 ａ　インプラント体埋入手術（一次手術） ｃ　印象採得 【コアカリキュラム】 Ｇ　臨床実習 Ｇ-３　基本的臨床技能 ⑧歯の欠損に対する補綴治療ができる。	＊村上　洋
2025/12/16（火） 2時限 09:30～10:15	口腔インプラントに関する国家試験問題の解説	【授業の一般目標】 欠損補綴の回復方法を適切に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.インプラント治療の治療計画立案について説明できる。 3.インプラント治療の臨床術式について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：104～118回国家試験問題の予習 ・事前学修時間：60分 ・事後学修時間：104～118回国家試験問題の復讐 ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体:プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ６　インプラント義歯による治療 イ　インプラント義歯の設計 ｂ　埋入計画の立案 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ６　インプラント義歯による治療 エ　上部構造の製作 ａ　セメント固定式上部構造の製作 ｂ　スクリュー固定式上部構造の製作 ｇ　装着 【コアカリキュラム】 Ｇ　臨床実習 Ｇ-３　基本的臨床技能 ⑧歯の欠損に対する補綴治療ができる。	＊村上　洋
2025/12/17（水） 1時限 08:40～09:25	口腔インプラント埋入手術について	【授業の一般目標】 欠損補綴の回復法を適切に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.口腔インプラント埋入手術について説明できる 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目：授業項目に挙げた内容をよくわかる口腔インプラント学から学修しておく。 準備学習時間：45分 事後学修項目：授業項目に挙げた内容をよくわかる口腔インプラント学から学修する。 事後学修時間：45分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義	＊玉木　大之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/12/17（水） 1時限 08:40～09:25	口腔インプラント埋入手術について	【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ６　インプラント義歯による治療 ウ　臨床操作 ａ　インプラント体埋入手術（一次手術） 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ６　インプラント義歯による治療 ウ　臨床操作 ｂ　二次手術	＊玉木　大之
2025/12/17（水） 2時限 09:30～10:15	口腔インプラント埋入手術について	【授業の一般目標】 欠損補綴の回復法を適切に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.口腔インプラント埋入手術について説明できる 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目：授業項目に挙げた内容をよくわかる口腔インプラント学から学修しておく。 準備学習時間：45分 事後学修項目：授業項目に挙げた内容をよくわかる口腔インプラント学から学修する。 事後学修時間：45分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ６　インプラント義歯による治療 ウ　臨床操作 ａ　インプラント体埋入手術（一次手術） 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ６　インプラント義歯による治療 ウ　臨床操作 ｂ　二次手術	＊玉木　大之
2025/12/18（木） 1時限 08:40～09:25	インプラントの上部構造・補綴治療	【授業の一般目標】 欠損補綴を適切に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.インプラント補綴の術式を説明できる。 3.インプラント上部構造の種類を説明できる。 4.インプラント治療の特徴，他の補綴治療との比較を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：授業項目に挙げた内容をよくわかる口腔インプラント学から学修しておく。 ・準備学修時間：　30　分 ・準備学修項目：講義資料 ・準備学修時間：　30　分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学習媒体：配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ６　インプラント義歯による治療 イ　インプラント義歯の設計 ａ　上部構造の設計 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ６　インプラント義歯による治療 エ　上部構造の製作	＊網野　雄太

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/12/18（木） 1時限 08:40～09:25	インプラントの上部構造・補綴治療	a　セメント固定式上部構造の製作 b　スクリュー固定式上部構造の製作 c　インプラントオーバーデンチャーの製作 d　インプラントパーシャルデンチャーの製作 【コアカリキュラム】 G　臨床実習 G-3　基本的臨床技能 ⑧歯の欠損に対する補綴治療ができる。	＊網野　雄太
2025/12/18（木） 2時限 09:30～10:15	インプラントの上部構造・補綴治療	【授業の一般目標】 欠損補綴を適切に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. インプラント補綴の術式を説明できる。 3. インプラント上部構造の種類を説明できる。 4. インプラント治療の特徴，他の補綴治療との比較を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：授業項目に挙げた内容をよくわかる口腔インプラント学から学修しておく。 ・準備学修時間：　30　分 ・準備学修項目：講義資料 ・準備学修時間：　30　分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学習媒体：配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ６　インプラント義歯による治療 イ　インプラント義歯の設計 a　上部構造の設計 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ６　インプラント義歯による治療 エ　上部構造の製作 a　セメント固定式上部構造の製作 b　スクリュー固定式上部構造の製作 c　インプラントオーバーデンチャーの製作 d　インプラントパーシャルデンチャーの製作 【コアカリキュラム】 G　臨床実習 G-3　基本的臨床技能 ⑧歯の欠損に対する補綴治療ができる。	＊網野　雄太
2025/12/20（土） 1時限 08:40～10:00	平常試験10	【授業の一般目標】 補綴・インプラント領域にかかわる知識を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：補綴・インプラント領域の講義プリントの確認 事前学修時間：3時間 事後学修項目：試験問題の復習 事後学修時間：1時間 【学修方略（ＬＳ）】 その他 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊伊藤　誠康

口腔外・放射線・麻酔・臨床検査

年次	学期	学修ユニット責任者
5年次	通年	＊山本　泰（口腔外科学）

学修ユニット学修目標（ＧＩＯ）	口腔外科学、放射線学、歯科麻酔学、有病者検査医学、医科の知識について修得する。
担当教員	＊伊藤　誠康
評価方法（ＥＶ）	演習試験、平常試験、学力評価試験、定期試験によって評価する。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/04/02（水） 1時限 08:40～09:40	画像検査の基本	【授業の一般目標】 顎顔面領域の画像診断を適切に行うために、画像検査法の基本的知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口内法エックス線検査を説明できる。 3. パノラマエックス線検査を説明できる。 4. 画像検査の選択基準を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：各種画像検査法の特徴、選択基準を事前に確認する。3年次で使用した放射線学のノートを見直し、授業時に持参すること。 ・事前学修時間：30 分 ・事後学修項目：授業で配布した資料。 ・事後学修時間：60 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学習媒体：授業スライド 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅵ　検査 ２　画像検査 オ　CT ａ　原理、特徴、適応	＊伊東　浩太郎 ＊小松　知広
2025/04/04（金） 1時限 08:40～09:40	臨床検査の基礎、検査結果の読み方	【授業の一般目標】 全身状態を有する患者の歯科治療を安全に行うために、臨床検査の基礎、検査値および検査結果の読み方を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 臨床検査の意義を述べられる。 3. 全身状態の診断に必要な検査項目と意義を述べられる。 4. 各臨床検査の基準値を知り、重要な異常値の意味を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：検査項目と基準値を事前に確認する。４年次で使用した臨床検査学のノートを見直し、授業時に持参すること。 ・事前学修時間：40分 ・事後学修項目：授業時に配布したプリントを理解する。 ・事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 401教室，パワーポイント，プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ９　検査・臨床判断の基本 ウ　基準値と結果の解釈 ｂ　生理的変動、異常値と原因	＊深津　晶
2025/07/17（木） 1時限 08:40～09:40	顔面・口腔の裂奇形	【授業の一般目標】 顔面・口腔の裂奇形を説明できるようになるために、必要な知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 裂奇形を呈する疾患について診断できるようになるために，裂奇形を理解する。	＊大峰　浩隆

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/17（木） 1時限 08:40～09:40	顔面・口腔の裂奇形	3. 裂奇形について説明できる。 4. 唇裂の分類について説明できる。 5. 唇裂による障害について説明できる。 6. 口蓋裂の分類について説明できる。 7. 口蓋裂による障害について説明できる。 8. 顔面に生じる裂奇形の分類を列記できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目と時間：口腔外科領域における先天奇形の項目の確認３０分（実践を中心に） ４年次に授業を行った範囲の再確認３０分 事後学修項目と時間：口腔外科領域における先天奇形の項目　３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 特になし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 １　口腔・顎顔面の発育を障害する先天異常の病態・特徴 ア　口腔・顎顔面の先天異常 ｂ　口唇裂・口蓋裂 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 １　口腔・顎顔面の発育を障害する先天異常の病態・特徴 ア　口腔・顎顔面の先天異常 ａ　顔面裂 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ２　主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ア　顎顔面の変形を来す疾患･病態・診断 ａ　顎変形症	＊大峰　浩隆
2025/07/18（金） 1時限 08:40～09:40	周術期管理	【授業の一般目標】 周術期管理について学習する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 周術期について説明できる。 3. 周術期における栄養管理について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目と時間：4年次栄養学、5年次歯科医学総合講義講義5の資料、授業を行った範囲の再確認60分 事後学修項目と時間：授業プリント、国家試験問題の確認をする。　90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 特になし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ８　指導と管理 エ　栄養指導 ａ　口腔機能に応じた栄養指導 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ５　顎･口腔領域の疾患の疫学と予防 イ　生活習慣指導 ｆ　栄養障害の予防	＊石井　良昌
2025/07/19（土） 1時限 08:40～09:40	軟組織に発生する嚢胞	【授業の一般目標】 軟組織に発生する嚢胞の分類と診断および治療法を理解する 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口腔顎顔面領域の軟組織に発生する嚢胞の分類について説明できる。 3. 口腔顎顔面領域の軟組織に発生する嚢胞の診断について説明できる。 4. 口腔顎顔面領域の軟組織に発生する嚢胞の治療法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：軟組織に発生する嚢胞の分類と診断および治療法 ・準備学修時間：60分 ・事後学修項目：授業時に配布した資料を用いた復習 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：マルチメディア 【学修方略（ＬＳ）】	＊芹澤　多恵

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/19（土） 1時限 08:40～09:40	軟組織に発生する嚢胞	講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 １　主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ　軟組織に発生する嚢胞の病態・診断・治療 ａ　歯原性嚢胞 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 １　主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ　軟組織に発生する嚢胞の病態・診断・治療 ｂ　非歯原性嚢胞	＊芹澤　多恵
2025/07/22（火） 1時限 08:40～09:40	顎骨の歯原性嚢胞と非歯原性嚢胞	【授業の一般目標】 顎骨に発生する嚢胞の分類と診断および治療法を理解する 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.顎骨に発生する歯原性嚢胞の分類と診断および治療法を説明できる。 3.顎骨に発生する非歯原性嚢胞について分類と診断および治療法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：口腔顎顔面領域に発生する嚢胞の分類と診断および治療法 ・準備学修時間：60分 ・事後学修項目：授業時に配布した資料を用いた復習 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：マルチメディア 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ２　主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ　顎骨に発生する嚢胞性疾患の病態・診断・治療 ａ　歯原性嚢胞 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ２　主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ　顎骨に発生する嚢胞性疾患の病態・診断・治療 ｂ　非歯原性嚢胞	＊芹澤　多恵
2025/07/23（水） 1時限 08:40～09:40	抜歯について	【授業の一般目標】 顎口腔領域の疾患を診断し治療計画が立てられるようになるために、疾患の特徴や治療法を学習する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2.普通抜歯と難抜歯の術式を説明できる。 3.抜歯の適応症と禁忌症を説明できる。 4.抜歯の偶発症を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：抜歯についての基本を教科書を用いて確認しておく。 準備学修時間：30分 事後学修項目：抜歯についての基本を教科書、授業配布資料及び国家試験過去問題集を用いて復習しておく。 事後学修時間：１時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ４　手術・周術期の管理、麻酔 ア　手術 ｆ　抜歯、口腔の小手術	＊野田　一
2025/07/24（木） 1時限 08:40～09:40	隙の分類・炎症の波及経路、顎骨の炎症（主に骨髄炎・上顎洞炎）	【授業の一般目標】 炎症の患者に対応できるようになるために、隙の分類・炎症の波及経路を理解するとともに、顎骨に生じる骨髄炎・上顎洞炎の分類、診断、病期、症状、治療の基礎について理解する。	＊鈴木　麻由

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/24（木） 1時限 08:40～09:40	隙の分類・炎症の波及経路、顎骨の炎症（主に骨髄炎・上顎洞炎）	【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.隙の分類を説明できる。 3.隙を理解し、説明することができる。 4.炎症の波及経路を説明できる。 5.骨髄炎・上顎洞炎の分類を説明できる。 6.骨髄炎・上顎洞炎を診断できる。 7.骨髄炎・上顎洞炎の病期を説明できる。 8.骨髄炎・上顎洞炎の症状を説明できる。 9.骨髄炎・上顎洞炎の治療法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：骨髄炎と上顎洞炎について。 ・事前学習項目：教科書を熟読する。 ・事前学習時間：２０分 ・事後学習項目：授業プリント、教科書の確認をする。 ・事後学習時間：５０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ２　主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ　歯槽骨・顎骨の炎症の病態・診断・治療 ｈ　顎骨周囲軟組織の炎症 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ２　主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ　歯槽骨・顎骨の炎症の病態・診断・治療 ｃ　顎骨骨髄炎 ｄ　歯性上顎洞炎 ｆ　薬剤関連顎骨疾患	＊鈴木　麻由
2025/07/26（土） 1時限 08:40～09:40	精神鎮静法	【授業の一般目標】 歯科治療中の患者管理を安全に行うために、精神鎮静法の実際について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.精神鎮静法の実際について述べることができる。 3.精神鎮静法後の帰宅許可の基準について述べることができる。 4.精神鎮静法後の患者への注意事項について述べることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学（第3版）「12. 精神鎮静法」で予習してください。 ・準備学修時間：60分。 ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間：60分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し。 学修媒体：配付資料。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ４　手術・周術期の管理、麻酔 ウ　麻酔 ｃ　精神鎮静法 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－１　診療の基本 Ｅ－１－４）　歯科医療に必要な麻酔と全身管理 Ｅ－１－４）－（２）　精神鎮静法 ④精神鎮静法の周術期の管理を説明できる。	＊辻　理子
2025/07/28（月） 1時限 08:40～09:40	全身麻酔①	【授業の一般目標】 安全な患者管理を行うために、全身麻酔法について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.全身麻酔法の適応と術前評価について説明できる。 3.麻酔前投薬の使用法と目的について説明できる。 4.全身麻酔に用いられる薬剤の種類と薬理学的作用を説明できる。 5.全身麻酔の導入、維持および覚醒について説明できる。 6.全身麻酔中の気道確保の意義と方法について説明できる。 7.全身麻酔法に必要な器具・器材について説明できる。	＊山口　秀紀

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/28（月） 1時限 08:40～09:40	全身麻酔①	【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：教科書「スタンダード全身管理・歯科麻酔学」P91～134熟読する。 ・準備学修時間：　60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 カ　麻酔法 ｂ　全身麻酔 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ４　手術・周術期の管理、麻酔 ウ　麻酔 ｂ　全身麻酔	＊山口　秀紀
2025/07/29（火） 1時限 08:40～09:40	全身麻酔②	【授業の一般目標】 安全な患者管理を行うために、全身麻酔法について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.全身麻酔中の呼吸、循環および代謝管理の方法について説明できる。 3.術後管理の意義と目的を説明できる。 4.口腔外科手術の全身麻酔と歯科患者の日帰り麻酔を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：教科書「スタンダード全身管理・歯科麻酔学」P135～170熟読する。 ・準備学修時間：　60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 カ　麻酔法 ｂ　全身麻酔 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ４　手術・周術期の管理、麻酔 ウ　麻酔 ｂ　全身麻酔	＊山口　秀紀
2025/07/30（水） 1時限 08:40～09:40	全身偶発症	【授業の一般目標】 全身偶発症に適切に対応できるようになるために、留意すべき事項とその対応について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.局所麻酔薬中毒について説明することができる。 3.局所麻酔薬中毒の原因について説明することができる。 4.局所麻酔薬中毒発症時の対応について説明することができる。 5.局所麻酔薬中毒の予防について説明することができる。 6.アナフィラキシーショックについて説明することができる。 7.アナフィラキシーショックの原因について説明することができる。 8.アナフィラキシーショック発症時の対応について説明することができる。 9.アナフィラキシーショックの予防について説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学（第3版）「15. 歯科治療における全身的偶発症」で予習してください。 ・準備学修時間：60分。 ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間：60分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し。 学修媒体：配付資料。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室	＊鈴木　正敏

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/30（水） 1時限 08:40～09:40	全身偶発症	【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ４　主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 ソ　歯科における全身的偶発症とその対応 ｃ　局所麻酔薬中毒	＊鈴木　正敏
2025/07/31（木） 1時限 08:40～09:40	全身偶発症	【授業の一般目標】 局所麻酔時の合併症に適切に対応できるようになるために、留意すべき事項とその対応について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.血管迷走神経反射および神経性ショックについて説明することができる。 3.血管迷走神経反射および神経性ショックの原因について説明することができる。 4.血管迷走神経反射および神経性ショック発症時の対応について説明することができる。 5.血管迷走神経反射および神経性ショックの予防について説明することができる。 6.過換気症候群について説明することができる。 7.過換気症候群の原因について説明することができる。 8.過換気症候群発症時の対応について説明することができる。 9.過換気症候群の予防について説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学（第3版）「15. 歯科治療における全身的偶発症」で予習してください。 ・準備学修時間：60分。 ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間：60分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し。 ・学修媒体：配付資料。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ４　主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 ソ　歯科における全身的偶発症とその対応 ａ　血管迷走神経反射	＊鈴木　正敏
2025/08/15（金） 1時限 08:40～09:40	画像検査（１）	【授業の一般目標】 顎顔面領域の画像診断を適切に行うために、画像検査法の基本的知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.口内法エックス線検査を説明できる。 3.パノラマエックス線検査を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：各種画像検査法の特徴、選択基準を事前に確認する。2・3年次で使用した放射線学のノートを見直 し、授業時に持参すること。 ・事前学修時間：30 分 ・事後学修項目：授業で配布した資料。 ・事後学修時間：60 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 学修媒体：授業スライド。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅵ　検査 ２　画像検査 エ　エックス線単純撮影 ｃ　パノラマエックス線撮影	＊伊東　浩太郎 ＊小松　知広
2025/08/16（土） 1時限 08:40～09:40	画像検査（２）	【授業の一般目標】 顎顔面領域の画像診断を適切に行うために、画像検査法の基本的知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.CT検査について説明することができる。 3.MRI検査について説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：各種画像検査法の特徴、選択基準を事前に確認する。2・3年次で使用した放射線学のノートを見直	＊伊東　浩太郎 ＊小松　知広

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/08/16（土） 1時限 08:40～09:40	画像検査（２）	し、授業時に持参すること。 ・事前学修時間：30 分 ・事後学修項目：授業で配布した資料。 ・事後学修時間：60 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 学修媒体：授業スライド。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅵ　検査 ２　画像検査 カ　MRI ａ　原理、特徴、適応	＊伊東　浩太郎 ＊小松　知広
2025/08/18（月） 1時限 08:40～09:40	画像検査（３）	【授業の一般目標】 顎顔面領域の画像診断を適切に行うために、画像検査法の基本的知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.核医学検査について説明することができる。 3.超音波検査について説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：各種画像検査法の特徴、選択基準を事前に確認する。2・3年次で使用した放射線学のノートを見直 し、授業時に持参すること。 ・事前学修時間：30 分 ・事後学修項目：授業で配布した資料。 ・事後学修時間：60 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 学修媒体：授業スライド。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅵ　検査 ２　画像検査 キ　核医学検査 ａ　原理、特徴、順応	＊伊東　浩太郎 ＊小松　知広
2025/08/21（木） 1時限 08:40～09:40	有病者の検査項目について	【授業の一般目標】 全身状態を有する患者の歯科治療を安全に行うために、臨床検査の基礎、検査値および検査結果の読み方を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.全身状態の診断に必要な検査項目と意義を述べられる。 3.各臨床検査の基準値を知り、異常値を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：検査項目と基準値を事前に確認する。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業で配布したプリントを理解する。 ・事後学修時間：約1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ４　主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 サ　赤血球系疾患・白血球系疾患・出血性素因の診断と患者に対する観血的治療、歯科治療時の留意点	＊福本　雅彦 ＊矢口　学
2025/08/23（土） 1時限 08:40～10:00	平常試験5	【授業の一般目標】 放射線・口腔外科・麻酔・臨床検査・医科領域の知識を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.放射線・口腔外科・麻酔・臨床検査・医科領域の知識を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：放射線・口腔外科・麻酔・臨床検査・医科領域の講義プリントの確認 事前学修時間：3時間	＊伊藤　誠康

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/08/23（土） 1時限 08:40～10:00	平常試験5	事後学修項目：試験問題の復習 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊伊藤　誠康
2025/12/23（火） 1時限 08:40～09:25	悪性腫瘍の診断と治療①	【授業の一般目標】 顎口腔領域に発生する悪性腫瘍の分類、特徴および治療について説明できるようになるために知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2.悪性腫瘍の分類ができる。 3.悪性腫瘍について説明できる。 4.悪性腫瘍の診断ができる。 5.悪性腫瘍の治療法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目:指定教科書にて悪性腫瘍の分類・診断・治療法について熟読する 準備学修時間:30分 事後学修項目:講義で習得した内容を踏まえ、再度指定教科書を熟読しなおし知識を深める 事後学修時間:1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 １　主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 カ　腫瘍・腫瘍類似疾患に対する診断・治療 ａ　TNM分類、病期分類	＊山本　泰
2025/12/23（火） 2時限 09:30～10:15	悪性腫瘍の診断と治療②	【授業の一般目標】 顎口腔領域に発生する悪性腫瘍の分類、特徴および治療について説明できるようになるために知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2.悪性腫瘍の分類が説明できる。 3.悪性腫瘍について説明できる。 4.悪性腫瘍の診断ができる。 5.悪性腫瘍の治療法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目:指定教科書にて悪性腫瘍の分類・診断・治療法について熟読する 準備学修時間:30分 事後学修項目:講義で習得した内容を踏まえ、再度指定教科書を熟読しなおし知識を深める 事後学修時間:1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 １　主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 カ　腫瘍・腫瘍類似疾患に対する診断・治療 ｂ　外科療法	＊山本　泰
2025/12/24（水） 1時限 08:40～09:25	炎症性疾患について	【授業の一般目標】 顎口腔領域の疾患を診断し治療計画が立てられるようになるために、疾患の特徴や治療法を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。	＊鈴木　麻由

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/12/24（水） 1時限 08:40～09:25	炎症性疾患について	2.顎骨の炎症について説明できる。 3.軟組織に炎症について説明できる。 4.炎症の波及について説明できる。 5.膿瘍について説明できる。 6.蜂窩織炎について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：4年で行なった炎症のプリントを参照 ・準備学修時間：６０分 ・事後学習項目：炎症について４年次に使用した教科書プリントを合わせて再度熟読する。 ・事後学習時間：２時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 １　主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ　軟組織の炎症の病態・診断・治療 ａ　歯冠周囲炎〈智歯周囲炎〉 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 １　主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ　軟組織の炎症の病態・診断・治療 ｂ　口腔・頸部軟組織の炎症 ｃ　所属リンパ節〈領域リンパ節〉の炎症 ｄ　歯性上顎洞炎 ２　主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ　歯槽骨・顎骨の炎症の病態・診断・治療 ａ　歯槽骨炎、顎骨炎 ｈ　顎骨周囲軟組織の炎症	＊鈴木　麻由
2025/12/24（水） 2時限 09:30～10:15	顎骨骨髄炎について	【授業の一般目標】 顎口腔領域の疾患を診断し治療計画が立てられるようになるために、疾患の特徴や治療法を学習する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.ビスホスホネートの適応症を説明できる。 3.ビスホスホネートの作用機序を説明できる。 4.歯科治療とビスホスホネートの関連を説明できる。 5.ビスホスホネート服用患者の外科処置について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：薬物と顎骨骨髄炎について教科書で学習する。 ・準備学修時間：３０分 ・事後学習項目：薬物と顎骨骨髄炎について教科書・授業プリント及び国家試験過去問集で学習する。 ・事後学習時間：１時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ２　主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ　歯槽骨・顎骨の炎症の病態・診断・治療 ａ　歯槽骨炎、顎骨炎 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ２　主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ　歯槽骨・顎骨の炎症の病態・診断・治療 ｂ　顎骨骨膜炎 ｃ　顎骨骨髄炎 ｅ　放射線{性}骨壊死、放射線骨髄炎 ｆ　薬剤関連顎骨疾患 ｇ　外歯瘻、内歯瘻 ｈ　顎骨周囲軟組織の炎症	＊鈴木　麻由
2025/12/25（木） 1時限 08:40～09:25	中顔面骨折について	【授業の一般目標】 顎口腔領域の疾患を診断し治療計画が立てられるようになるために、疾患の特徴や治療法を学修する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.「臨床経験に基づき以下の内容を教授する」 2.顎骨骨折について説明できる。 3.中顔面骨折の種類と症状を説明できる。	＊野田　一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/12/25（木） 1時限 08:40～09:25	中顔面骨折について	4.上顎骨骨折の分類と症状および治療法について説明できる。 5.頬骨および頬骨弓骨折の症状と治療法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：上顎骨骨折について教科書で学修する 準備学修時間：30分 事後学修項目：上顎骨骨折について教科書、授業プリント及び国家試験過去問題集で学修する 事後学修時間：１時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ２　主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ　歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の病態・診断・治療 ｄ　上顎骨骨折	＊野田　一
2025/12/25（木） 2時限 09:30～10:15	下顎骨骨折について	【授業の一般目標】 顎口腔領域の疾患を診断し治療計画が立てられるようになるために、疾患の特徴や治療法を学修する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.「臨床経験に基づき以下の内容を教授する」 2.顎骨骨折について説明できる。 3.下顎骨の骨折片の偏位について説明できる。 4.下顎骨骨折の治療法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：下顎骨骨折について教科書で学修する 準備学修時間：30分 事後学修項目：下顎骨骨折について教科書、講義プリント及び国家試験過去問題集で学修する 事後学修時間：１時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ２　主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ　歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の病態・診断・治療 ｃ　下顎骨骨折	＊野田　一
2025/12/26（金） 1時限 08:40～09:25	ウイルス疾患について	【授業の一般目標】 顎口腔領域の疾患を診断し治療計画が立てられるようになるために、疾患の特徴や治療法を学修する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.口腔に関連するウイルスの種類を列記できる。 3.口腔に関連するウイルスの特徴を説明できる。 4.ウイルス疾患の治療法と対処法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：口腔に関連するウイルスについて教科書を読んで予習すること。 準備学修時間：60分 事後学修項目：口腔に関連するウイルスについて教科書、配布資料、国家試験過去問題集を用いて復習すること。 事後学修時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ４　主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 イ　口腔症状を呈するウイルス感染症 ｅ　単純疱疹 【国家試験出題基準（副）】	＊芹澤　多恵

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/12/26（金） 1時限 08:40～09:25	ウイルス疾患について	歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ４　主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 イ　口腔症状を呈するウイルス感染症 ａ　ヒト免疫不全ウイルス〈HIV〉感染症 ｂ　風疹 ｃ　麻疹 ｄ　水痘・帯状疱疹 ｆ　手足口病 ｇ　ヘルパンギーナ	＊芹澤　多恵
2025/12/26（金） 2時限 09:30～10:15	粘膜疾患について	【授業の一般目標】 口腔粘膜疾患の鑑別をできるようになるために、口腔粘膜疾患の特徴を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.正常粘膜を理解する。 3.口内炎について分類と診断および治療法を説明できる。 4.アフタおよびアフタ病変について分類と診断および治療法を説明できる。 5.水疱性疾患について分類と診断および治療法を説明できる。 6.紅斑あるいはびらんを主徴とする疾患について分類と診断および治療法を説明できる。 7.口腔潜在的悪性疾患について分類と診断および治療法を説明できる。 8.その他の粘膜疾患について分類と診断および治療法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：3年生で学習した病理学及び口腔病理学の復習 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：該当範囲の関連書籍の熟読 ・事後学修時間：120分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学習媒体：配布資料（プリント、pdfファイル） 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ　病因、病態 ２　口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア　主な病因・病態 ｃ　口腔粘膜の疾患	＊芹澤　多恵
2025/12/27（土） 1時限 08:40～10:15	演習試験11	【授業の一般目標】 放射線・口腔外科・麻酔・臨床検査・医科領域の国家試験過去問を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.放射線・口腔外科・麻酔・臨床検査・医科領域の国家試験過去問を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：放射線・口腔外科・麻酔・臨床検査・医科領域の国家試験過去問の学修 事前学修時間：3時間 事後学修項目：試験問題の復習 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 その他 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊伊藤　誠康
2026/01/09（金） 1時限 08:40～09:25	良性腫瘍の診断と治療	【授業の一般目標】 顎口腔領域に発生する腫瘍の分類、特徴および治療について説明できるようになるために知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2.腫瘍の分類ができる。 3.腫瘍について説明できる。 4.腫瘍の診断ができる。 5.腫瘍の治療法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目:腫瘍の分類・診断・治療法を教科書を用いて学ぶ。 事前学修時間:30分 事後学修項目：授業での配布資料と教科書を照らし合わせた復習。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】	＊野田　一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/01/09（金） 1時限 08:40～09:25	良性腫瘍の診断と治療	アクティブラーニング：無し 学修媒体：教科書、配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ２　主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 カ　顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 ａ　歯原性良性腫瘍 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－４）　口腔・顎顔面領域の疾患 Ｅ－２－４）－（６）　腫瘍及び腫瘍類似疾患 ②口腔・顎顔面領域に発生する良性腫瘍の一般的な症状、診断法（細胞診、組織診、画像診断）及び治療法を説明できる。	＊野田　一
2026/01/09（金） 2時限 09:30～10:15	神経疾患	【授業の一般目標】 神経疾患について理解する 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.口腔顔面領域の神経の分布と機能について説明できる。 3.疼痛、麻痺、けいれんの病態について説明できる。 4.末梢神経損傷の評価と診断方法について説明できる。 5.疼痛を認める疾患について列挙し、特徴と治療法について説明できる。 6.麻痺を認める疾患について列挙し、特徴と治療法について説明できる。 7.けいれんを呈する疾患について列挙し、特徴と治療法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：口腔顔面領域の神経の分布と機能 準備学修時間：３０分 事後学修時間：配布資料確認３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ６　主要な疾患と障害の病因・病態 イ　口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 ｏ　神経疾患 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ３　主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療 イ　神経・運動器疾患の病態・診断・治療 ａ　三叉神経痛 ｂ　三叉神経麻痺、三叉神経ニューロパチー ｃ　顔面神経麻痺 ｄ　舌咽神経痛 ｅ　舌下神経麻痺 ｆ　非歯原性歯痛 ｈ　帯状疱疹後神経痛 ｉ　顔面けいれん ｊ　ジストニア ｋ　ジスキネジア 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－４）　口腔・顎顔面領域の疾患 Ｅ－２－４）－（９）　神経疾患 ①口腔顔面痛を説明できる。 ②三叉神経痛の原因、症状及び治療法を説明できる。 ③顔面神経麻痺の原因、症状及び治療法を説明できる。 ④三叉神経麻痺（感覚麻痺、運動麻痺）の原因、症状及び治療法を説明できる。	＊野田　一
2026/01/10（土） 1時限 08:40～09:25	OPEの解剖について	【授業の一般目標】 口腔外科手術に関係する臨床解剖や合併症を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.口腔外科手術の際に注意すべき解剖について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口腔外科学４年次の学習内容、解剖学の頭頸部分野の講義資料 事前準備学修時間：約30分	＊飯塚　普子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/01/10（土） 1時限 08:40～09:25	OPEの解剖について	事後学修項目：授業内容の復習 事後準備学修時間：約60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体；プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 １　主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 カ　腫瘍・腫瘍類似疾患に対する診断・治療 ｂ　外科療法	＊飯塚　普子
2026/01/10（土） 2時限 09:30～10:15	OPEの解剖について	【授業の一般目標】 口腔外科手術に関係する臨床解剖や合併症を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.口腔外科手術の際に注意すべき解剖について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口腔外科学４年次の学習内容、解剖学の頭頸部分野の講義資料 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：授業内容の復習 事後準備学修時間：約60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体；プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 １　主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 カ　腫瘍・腫瘍類似疾患に対する診断・治療 ｂ　外科療法	＊飯塚　普子
2026/01/13（火） 1時限 08:40～09:25	1次救命処置	【授業の一般目標】 1次救命処置について理解することができる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.1次救命処置について説明することができる。 3.2次救命処置について説明することができる。 4.心停止時の対応について説明することができる。 5.気道異物除去について理解することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：スタンダード歯科麻酔学で学修する。 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １０　初期救急 イ　救急処置 ａ　一次救命処置〈BLS〉	＊竹森　真実
2026/01/13（火） 2時限 09:30～10:15	呼吸器疾患患者の歯科治療時の注意点について	【授業の一般目標】 全身疾患（呼吸器疾患）患者に適切に対応できるようになるために、全身管理に留意すべき事項について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.呼吸機能検査について説明することができる。 3.閉塞性肺疾患について説明することができる。 4.拘束性肺疾患について説明することができる。 5.起座呼吸について説明することができる。 6.呼吸器疾患患者の歯科治療時の注意点について説明することができる。	＊竹森　真実

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/01/13（火） 2時限 09:30～10:15	呼吸器疾患患者の歯科治療時の注意点について	7.酸素療法について説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学　第４版. 事前学修時間：30分。 事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 事後学修時間：60分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し。 学修媒体：授業スライド。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ４　主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 ス　全身管理に留意すべき全身疾患・状態 ｂ　循環器・脳血管疾患	＊竹森　真実
2026/01/14（水） 1時限 08:40～09:25	循環器疾患患者の全身管理について①	【授業の一般目標】 全身疾患（高血圧および虚血性心疾患）患者に適切に対応できるように、全身管理に留意すべき事項について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.高血圧症の病態について説明することができる。 3.高血圧症のステージ分類を説明することができる。 4.高血圧患者の歯科治療時に注意することを説明できる。 5.狭心症の分類を説明することができる。 6.血圧上昇時の対応について説明することができる。 7.狭心症および心筋梗塞の病態を説明することができる。 8.狭心症および心筋梗塞の心電図の特徴を説明することができる。 9.狭心症および心筋梗塞発作時の対応について説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：スタンダード　全身管理・歯科麻酔学　第4版　「4. 管理上問題となる疾患」A　循環器系疾患について学修しておく。 ・準備学修時間：60分 ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中の内容。 ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 ス　患者管理の基本 ｂ　全身管理に留意すべき疾患・対象（皮膚・粘膜疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、消化器疾患、血液・造血器疾患、腎・泌尿器・生殖器疾患、精神疾患、神経・運動器疾患、内分泌・代謝・栄養疾患、免疫・アレルギー性疾患、感染症、小児疾患など）	＊卯田　昭夫
2026/01/14（水） 2時限 09:30～10:15	循環器疾患患者の全身管理について②	【授業の一般目標】 全身疾患（心臓弁膜症、心筋症、不整脈および先天性心疾患）患者に適切に対応できるように、全身管理に留意すべき事項について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.心臓弁膜症の病態について説明することができる。 3.心臓弁膜症患者の歯科治療時に注意することを説明できる。 4.感染性心内膜炎の危険がある心疾患を説明できる。 5.感染性心内膜炎の危険がある歯科処置を説明できる。 6.感染性心内膜炎の予防法を説明できる。 7.心不全の症状について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード　全身管理・歯科麻酔学　第4版　「4. 管理上問題となる疾患」A　循環器系疾患について学修しておく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中の内容。 ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室	＊卯田　昭夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/01/14（水） 2時限 09:30～10:15	循環器疾患患者の全身管理について②	【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 ス　患者管理の基本 ｂ　全身管理に留意すべき疾患・対象（皮膚・粘膜疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、消化器疾患、血液・造血器疾患、腎・泌尿器・生殖器疾患、精神疾患、神経・運動器疾患、内分泌・代謝・栄養疾患、免疫・アレルギー性疾患、感染症、小児疾患など）	＊卯田　昭夫
2026/01/15（木） 1時限 08:40～09:25	腎疾患および肝疾患患者の歯科治療時の注意点について	【授業の一般目標】 全身疾患（肝疾患および腎疾患）患者に適切に対応できるようになるために、全身管理に留意すべき事項について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.腎臓機能低下について説明することができる。 3.透析患者について説明することができる。 4.腎機能低下患者の与薬時の注意点について説明することができる。 5.肝機能障害患者について説明することができる。 6.肝機能障害患者の歯科治療時の留意点について説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学　第３版. 事前学修時間：30分。 事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 事後学修時間：60分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し。 学修媒体：授業スライド。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅴ　配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 ２　治療の基礎 エ　全身管理に留意すべき疾患 ｆ　腎疾患 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅴ　配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 ２　治療の基礎 エ　全身管理に留意すべき疾患 ｄ　消化器疾患	＊吉崎　里香 ＊山口　秀紀
2026/01/15（木） 2時限 09:30～10:15	全身の症徴	【授業の一般目標】 全身の症徴について述べることができる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.全身の症徴について説明することができる。 3.全身倦怠感・発熱について説明することができる。 4.脱水について説明することができる。 5.浮腫について説明することができる。 6.呼吸困難・チアノーゼについて説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：スタンダード歯科麻酔学で学修する。 ・準備学修時間：　　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ７　主要症候 ア　全身の症候 ａ　発熱、全身倦怠感、体重減少・増加、ショック、意識障害、失神、脱水、浮腫、けいれん、めまい、不整脈、血圧上昇・低下、黄疸、呼吸困難、チアノーゼ、頭痛、動悸、息切れ、胸痛、睡眠障害、嚥下障害、誤嚥、悪心、嘔吐、下痢	＊吉崎　里香 ＊山口　秀紀
2026/01/16（金） 1時限 08:40～09:25	内分泌・代謝疾患患者の全身管理について	【授業の一般目標】 糖尿病・甲状腺機能疾患患者の歯科治療時の留意点について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づいて以下を教授する。	＊辻　理子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/01/16（金） 1時限 08:40～09:25	内分泌・代謝疾患患者の全身管理について	2. 糖尿病患者の病態について説明することができる。 3. 糖尿病患者の歯科治療上の注意点を説明することができる。 4. 低血糖時の対応について説明することができる。 5. 甲状腺機能亢進症および低下症について説明することができる。 6. 甲状腺機能疾患患者の歯科治療上の注意点を説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：スタンダード歯科麻酔学で学修する ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅴ　配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 ２　治療の基礎 エ　全身管理に留意すべき疾患 ｉ　内分泌・代謝・栄養疾患	＊辻　理子
2026/01/16（金） 2時限 09:30～10:15	神経・筋疾患患者の歯科治療上の注意点について	【授業の一般目標】 全身疾患（神経・筋疾患）患者に適切に対応できるようになるために、全身管理に留意すべき事項について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 神経・筋疾患について説明することができる。 3. Parkinson病について説明することができる。 4. Parkinson病患者の歯科治療上の注意点について説明することができる。 5. 重症筋無力症について説明することができる。 6. 重症筋無力症患者の歯科治療上の注意点について説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学　第４版. 事前学修時間：30分。 事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 事後学修時間：60分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し。 学修媒体：授業スライド。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅳ　主要症候 １　全身の症候 ク　神経系、運動器 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ４　主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 ス　全身管理に留意すべき全身疾患・状態 ｇ　神経・運動器疾患	＊山口　秀紀
2026/01/17（土） 1時限 08:40～09:25	歯科臨床に必要な心電図の読み方	【授業の一般目標】 安全で快適な患者管理を行うために、歯科医師が理解すべき心電図の基礎および不整脈について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 心電図検査について説明することができる。 3. 心臓の解剖学的電気現象について説明することができる。 4. 心電図波形について説明することができる。 5. 上室性期外収縮について説明することができる。 6. 上室性期外収縮発症時に投与すべき薬物について説明することができる。 7. 心室性期外収縮について説明することができる。 8. 心室性期外収縮発症時に投与すべき薬物について説明することができる。 9. 注射法について説明することができる。 10. 静脈注射について説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学（第３版）、「４.管理上問題となる疾患」で予習してください。 ・準備学修時間：45分。 ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間：60分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し。	＊下坂　典立

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/01/17（土） 1時限 08:40～09:25	歯科臨床に必要な心電図の読み方	学修媒体：配付資料。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ４　主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 ス　全身管理に留意すべき全身疾患・状態 ｂ　循環器・脳血管疾患	＊下坂　典立
2026/01/17（土） 2時限 09:30～10:15	歯科でも留意すべき不整脈について	【授業の一般目標】 安全で快適な患者管理を行うために、歯科医師が理解すべき心電図の基礎および不整脈について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.心房細動について説明することができる。 3.房室ブロックについて説明することができる。 4.除細動について説明することができる。 5.除細動が必要な不整脈について説明することができる。 6.注射法について説明することができる。 7.静脈注射について説明することができる。 8.慢性疼痛について説明することができる。 9.ペインクリニックについて説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学（第３版）、「4.管理上問題となる疾患」で予習してください。 ・準備学修時間：45分。 ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間：60分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し。 学修媒体：配付資料。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ４　主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 ス　全身管理に留意すべき全身疾患・状態 ｂ　循環器・脳血管疾患	＊下坂　典立
2026/01/19（月） 1時限 08:40～09:25	感染症	【授業の一般目標】 有病者の歯科治療を安全に行うために、感染症の診断に必要な検査項目、疾患の原因および症状について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.感染症の定義について述べることができる。 3.感染症を調べるための検査項目を述べることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：４年時の講義プリント 準備学修時間：30分 事後学修項目：講義資料 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ４　主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 サ　赤血球系疾患・白血球系疾患・出血性素因の診断と患者に対する観血的治療、歯科治療時の留意点	＊續橋　治
2026/01/19（月） 2時限 09:30～10:15	感染症	【授業の一般目標】 有病者の歯科治療を安全に行うために、感染症の診断に必要な検査項目、疾患の原因および症状について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.感染症の原因と臨床症状を述べることができる。 3.感染症に罹患している患者への歯科治療を行う際の注意点を述べることができる。	＊續橋　治

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/01/19（月） 2時限 09:30～10:15	感染症	【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：４年時の講義プリント 準備学修時間：30分 事後学修項目：講義資料 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ４　主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 サ　赤血球系疾患・白血球系疾患・出血性素因の診断と患者に対する観血的治療、歯科治療時の留意点	＊續橋　治
2026/01/20（火） 1時限 08:40～09:25	顎骨に発生する嚢胞・腫瘍および腫瘍類似疾患の画像診断	【授業の一般目標】 顎骨に発生する嚢胞・腫瘍および腫瘍類似疾患の画像診断について説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.顎骨に発生する嚢胞・腫瘍および腫瘍類似疾患を列挙できる。 3.顎骨に発生する嚢胞・腫瘍および腫瘍類似疾患の画像検査法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：顎骨に発生する嚢胞・腫瘍および腫瘍類似疾患の特徴 準備学修時間：６０分 事後学修項目：顎骨に発生する嚢胞・腫瘍および腫瘍類似疾患の画像診断 事後学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有 プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅵ　検査 ２　画像検査 コ　画像の鑑別診断 ａ　正常画像と主要疾患画像	＊伊東　浩太郎 ＊小松　知広
2026/01/20（火） 2時限 09:30～10:15	軟組織に発生する嚢胞性疾患・腫瘍および腫瘍類似疾患の画像診断	【授業の一般目標】 軟組織に発生する嚢胞性疾患・腫瘍および腫瘍類似疾患の画像診断について説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.軟組織に発生する嚢胞性疾患・腫瘍および腫瘍類似疾患について説明できる。 3.軟組織に発生する嚢胞性疾患・腫瘍および腫瘍類似疾患の画像診断について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：軟組織に発生する嚢胞性疾患・腫瘍および腫瘍類似疾患の特徴 準備学修時間：６０分 事後学修項目：軟組織に発生する嚢胞性疾患・腫瘍および腫瘍類似疾患の画像診断 事後学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有 プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅵ　検査 ２　画像検査 コ　画像の鑑別診断 ａ　正常画像と主要疾患画像	＊伊東　浩太郎 ＊小松　知広
2026/01/22（木） 1時限 08:40～09:25	歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の画像診断	【授業の一般目標】 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の画像診断を行えるようにする。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.骨折を定義を説明できる。	＊伊東　浩太郎 ＊小松　知広

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/01/22（木） 1時限 08:40～09:25	歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の画像診断	3.骨折の診断に必要な検査法を説明できる。 4.歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の骨折について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の特徴 準備学修時間：６０分 事後学修項目：歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の画像診断 事後学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有 プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ２　主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ　歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の病態・診断・治療 ｃ　下顎骨骨折	＊伊東　浩太郎 ＊小松　知広
2026/01/22（木） 2時限 09:30～10:15	歯槽骨・顎骨の炎症の画像診断	【授業の一般目標】 歯槽骨・顎骨の炎症の画像診断を行える。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯槽骨・顎骨の炎症について述べることができる。 3.歯槽骨・顎骨の炎症を診断するための検査法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：歯槽骨・顎骨の炎症の特徴 準備学修時間：６０分 事後学修項目：歯槽骨・顎骨の炎症の画像診断 事後学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有 プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ２　主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ　歯槽骨・顎骨の炎症の病態・診断・治療 ｃ　顎骨骨髄炎	＊伊東　浩太郎 ＊小松　知広
2026/01/23（金） 1時限 08:40～09:25	歯科におけるInterventional Radiology	【授業の一般目標】 歯科におけるInterventional Radiologyの特徴について説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.Interventional Radiologyの適応について理解できる。 3.Interventional Radiologyの特徴について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：Interventional Radiologyの適応 準備学修時間：６０分 事後学修項目：Interventional Radiologyの特徴 事後学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有 プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ７　放射線療法 イ　口腔領域の放射線療法 ｂ　種類、適応、特徴	＊伊東　浩太郎 ＊小松　知広
2026/01/23（金） 2時限 09:30～10:15	放射線治療-腫瘍に対する放射線の作用と概念および治療機器-	【授業の一般目標】 放射線治療-腫瘍に対する放射線の作用と概念および治療機器について説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。	＊伊東　浩太郎 ＊小松　知広

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/01/23（金） 2時限 09:30～10:15	放射線治療-腫瘍に対する放射線の作用と概念および治療機器-	2. 腫瘍に対する放射線の作用を説明できる。 3. 放射線治療における治療機器について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：腫瘍に対する放射線の作用と概念 準備学修時間：６０分 事後学修項目：放射線治療における治療機器 事後学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有 プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ７　放射線療法 イ　口腔領域の放射線療法 ａ　治療の意義と目的	＊伊東　浩太郎 ＊小松　知広
2026/01/24（土） 1時限 08:40～09:25	出血性素因	【授業の一般目標】 出血性素因について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 出血性素因の定義を述べられる。 3. 出血性素因の原因を述べられる。 4. 止血の仕組みを述べられる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：４年次講義プリント 準備学修時間：30分 事後学修項目：講義プリント 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ４　主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 サ　赤血球系疾患・白血球系疾患・出血性素因の診断と患者に対する観血的治療、歯科治療時の留意点	＊田中　陽子
2026/01/24（土） 2時限 09:30～10:15	出血性素因	【授業の一般目標】 出血性素因について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 出血性素因を調べるための検査項目を述べられる。 3. 出血性素因を有する患者の歯科治療を行う際の注意点を述べられる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：４年次講義プリント 準備学修時間：30分 事後学修項目：講義プリント 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ４　主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 サ　赤血球系疾患・白血球系疾患・出血性素因の診断と患者に対する観血的治療、歯科治療時の留意点	＊田中　陽子
2026/01/26（月） 1時限 08:40～09:25	顎骨に発生する嚢胞・腫瘍および腫瘍類似疾患の画像診断	【授業の一般目標】 顎骨に発生する嚢胞・腫瘍および腫瘍類似疾患の画像診断について説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 顎骨に発生する嚢胞・腫瘍および腫瘍類似疾患を列挙できる。 3. 顎骨に発生する嚢胞・腫瘍および腫瘍類似疾患の画像検査法について説明で	＊平原　尚久

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/01/26（月） 1時限 08:40～09:25	顎骨に発生する嚢胞・腫瘍および腫瘍類似疾患の画像診断	きる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：顎骨に発生する嚢胞・腫瘍および腫瘍類似疾患の特徴 準備学修時間：６０分 事後学修項目：顎骨に発生する嚢胞・腫瘍および腫瘍類似疾患の画像診断 事後学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有 プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅵ　検査 ２　画像検査 コ　画像の鑑別診断 ａ　正常画像と主要疾患画像	＊平原　尚久
2026/01/26（月） 2時限 09:30～10:15	軟組織に発生する嚢胞性疾患・腫瘍および腫瘍類似疾患の画像診断	【授業の一般目標】 軟組織に発生する嚢胞性疾患・腫瘍および腫瘍類似疾患の画像診断について説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.軟組織に発生する嚢胞性疾患・腫瘍および腫瘍類似疾患について説明できる。 3.軟組織に発生する嚢胞性疾患・腫瘍および腫瘍類似疾患の画像診断について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：軟組織に発生する嚢胞性疾患・腫瘍および腫瘍類似疾患の特徴 準備学修時間：６０分 事後学修項目：軟組織に発生する嚢胞性疾患・腫瘍および腫瘍類似疾患の画像診断 事後学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有 プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅵ　検査 ２　画像検査 コ　画像の鑑別診断 ａ　正常画像と主要疾患画像	＊平原　尚久
2026/01/29（木） 1時限 08:40～09:25	貧血	【授業の一般目標】 貧血について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.貧血の定義が述べられる。 3.貧血を調べるための検査項目およびその意義を述べられる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：４年次講義プリント 準備学修時間：30分 事後学修項目：講義プリント 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ４　主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 サ　赤血球系疾患・白血球系疾患・出血性素因の診断と患者に対する観血的治療、歯科治療時の留意点	＊深津　晶
2026/01/29（木） 2時限 09:30～10:15	貧血	【授業の一般目標】 貧血について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。	＊深津　晶

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/01/29（木） 2時限 09:30～10:15	貧血	2.貧血に伴う特徴的な症状を述べられる。 3.貧血を有する患者の歯科治療を行う際の注意点を述べられる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：４年次講義プリント 準備学修時間：30分 事後学修項目：講義プリント 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ４　主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 サ　赤血球系疾患・白血球系疾患・出血性素因の診断と患者に対する観血的治療、歯科治療時の留意点	＊深津　晶
2026/02/02（月） 1時限 08:40～10:10	平常試験11	【授業の一般目標】 放射線、口腔外科、麻酔、臨床検査、医科領域にかかわる知識を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.放射線、口腔外科、麻酔、臨床検査、医科領域にかかわる知識を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：放射線、口腔外科、麻酔、臨床検査、医科領域の講義プリントの確認 事前学修時間：3時間 事後学修項目：試験問題の復習 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 その他 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊伊藤　誠康

衛生領域

年次	学期	学修ユニット責任者
5年次	通年	＊鈴木　到（衛生学）

学修ユニット学修目標（ＧＩＯ）	衛生学、歯科英語の知識について修得する。
担当教員	＊伊藤　誠康
評価方法（ＥＶ）	演習試験、平常試験、学力評価試験、定期試験によって評価する。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/08/26（火） 1時限 08:40～09:40	医の倫理	【授業の一般目標】 歯科医師として必要な医の倫理，自己決定権，患者の権利と義務を学び，医療人として社会における役割と責任について理解し，修得できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. ニュルンベルグ綱領、ヘルシンキ宣言を説明できる。 2. ジュネーブ宣言，リスボン宣言，ヒポクラテスの誓いを説明できる。 3. インフォームドコンセント、セカンドオピニオンを説明できる。 4. 患者の権利と義務、自己決定権を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：医の倫理，患者の権利に関する声明 事前学修時間：30分 事後学修項目：医の倫理，患者の権利に関する声明 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニンング無・教科書、資料（国家試験過去問） 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １　医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム ア　医の倫理 ｂ　医療者の倫理（ニュルンベルグ綱領、ジュネーブ宣言など） 【コアカリキュラム】 Ａ　歯科医師として求められる基本的な資質・能力 Ａ−１　プロフェッショナリズム Ａ−１−１）　医の倫理と生命倫理 ①医の倫理と生命倫理の歴史経過と諸問題を概説できる。 ②医の倫理に関する規範・国際規範（ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言等）を概説できる。 ③臨床（生と死に関わる問題を含む）に関する倫理的問題を説明できる。 ④医学研究に関する倫理的問題を説明できる。 ⑤情報倫理に関わる問題を説明できる。 ⑥研究を、医学・医療の発展や患者の利益の増進を目的として行うよう配慮できる。 Ａ−１−２）　患者中心の視点 ①患者の権利を説明できる。 ②患者の自己決定権を説明できる。 ③患者が自己決定できない場合の対応を説明できる。 ④インフォームド・コンセントの意義と重要性を説明できる。	＊有川　量崇
2025/08/27（水） 1時限 08:40～09:40	予防と健康管理増進（地域保健）	【授業の一般目標】 適切な健康管理を行うために、地域保健を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 地域保健法について説明できる。 2. 健康増進法について説明できる。 3. 歯科口腔保健の推進に関する法律について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：地域保健の定義と関連用語 ・準備学修時間：120分 ・事後学修項目：地域保健の意義と意味 ・事後学修時間：180分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：　無 学修媒体：　教科書、配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】	田口　千恵子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/08/27（水） 1時限 08:40～09:40	予防と健康管理増進（地域保健）	必修の基本的事項 ３　予防と健康管理・増進 イ　地域保健にかかる法規と制度 ａ　地域保健法、健康増進法、歯科口腔保健の推進に関する法律	田口　千恵子
2025/08/28（木） 1時限 08:40～09:40	予防と健康管理増進（医療統計）	【授業の一般目標】 歯科疾患の予防・管理を行うために必要な，医療統計学について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.疫学の定義と目的について述べることができる。 2.スクリーニング検査について述べることができる。 3.敏感度・特異度について理解できる。 4.記述疫学、観察疫学（コホート研究・患者対照研究）、介入疫学について理解できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯科疾患の統計指標 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：歯科疾患の統計指標 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニンング無・教科書、資料（国家試験過去問） 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ６　疫学と調査 ア　疫学とその応用 ａ　疫学の概念 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ６　疫学と調査 ア　疫学とその応用 ｂ　スクリーニング検査 ｅ　観察研究、介入研究 ｃ　統計解析 【コアカリキュラム】 Ｂ　社会と歯学 Ｂ－４　疫学・保健医療統計 Ｂ－４－１）　歯科疾患の疫学 ①疫学と根拠に基づいた医療<EBM>の概念を説明できる。 ②スクリーニング検査を説明できる。 ③歯科疾患の疫学的指標を説明できる。	＊鈴木　到
2025/08/29（金） 1時限 08:40～09:25	演習試験6	【授業の一般目標】 衛生領域の知識を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：衛生領域の国家試験過去問の学修 事前学修時間：3時間 事後学修項目：試験問題の復習 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊伊藤　誠康
2025/08/30（土） 1時限 08:40～09:40	医療法	【授業の一般目標】 歯科医療を提供するために基本となる医療法について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.歯科医師に課せられた社会的責任と法的責任を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：医療法について予習を行う。 準備学修時間：30分 事後学修項目：講義で学修した内容を踏まえ医療法を身につける。 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無：プロジェクター使用 【学修方略（ＬＳ）】 講義	小椋　正之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/08/30（土） 1時限 08:40～09:40	医療法	【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ２　社会と歯科医療 イ　保健・医療・福祉・介護の制度と医療経済 ｂ　医療法 【コアカリキュラム】 Ｂ　社会と歯学 Ｂ－２　健康と社会、環境 Ｂ－２－１）　歯科医師法・歯科医療関連法規 ②医療法を概説できる。 Ａ　歯科医師として求められる基本的な資質・能力 Ａ－７　社会における医療の実践 Ａ－７－１）　地域医療への貢献 ①地域社会（へき地・離島を含む）における歯科医療の現状を概説できる。 ②医療計画（医療圏、基準病床数、地域医療支援病院、病院・診療所・薬局の連携等）及び地域医療構想を説明できる。 ③地域包括ケアシステムの概念を理解し、地域における、保健（母子保健、学校保健、産業保健、成人・高齢者保健、地域保健、精神保健）・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間（行政を含む）の連携の必要性を説明できる。 ④かかりつけ歯科医等の役割や地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を理解し、実践に必要な能力を身に付ける。 ⑤地域における在宅医療（訪問歯科診療を含む）、救急医療及び離島・へき地医療の体制を説明できる。 ⑥災害医療（災害時保健医療、医療救護班、災害派遣医療チーム(Disaster Medical Assistance Team〈DMAT〉)、災害拠点病院、トリアージ、post-traumatic stress disorder〈PTSD〉、ストレス等）を説明できる。 ⑦地域医療に積極的に参加・貢献する。	小椋　正之
2025/09/01（月） 1時限 08:40～09:40	歯科医師法、歯科衛生士法、歯科技工士法	【授業の一般目標】 歯科医師法、歯科衛生士法、歯科技工士法について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.歯科医師に課せられた社会的責任と法的責任を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：歯科医師法等について予習を行う。 準備学修時間：30分 事後学修項目：講義で学修した内容を踏まえ歯科医師法等を身につける。 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無：プロジェクター使用 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ２　社会と歯科医療 イ　保健・医療・福祉・介護の制度と医療経済 ａ　歯科医師法、歯科衛生士法、歯科技工士法 【コアカリキュラム】 Ｂ　社会と歯学 Ｂ－２　健康と社会、環境 Ｂ－２－１）　歯科医師法・歯科医療関連法規 ①歯科医師法を説明できる。 ③歯科衛生士法と歯科技工士法を説明できる。 ⑦その他の歯科医療関係職種の身分法を概説できる。	小椋　正之
2025/09/02（火） 1時限 08:40～09:40	予防と健康管理増進（産業保健・国際保健）	【授業の一般目標】 産業保健、国際保健における予防と健康管理について習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.産業保健と関わる法律を理解する。 2.産業保健の三管理について説明できる。 3.産業歯科保健の目的を説明できる。 4.職業性疾患を説明できる。 5.国際保健における国際交流と国際協力を説明できる。 6.国際保健における多機関の役割を説明できる。 7.国際保健における健康問題を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：産業保健、国際保健の意義 ・準備学修時間：60　分 ・事後学修項目：本日の講義内容について、資料を参考に整理する。 ・事後学修時間：60　分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：　無 学修媒体：　教科書、配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】	田口　千恵子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/02（火） 1時限 08:40～09:40	予防と健康管理増進（産業保健・国際保健）	206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ３　予防と健康管理・増進 イ　地域保健にかかる法規と制度 ｄ　産業保健 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ５　国際保健 ア　国際保健 ｄ　国際協力	田口　千恵子
2025/09/06（土） 1時限 08:40～09:20	平常試験6	【授業の一般目標】 衛生領域・歯科英語の知識を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：衛生領域・歯科英語の講義プリントの確認 事前学修時間：3時間 事後学修項目：試験問題の復習 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室	＊伊藤　誠康
2025/09/12（金） 1時限 08:40～12:30	学力評価試験1	【授業の一般目標】 ユニット１～６の知識を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.ユニット１～６の知識を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：ユニット1～6の講義プリントの確認 事前学修時間：6時間 事後学修項目：試験問題の復習 事後学修時間：2時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 その他 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊伊藤　誠康
2025/09/22（月） 1時限 08:40～09:40	追再試験・実力試験1	【授業の一般目標】 ユニット１～６の知識を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.ユニット１～６の知識を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：ユニット1～6の講義プリントの確認 事前学修時間：6時間 事後学修項目：試験問題の復習 事後学修時間：2時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室	＊伊藤　誠康
2026/02/07（土） 1時限 08:40～09:25	医事衛生法規①	【授業の一般目標】 適切な歯科疾患の予防・管理・治療を行うために基本となる法律について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.歯科医師に課せられた社会的責任と法的責任を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：歯科医師法、医療法について予習を行う。 準備学修時間：30分 事後学修項目：講義で学修した内容を踏まえ歯科医師法、医療法を身につける。 事後学修時間：30分	＊有川　量崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/02/07（土） 1時限 08:40～09:25	医事衛生法規①	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無：プロジェクター使用 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ２　社会と歯科医療 イ　保健・医療・福祉・介護の制度と医療経済 ａ　歯科医師法、歯科衛生士法、歯科技工士法 【コアカリキュラム】 Ａ　歯科医師として求められる基本的な資質・能力 Ａ－１　プロフェッショナリズム Ａ－１－３）　歯科医師としての責務と裁量権 ④歯科医師に課せられた社会的責任と法的責任（刑事責任、民事責任、歯科医師法に基づく行政処分）を説明できる。 ⑤患者に最も適した歯科医療を勧めるとともに、代替する他の方法についても説明できる。 Ａ－６　医療の質と安全管理 Ａ－６－１）　安全性の確保 ⑤医療機関に求められる医療安全管理体制を概説できる。 Ａ－７　社会における医療の実践 Ａ－７－１）　地域医療への貢献 ②医療計画（医療圏、基準病床数、地域医療支援病院、病院・診療所・薬局の連携等）及び地域医療構想を説明できる。 Ｂ　社会と歯学 Ｂ－２　健康と社会、環境 Ｂ－２－１）　歯科医師法・歯科医療関連法規 ①歯科医師法を説明できる。 ②医療法を概説できる。 ③歯科衛生士法と歯科技工士法を説明できる。	＊有川　量崇
2026/02/07（土） 2時限 09:30～10:15	医事衛生法規②	【授業の一般目標】 適切な歯科疾患の予防・管理・治療を行うために基本となる法律について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.歯科医師に課せられた社会的責任と法的責任を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：歯科医師法、医療法について予習を行う。 準備学修時間：30分 事後学修項目：講義で学修した内容を踏まえ歯科医師法、医療法を身につける。 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無：プロジェクター使用 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ２　社会と歯科医療 イ　保健・医療・福祉・介護の制度と医療経済 ｃ　介護保険法 【コアカリキュラム】 Ａ　歯科医師として求められる基本的な資質・能力 Ａ－１　プロフェッショナリズム Ａ－１－３）　歯科医師としての責務と裁量権 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 Ｂ　社会と歯学 Ｂ－２　健康と社会、環境 Ｂ－２－２）　保健・医療・福祉・介護の制度 ①保健・医療施策を説明できる。 ④高齢者の置かれた社会環境を説明できる。 ⑧地域における保健・医療・福祉・介護の連携（地域包括ケアシステム）を説明できる。	小椋　正之
2026/02/09（月） 1時限 08:40～09:40	演習試験12	【授業の一般目標】 衛生領域の国家試験過去問を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.衛生領域の国家試験過去問を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：衛生領域の国家試験過去問の学修 事前学修時間：3時間 事後学修項目：試験問題の復習 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】	＊伊藤　誠康

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/02/09（月） 1時限 08:40～09:40	演習試験12	その他 【場所（教室/実習室）】 206教室	＊伊藤　誠康
2026/02/10（火） 1時限 08:40～09:25	歯周疾患の予防・管理①	【授業の一般目標】 適切な歯科疾患の予防・管理のために歯周疾患の疫学や指標について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 歯周疾患の疫学について説明できる。 2. 歯周疾患の指標について説明できる。 3. 歯周疾患の有病状況について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯周疾患の疫学、指標、有病状況について予習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：歯周疾患の疫学、指標、有病状況について復習する。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無：教科書、資料（国家試験過去問など） 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ６　疫学と調査 エ　齲蝕・歯周疾患の疫学要因 ｂ　歯周疾患の疫学要因 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ６　疫学と調査 イ　疫学指標 ｂ　歯科における疫学指標 【コアカリキュラム】 Ｂ　社会と歯学 Ｂ－３　予防と健康管理 Ｂ－３－２）　歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ⑤歯科疾患のリスク因子を説明できる。 Ｂ－４　疫学・保健医療統計 Ｂ－４－１）　歯科疾患の疫学 ③歯科疾患の疫学的指標を説明できる。	＊鈴木　到
2026/02/10（火） 2時限 09:30～10:15	歯周疾患の予防・管理②	【授業の一般目標】 適切な歯科疾患の予防・管理のために歯周疾患の病因や予防手段について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 歯周疾患の病因について説明できる。 2. 歯周疾患のリスクファクター・診断について説明できる。 3. 歯周疾患の予防方法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯周疾患の病因、リスクファクター・診断、予防方法について予習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：歯周疾患の病因、リスクファクター・診断、予防方法について復習する。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無：教科書、資料（国家試験過去問など） 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ　病因、病態 ２　口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア　主な病因・病態 ｂ　歯・歯周組織の疾患 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ３　歯周疾患 イ　歯周疾患の予防・管理 ａ　歯肉炎の予防・管理 ｂ　歯周炎の予防・管理 ａ　歯肉病変とそのリスクファクター ｂ　歯周炎とそのリスクファクター 【コアカリキュラム】	＊鈴木　到

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/02/10（火） 2時限 09:30～10:15	歯周疾患の予防・管理②	B　社会と歯学 B-3　予防と健康管理 B-3-2）　歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ⑤歯科疾患のリスク因子を説明できる。 E　臨床歯学 E-3　歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2）　歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ③歯周疾患の病因と病態を説明できる。	＊鈴木　到
2026/02/12（木） 1時限 08:40～09:25	母子保健①	【授業の一般目標】 適切な健康管理を行うために、母子保健を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 母子保健について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：母子保健の定義と関連用語 ・準備学修時間：120分 ・事後学修項目：母子保健の意義と意味 ・事後学修時間：180分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：　無 学修媒体：　教科書、配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ３　予防と健康管理・増進 イ　地域保健にかかる法規と制度 ｂ　母子保健 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ２　ライフステージ別にみた保健・福祉 ア　母子保健、母子歯科保健と児童福祉 ａ　現状、動向 ｂ　母性保健 ｆ　児童福祉制度 ｇ　児童虐待への対応	＊有川　量崇
2026/02/12（木） 2時限 09:30～10:15	母子保健②	【授業の一般目標】 適切な健康管理を行うために、母子歯科保健を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 母子歯科保健について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：母子歯科保健の定義と関連用語 ・準備学修時間：120分 ・事後学修項目：母子歯科保健の意義と意味 ・事後学修時間：180分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：　無 学修媒体：　教科書、配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ３　予防と健康管理・増進 イ　地域保健にかかる法規と制度 ｂ　母子保健 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ２　ライフステージ別にみた保健・福祉 ア　母子保健、母子歯科保健と児童福祉 ｃ　母子歯科保健の意義 ｄ　妊産婦の歯科保健 ｅ　乳幼児の歯科保健と健康診査	＊有川　量崇
2026/02/14（土） 1時限 08:40～09:25	学校保健①	【授業の一般目標】 適切な健康管理を行うために，学校保健について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 学校保健について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：学校保健活動について予習を行う。 準備学修時間：30分 事後学修項目：学校保健活動について復習を行う。	＊鈴木　到

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/02/14（土） 1時限 08:40～09:25	学校保健①	事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：　無 学修媒体：　教科書、配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ３　予防と健康管理・増進 イ　地域保健にかかる法規と制度 ｃ　学校保健 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ２　ライフステージ別にみた保健・福祉 イ　学校保健、学校歯科保健と学校安全 ａ　現状、動向 ｂ　学校保健の領域・内容 ｃ　学校保健関係者 ｇ　学校安全対策	＊鈴木　到
2026/02/14（土） 2時限 09:30～10:15	学校保健②	【授業の一般目標】 適切な健康管理を行うために，学校歯科保健について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.学校歯科保健について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：学校歯科保健活動について予習を行う。 準備学修時間：30分 事後学修項目：学校歯科保健活動について復習を行う。 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：　無 学修媒体：　教科書、配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ３　予防と健康管理・増進 イ　地域保健にかかる法規と制度 ｃ　学校保健 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ２　ライフステージ別にみた保健・福祉 イ　学校保健、学校歯科保健と学校安全 ｄ　学校歯科保健教育 ｅ　学校歯科保健管理 ｆ　組織活動	＊鈴木　到
2026/02/16（月） 1時限 08:40～09:25	予防と健康管理増進（う蝕、フッ化物応用）	【授業の一般目標】 口腔疾患の予防におけるう蝕予防とフッ化物応用について習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.う蝕の要因について説明できる。 2.う蝕の発生機序を説明できる。 3.う蝕の予防方法について説明できる。 4.フッ化物応用による全身的応用法について説明できる。 5.フッ化物による局所的応用法について説明できる。 6.フッ化物応用による安全性について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：う蝕の要因、う蝕予防の要因について、フッ化物の応用について 事前学修時間：90 分 事後学修項目：講義の内容にそって、う蝕の予防方法の整理 事後学修時間：90 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：教科書/PC/資料配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ３　予防と健康管理・増進	田口　千恵子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/02/16（月） 1時限 08:40～09:25	予防と健康管理増進（う蝕、フッ化物応用）	ウ　予防手段 ａ　フッ化物応用	田口　千恵子
2026/02/16（月） 2時限 09:30～10:15	予防と健康管理増進（保健指導・口腔清掃）	【授業の一般目標】 口腔疾患の予防と管理における口腔清掃と保健指導について習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.口腔の沈着物について説明できる。 2.機械的清掃法・化学的清掃法について説明できる。 3.口腔清掃方法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口腔の沈着物、口腔清掃方法の違いと特徴 事前学修時間：90　分 事後学修項目：講義内容の整理 事後学修時間：90　分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：一部実習 学修媒体：教科書/PC/資料配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ３　予防と健康管理・増進 ウ　予防手段 ｃ　口腔清掃（歯磨剤を含む）	田口　千恵子
2026/02/17（火） 1時限 08:40～09:25	予防と健康管理増進（成人保健）	【授業の一般目標】 健康管理増進のための成人保健について習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.メタボリックシンドロームについて説明できる。 2.禁煙指導について説明できる。 3.生活習慣病について説明できる。 4.わが国の国民健康づくり運動について概説できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：成人、高齢者に関わる各種法律 事前学修時間：90　分 事後学修項目：講義内容についての整理 事後学修時間：90　分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：教科書/PC/資料配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ３　予防と健康管理・増進 イ　地域保健にかかる法規と制度 ｅ　成人・高齢者保健	田口　千恵子
2026/02/17（火） 2時限 09:30～10:15	予防と健康管理増進（高齢者保健）	【授業の一般目標】 健康管理増進のための高齢者保健について習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.高齢者の口腔保健問題を説明できる。 2.高齢者の口腔内の状況を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：成人、高齢者に関わる各種法律 事前学修時間：90　分 事後学修項目：講義内容についての整理 事後学修時間：90　分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：教科書/PC/資料配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ３　予防と健康管理・増進 イ　地域保健にかかる法規と制度 ｅ　成人・高齢者保健	田口　千恵子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/02/19（木） 1時限 08:40～09:15	平常試験12	【授業の一般目標】 衛生領域にかかわる知識を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：衛生領域の講義プリントの確認 事前学修時間：3時間 事後学修項目：試験問題の復習 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 その他 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊伊藤　誠康
2026/02/27（金） 1時限 08:40～15:20	定期試験	【授業の一般目標】 全領域にかかわる知識を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：後期の講義プリントと国試過去問の確認 事前学修時間：12時間 事後学修項目：試験問題の復習 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 その他 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊伊藤　誠康
2026/03/11（水） 1時限 08:40～09:25	追再試験・実力試験2	【授業の一般目標】 全領域にかかわる知識を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 全領域にかかわる知識を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：後期の講義プリントと国試過去問の確認 事前学修時間：12時間 事後学修項目：試験問題の復習 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 その他 【場所（教室/実習室）】 206教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊伊藤　誠康